

令和5年度版

流山市まちづくり報告書

(流山市総合計画進捗状況報告)

目次

I	本報告書の考え方について	1
	(1) 流山市総合計画について	1
	(2) 総合計画の進行管理	2
	(3) まちづくり報告書とは	2
II	施策体系	3
III	まちの経営動向	5
	(1) 基本政策全体の達成動向	5
	(2) まちの状態指標	6
IV	施策分野別評価表	10



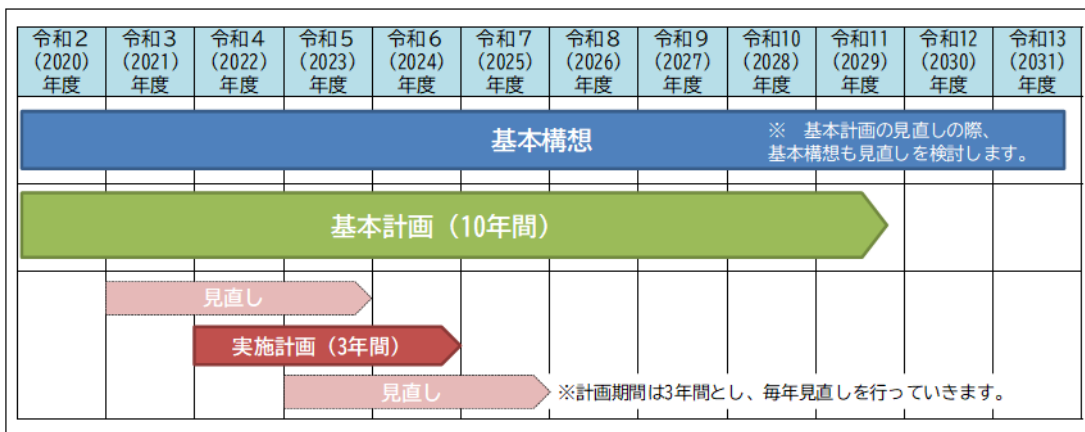
I 本報告書の考え方について

(1) 流山市総合計画について

流山市総合計画（以下「総合計画」といいます。）は、本市が目指すまちのイメージである「都心から一番近い森のまち」に向けて、計画的に市政経営を進めていくための指針として、令和2年3月に策定しました。

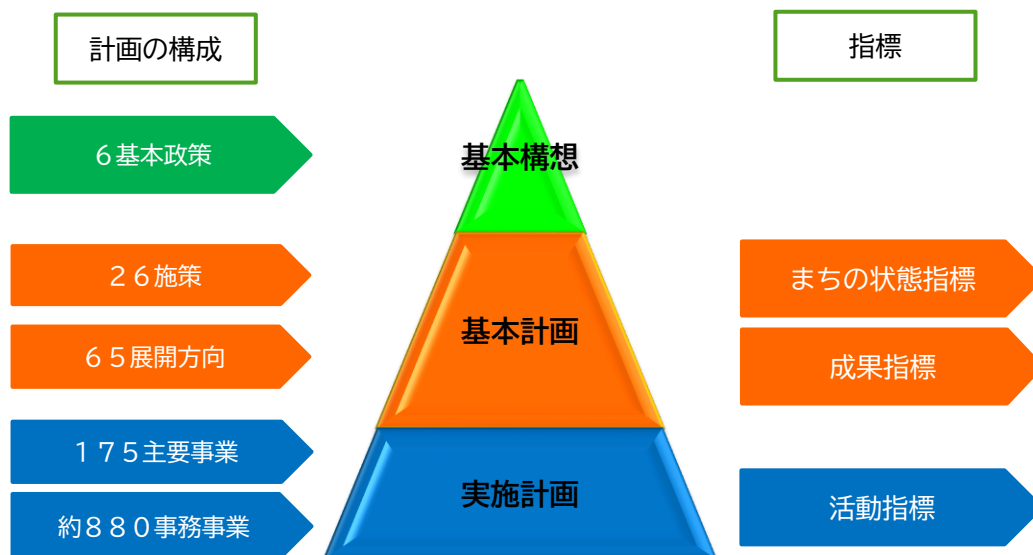
この総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成され、基本計画では、10年間の市政経営の方向性を定めています。

■総合計画の計画期間



基本計画においては、26の施策と65の展開方向からなり、施策ごとに「まちの状態指標」を設定し、施策の進み具合について、定期的にその数値を測定することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを検証しています。

■計画の構成と指標の関係



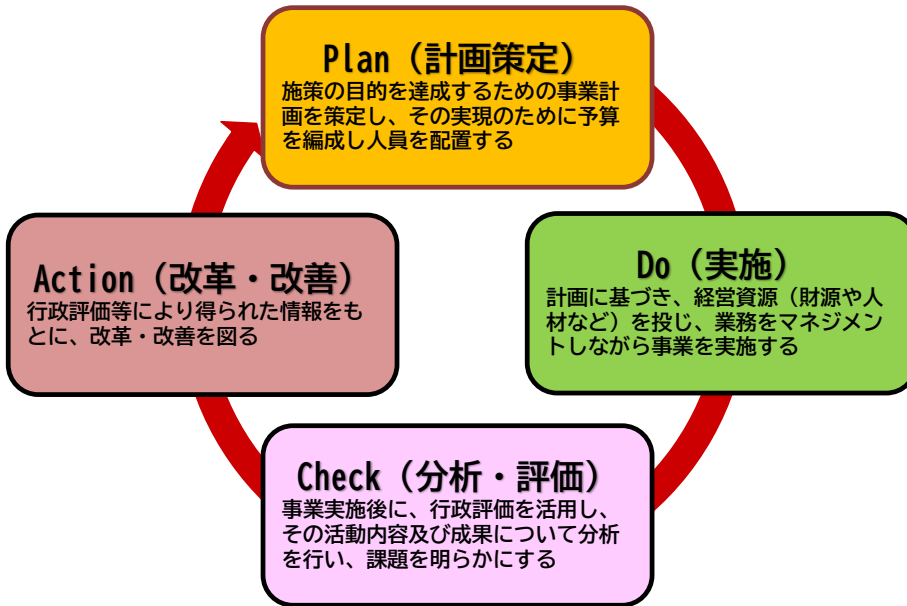
基本政策…目指すまちのイメージ実現のための政策と方針
 施策…基本政策実現のために取り組むべき行政分野
 展開方向…施策の課題解決に向けた取り組みの方向性
 事務事業…施策の取り組みを実現するための具体的手段

「II 施策体系」(P 3)を参照

(2) 総合計画の進行管理

基本計画に掲げる施策や、実施計画に掲げる事業の推進を図るため、その進捗状況を管理し、社会経済情勢の変化や国の制度改正などの状況変化に応じて、事業内容などを毎年度見直すことが必要となります。

そのため、成果を見極めるための成果指標などを設定し、「Plan（計画策定）—Do（実施）—Check（分析・評価）—Action（改革・改善）」といった、PDCAサイクルの手法を取り入れた進行管理を行い、施策や事業の成果を定期的に測定し、改善・効率化を図ります。



流山市総合計画実施計画より「計画の進行管理のイメージ」

(3) まちづくり報告書とは

本報告書は、総合計画の目指すまちのイメージの実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和4年度の決算見込みを踏まえて、総合計画の進捗状況の報告書として作成しています。

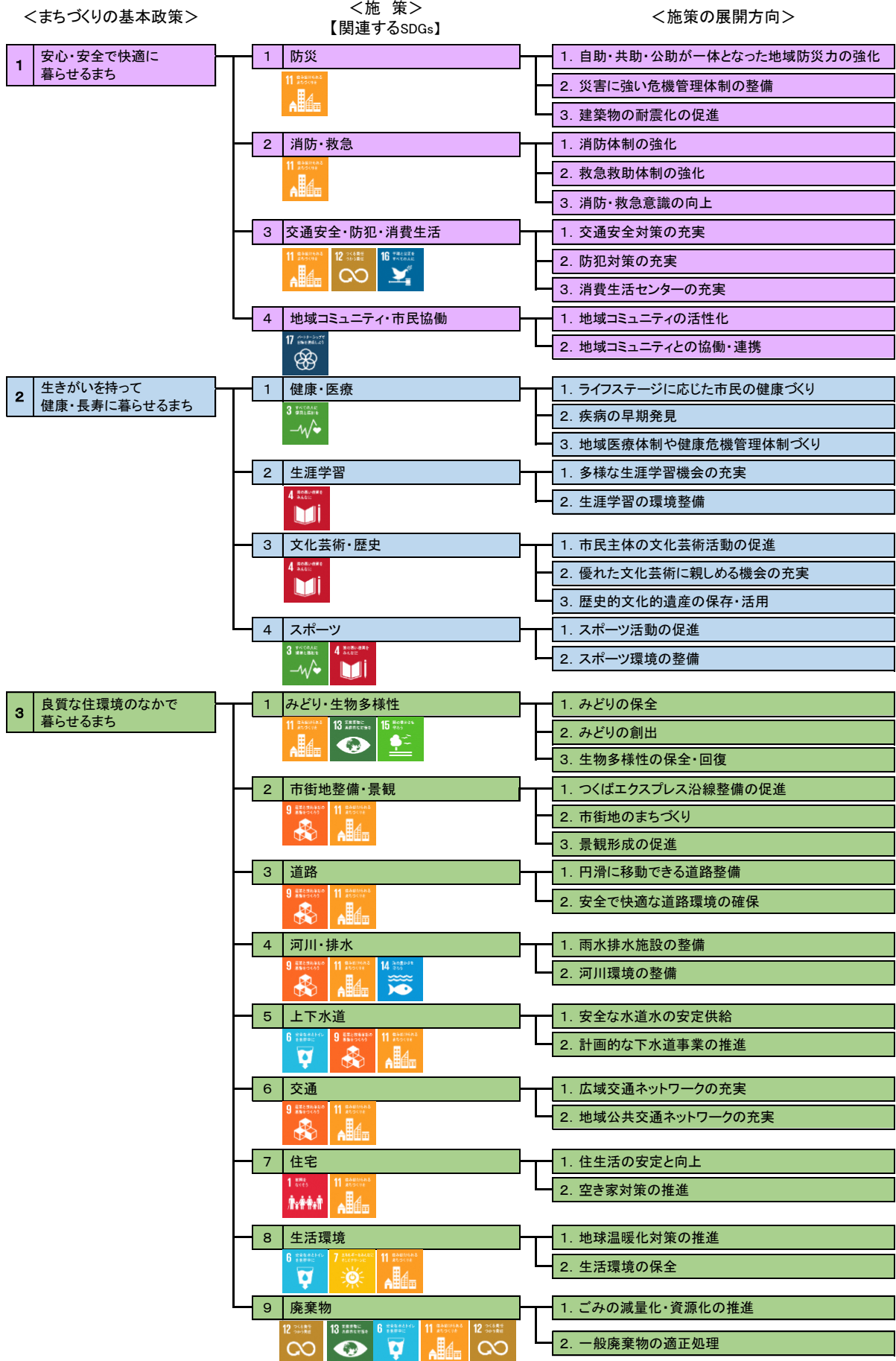
本市の行政評価は、施策や主要事業における成果指標の推移を踏まえたまちの状態指標の状況などを「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況を明らかにしています。

そうした行政評価を分析し、総合計画実施計画による中長期的な事業計画の見直しにより、総合計画の目標達成に向けた施策の推進と成果の向上を図ります。

また、経年変化を確認することにより、社会経済情勢の変化によるものかを見る目安となり、限られた経営資源の「選択と集中」及び事業活動の「改革と改善」への活用が期待できます。

「令和5年度版まちづくり報告書」については、令和2年度から計画期間がスタートした総合計画の進行管理の中で、令和4年度の実績に基づく分析・評価を総合計画の施策体系に紐づけて作成しています。

II 施策体系





Ⅲ まちの経営動向

(1) 基本政策全体の達成動向

総合計画に基づく6つの基本政策の達成度について、26の施策の達成状況の指標となる60の「まちの状態指標」の実績値の推移を基に評価を行っています。総合計画策定時と令和4年度を比較し、目指す方向への達成状況を「向上(○)」「横ばい(△)」「低下(×)」の3段階で区分し、比較できない場合や、目指す方向を示さない場合などは「その他(-)」と表記しています。

全政策では「向上」が全体の61%となっており、総合計画は、概ね目標に向けて進んでいるといえます。

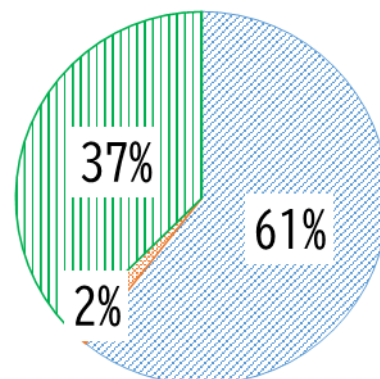
各政策の達成状況については下表のとおりとなっており、「安心・安全で快適に暮らせるまち」、「生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち」、「良質な住環境のなかで暮らせるまち」で指標の向上している割合が多くなっています。

これは、防災備蓄や交通安全施設の整備、また、防犯カメラの設置や安心メールの配信、市民等による防犯活動の支援といった安心・安全に関する事業の推進、市民の健康づくり支援や生涯学習環境の整備、公共交通ネットワークの充実や、植栽や緑を担う人材の育成による良質な住環境のなかで暮らせるまちづくりを推進してきた結果が出てきたものとみています。

一方で、目標に対し達成状況が低下している指標も多くなっています。新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった事業もありますが、感染症法上の位置づけの変更に伴う対策緩和や事業再開による状況の改善が期待されます。「賑わいと魅力のあるまち」、「誰もが自分らしく暮らせるまち」に向け、現役世代の創業や就労の支援、福祉サービスの充実に加え、国籍や性別などにかかわらず安心して暮らせるための取組みを展開していきます。

全政策の達成状況の割合

※「その他(-)」を除く。



□向上(○) □横ばい(△) □低下(×)

各施策の達成状況

()内は前年度の達成状況

基本政策	向上(○)	横ばい(△)	低下(×)	その他(-)	計
安心・安全で快適に暮らせるまち	5 (6)	0 (0)	2 (1)	2 (2)	9
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	5 (5)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	9
良質な住環境のなかで暮らせるまち	16 (14)	1 (1)	3 (5)	0 (0)	20
賑わいと魅力のあるまち	2 (2)	0 (1)	4 (3)	0 (0)	6
誰もが自分らしく暮らせるまち	2 (1)	0 (1)	4 (4)	4 (4)	10
子どもをみんなで育むまち	1 (1)	0 (0)	2 (2)	3 (3)	6
計	31 (29)	1 (3)	19 (19)	9 (9)	60
全体に占める割合 (%)	61 (57)	2 (6)	37 (37)		100

(2) まちの状態指標

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和4年度実績	達成状況
1-1 防災	自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える	地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	%	↑	52.5 (2018年度)	51.0	×
		自主防災組織の組織率	%	↑	61.7 (2018年10月1日)	64.2	○
1-2 消防・救急	火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る	人口1万人当たりの出火件数	件	↓	1.4 (2018年)	1.3	○
		救急出動件数	件	-	8,289 (2018年)	10,405	-
1-3 交通安全・防犯・消費生活	交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る	人口1万人当たりの交通事故発生件数	件	↓	27.3 (2018年)	16.7	○
		人口1万人当たりの犯罪発生件数	件	↓	61.2 (2018年)	38.6	○
		消費生活相談件数	件	-	2,009 (2018年度)	1,627	-
1-4 地域コミュニティ・市民協働	地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む	自治会への加入率	%	↑	66.2 (2018年10月1日)	61.4	×
		市民活動団体の数	団体	↑	203 (2019年4月1日)	236	○
2-1 健康・医療	生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる	健康寿命（平均自立期間） ※2019（R1）年	年	↑	65歳男性：18.55 65歳女性：20.46 (2015年)	18.84 21.17	○
		生活習慣病による死者数の割合 ※千葉県衛生統計年報2021（R3）年	%	↓	56.3 (2017年)	52.8	○
		一般診療所の数 ※千葉県衛生統計年報2021（R3）年	-	↑	95 (2017年)	118	○
2-2 生涯学習	市民一人ひとりが生涯学習活動を通して人生を豊かにできる	日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	%	↑	46.1 (2018年度)	35.7	×
		学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	%	↑	31.8 (2018年度)	52.3	○
2-3 文化芸術・歴史	文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える	過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	%	↑	53.5 (2018年度)	44.4	×
		市内の指定文化財等の数	件	↑	50 (2019年4月1日)	52	○
2-4 スポーツ	スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る	スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	%	↑	35.4 (2018年度)	32.0	×
		スポーツ施設の利用者数	人	↑	1,610,133 (2018年度)	1,388,783	×

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和4年度実績	達成状況
3-1 みどり・生物多様性	市民に潤いと安らぎを与えるみどりの保全・創出に取り組む	人口1人当たりの都市公園面積	m ²	↑	5.17 (2019年4月1日)	5.21	○
		市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	%	↑	78.8 (2018年度)	86.5	○
3-2 市街地整備・景観	地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する	これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	%	↑	83.0 (2018年度)	90.5	○
		利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	%	↑	42.5 (2018年度)	74.5	○
		自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	%	↑	58.6 (2018年度)	62.4	○
3-3 道路	安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	%	↑	62.4 (2017年度)	73.0	○
		都市計画道路の整備率	%	↑	70.6 (2018年度末)	73.2	○
3-4 河川・排水	大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える	雨水幹線の整備延長	Km	↑	14.8 (2018年度再設定値)	15.3	○
		水害による住家被害の棟数(過去3年間)	棟	→	0 (2016~2018年度)	0	○
3-5 上下水道	安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する	安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	%	↑	90.7 (2018年度)	95.3	○
		公共下水道普及率	%	↑	89.3 (2018年度末)	93.3	○
3-6 交通	交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る	公共交通に満足している市民の割合	%	↑	75.0 (2018年度)	83.9	○
		市内鉄道駅の1日当たりの乗客数 ※2021(R3)年度	人	↑	175,574 (2017年度)	152,367	×
		流山ぐりーんバスの1日当たりの利用者数	人	↑	2,499 (2018年度)	2,287	×
3-7 住宅	多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する	住宅の耐震化率	%	↑	83.6 (2018年1月1日)	93.2	○
		住宅の空き家率 ※2018(H30)年度	%	↓	3.2 (2018年10月1日)	3.2	△
3-8 生活環境	地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる	二酸化炭素排出量の基準年度比 ※2020(R2)年度再算定値	-	↓	民生家庭124 民生業務159 (2017年度再算定値)	118 159	○
		身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	%	↓	26.1 (2018年度)	30.7	×
3-9 廃棄物	ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる	1人1日当たりのごみ発生量 ※2021(R3)年度	g	↓	848 (2018年度)	795	○
		資源化率 ※2021(R3)年度	%	↑	21.8 (2018年度)	28.7	○

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和4年度実績	達成状況
4-1 地域経済	消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる	小売吸引力指数 ※2021 (R3) 年経済センサス	-	↑	0.765 (2016年)	0.661	×
		1事業所当たりの製造品出荷額等 ※2016 (H28) 年経済センサス	百万円	↑	532 (2016年)	682	○
		法人市民税 ※2021 (R3) 年	万円	↑	75,479 (2018年度)	62,780	×
4-2 農業	都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る	認定農業者数	人	↑	41 (2018年4月1日)	54	○
		農業産出額 (推計) ※2020 (R2) ~2021 (R3) 年	千万円	↑	230 (2017年)	92	×
4-3 ツーリズム	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	入込客数	人	↑	290,137 (2017年度)	180,936	×
5-1 高齢者福祉	高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる	高齢者の人口	人	-	45,411 (2019年4月1日)	47,138	-
		生きがいを感じる高齢者の割合	%	↑	82.8 (2018年度)	78.8	×
		要介護・要支援認定率	%	↓	16.7 (2019年4月1日)	18.6	×
5-2 障害福祉	障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる	障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数 ※R3年4月1日時点	人	-	身体障害者：4,216 知的障害者：1,011 精神障害者：1,332 (2019年4月1日)	4,274 1,136 1,666	-
		障害者就労支援センターの利用者数 ※R3年4月1日時点	人	↑	207 (2019年4月1日)	174	×
		相談支援事業の利用者数 ※R3年4月1日時点	人	↑	2,190 (2019年4月1日)	2,790	○
5-3 地域福祉	自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める	福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	%	↑	57.3 (2018年度)	55.5	×
		生活保護受給者数	人	-	1,708 (2019年4月1日)	1,883	-
5-4 共生社会	すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	%	↑	85.2 (2020年から新規取得)	86.6	○
		外国人の人口	人	-	2,737 (2019年4月1日)	3,477	-

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和4年度実績	達成状況
6-1 子ども・子育て	すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる	18歳未満の人口	人	-	34,375 (2019年4月1日)	38,314	—
		合計特殊出生率 ※2021 (R3) 年	-	↑	1.67 (2018年)	1.56	×
		流山市は子育てがしやすいまちだと思ふ市民の割合	%	↑	51.6 (2018年度)	65.4	○
6-2 学校教育	学びに向かう力と自立する子どもを育む	全国学力・学習調査平均正答率	%	全国平均、 県平均を上回る	小学校：62.6 中学校：66.2 (2018年度)	67.0 58.3	—
		児童・生徒数 ※R4年5月1日時点	人	-	児童10,863 生徒4,344 (2018年5月1日)	12,979 4,915	—
		いじめの認知件数	件	↓	小学校1,246 中学校503 (2018年度)	4,954 475	×

IV 施策分野別評価表

[評価表の見方]

①		IV 施策分野別評価表													
施策 防災		基本政策 安心・安全で快適に暮らせるまち					IV 施策分野別評価表								
主管部局 市民生活部		施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える													
まちの状態指標		指標の説明または出典元			R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向						
地震などの災害に対する備えが十分だと思える市民の割合		水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）			49.8	51.0	51.0	%	↑						
自主防災組織の組織率		自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）			65.6	65.1	64.2	%	↑						
令和4年度の取組みと評価・改善点		令和5年度の現状・課題・取組み													
・取組内容 さらなる情報伝達機能の強化を進めます。自主防災組織の活動、設立のための広報、啓発を進め、自助・共助・公助が一体となった地域防災力のさらなる向上・強化を図ります。		・現状 新型コロナウイルス感染症の流行以降、自宅避難等の分散避難の推奨が行われていることから、家庭での災害に対する備えを進めるよう啓発を進めます。また、自主防災組織の活動、啓発を進め、自助・共助・公助が一体となった地域防災力の一段の強化・向上を図ります。													
・評価 新たな自主防災組織の設立が行われ、共助の強化につながったほか、支援が必要な方に対する新たなサービスの開始により情報伝達機能の強化が図られました。		・課題 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」「自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図ること、支援が必要な方により早く情報を伝えることが必要です。													
・改善点 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」「自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図ること、支援が必要な方により早く情報を伝えることが必要です。		・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の活動、設立のための広報啓発活動を進めるほか、公助の観点として指定避難所への防災設備の整備を行い、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の向上を図ります。													
自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化 主管課：防災危機管理課		自主防災組織活動促進事業													
		自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。													
担当課		R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源			
防災危機管理課		4,250		4,250		4,163		4,250		2,100		2,150			
主な活動指標		R3実績		R4実績		R5目標(予定)		主な成果指標		R3実績		R4実績		R5目標	
自主防災組織数(組織)		138		139		142		補助金を活用している自主防災組織数(組織)		63		72		77	
令和4年度の取組みと評価・改善点		令和5年度の現状・課題・取組み													
・取組 防災講話等で啓発を図り、自主防災組織の活動促進、新規設立を支援します。		・現状 新型コロナウイルス感染症の影響により自治会活動が停滞気味であるため、訓練や研修等を実施する団体が減少しています。また、マンション管理組合による新規設立も少ない状態です。													
・評価 新たに1団体の設立があったほか、各自主防災組織に対し、積極的に働きかけを行った結果、補助金を活用した団体も増加しました。		・課題 マンション管理組合の新規設立が少ないため、より一層の働きかけが必要です。													
・課題に対する改善点 コロナ禍の影響により自主防災組織の活動が停滞傾向にある団体が増加しています。		・取組 各団体への呼び掛け回数を増やすとともに、自主防災組織を設立していないマンション管理組合に対しても継続的な呼び掛けを行い、新規設立に繋げます。													

- ① 総合計画の体系に基づき、該当の基本政策、施策、目的、主管部局及び関連するSDGs(※)を示しています。

※「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称。将来の世代が安心して暮らすことのできる持続可能な世界を実現するために、達成すべき17の目標(ゴール)が定められました。

- ② 総合計画に定められた「まちの状態指標」を示すとともに、施策全体としての前年度の取組み、評価、改善点と、当年度の現状、課題、取組みについての総括を記載しています。
- ③ 前年度及び当年度の実施計画における主要な事業を中心に、総合計画の体系に基づき、「施策の展開方向」ごとに、各事業の概要に加え、前年度の取組みや評価、改善点、今年度の現状や課題、取組みについて記載しています。

注1：予算等の金額の単位は千円です。

注2：活動指標または成果指標は、指標名に※印の記載がある場合、令和5年度版まちづくり報告書策定時点において、令和4年度の実績値ではなく、直近の実績値を掲載しています。

総合計画の「施策の展開方向」では、その配下に位置づけられる主な取組内容を「●」で示しています。また、当該施策に関連する他施策の主な取組内容を「◇」で示しています。

本報告書では、主な取組に係る事業担当課を「主管課」、関連する他施策の取組に係る事業担当課を「関連課」として記載しています。

ただし、新型コロナウイルス感染症対策事業については、全庁的に取組を実施したことから、一部の事業担当課のみが表記されています。

◆施策の展開方向◆

1 自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化

- 自主防災組織の設立促進・活動の活性化支援
- 自治会や自主防災組織、NPO法人、その他の団体などとの協働・連携に根ざした防災訓練の実施・避難誘導体制の確立
- 市民の防災意識の普及啓発
- 避難行動要支援者名簿の作成・有効活用の促進
- 県をはじめとする防災関係機関との連絡体制の強化
- 地自治体や民間事業者などとの災害時応援協定の締結推進

2 災害に強い危機管理体制の整備


- 安心メールや防災アプリの登録促進などによる災害関連情報の伝達体制の強化
- 最新の情報を活用した地域防災計画・地震ハザードマップの見直し
- 防災備蓄倉庫の整備・計画的な備蓄
- 災害用井戸や給水栓、マンホールトイレなどの防災施設の整備
- ◇ 避難所運営マニュアルの作成促進・避難所開設訓練を実施するなど実践的な体制の整備
- ◇ 雨水排水施設の計画的な整備(関連3-4河川・排水)
- ◇ 老朽化した橋りょうや上下水道などのインフラ施設の耐震性能の向上(関連3-3道路、3-5上下水道)
- ◇ 緊急輸送道路の無電柱化の促進(関連3-3道路)

3 建築物の耐震化の促進

- 耐震診断及び耐震改修の啓発・促進
- 危険なブロック塀などの除却の促進

◆主な個別計画等◆

- 地域防災計画/令和元(2019)年度
- 水防計画/平成28(2016)年度
- 避難行動要支援者避難支援計画/平成30(2018)年度
- 耐震改修促進計画/平成30(2018)年度



行政防災無線



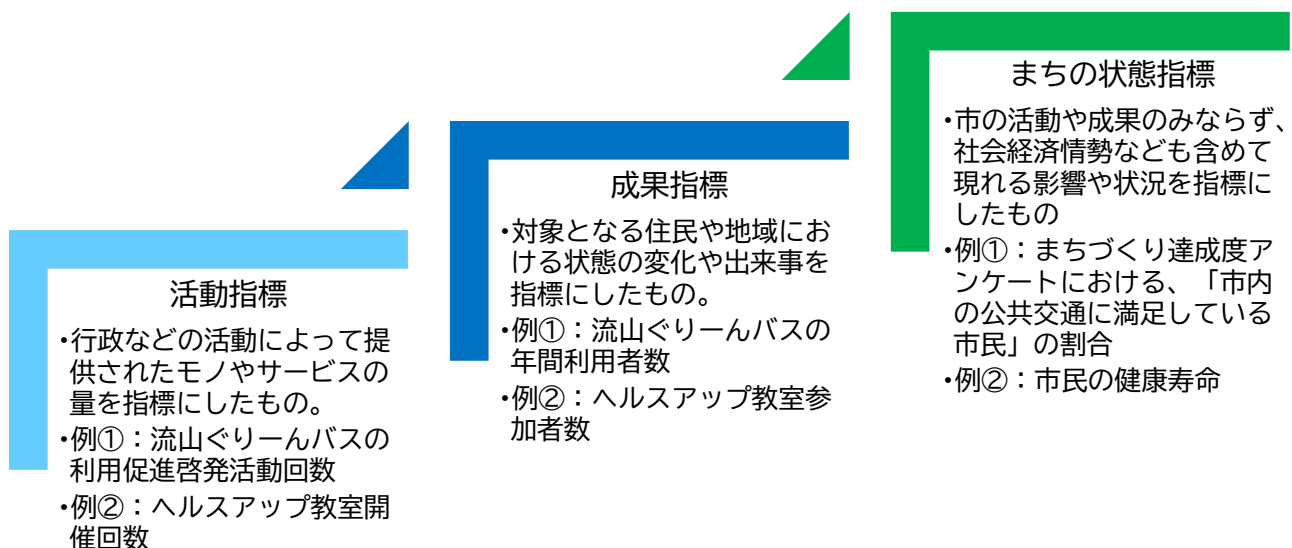
防災備蓄倉庫

流山市総合計画基本構想・基本計画より「施策の展開方向」

★指標について

行政評価は、個々の施策や事業の目的が何なのか、その目的を実現するために、どのような手段が妥当であり、成果に結びつくのかを評価し、市の未来につなげるのが目的です。

これを可視化するために、指標を定め、その実績値や目標値を記載しています。施策レベルの指標は「まちの状態指標」、事業レベルの指標は、「活動指標」と「成果指標」に分類しており、それぞれ以下のような関係になっています。



主管部局 市民生活部 施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	49.8	51.0	51.0	%	↑
自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）	65.6	65.1	64.2	%	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 さらなる情報伝達機能の強化を進めました。自主防災組織の活動、設立のため広報、啓発を進め、自助・共助・公助が一体となった地域防災力のさらなる向上・強化を図りました。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症の流行以降、自宅避難等の分散避難の推奨が行われていることから、家庭での災害に対する備えを進めるよう啓発を進めます。また、自主防災組織の活動、啓発を進め、自助・共助・公助が一体となった地域防災力の一段の強化・向上を図ります。</p>
<p>・評価 新たな自主防災組織の設立が行われ、共助の強化につながったほか、支援が必要な方に対する新たなサービスの開始により情報伝達機能の強化が図られました。</p>	<p>・課題 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図るための啓発が必要です。</p>
<p>・改善点 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」、「自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図ること、支援が必要な方により早く情報を伝達することが必要です。</p>	<p>・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の活動、設立のための広報啓発活動を進めるほか、公助の観点として指定避難所への防災設備の整備を行い、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の向上を図ります。</p>

自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化 主管課：防災危機管理課

自主防災組織活動促進事業	自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
防災危機管理課	4,250	3,452		4,163	4,250	2,100	2,150
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
自主防災組織数(組織)	138	139	142	補助金を活用している自主防災組織数(組織)	63	72	77
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 防災講話等で啓発を図り、自主防災組織の活動促進、新規設立を支援しました。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症の影響により自治会活動が停滞気味であるため、訓練や研修等を実施する団体が減少しています。また、マンション管理組合による新規設立も少ない状態です。</p>						
<p>・評価 新たに1団体の設立があったほか、各自主防災組織に対し、積極的に働きかけを行った結果、補助金を活用した団体も増加しました。</p>	<p>・課題 マンション管理組合の新規設立が少ないため、より一層の働きかけが必要です。</p>						
<p>・課題に対する改善点 コロナ禍の影響により自主防災組織の活動が停滞傾向にある団体が増加しています。</p>	<p>・取組 各団体への呼び掛け回数を増やすとともに、自主防災組織を設立していないマンション管理組合に対しても継続的な呼び掛けを行い、新規設立に繋げます。</p>						

災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課

災害時情報伝達手段整備事業	災害時に、市民等へ迅速かつ的確に災害情報等を伝えるため、防災行政無線や安心メール、SNSなど複数の情報伝達手段に一斉に送信できるシステムを導入し、災害時の正確かつ円滑な情報伝達を図ります。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
防災危機管理課	1,272	1,829		6,382	12,392	11,600	792
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
防災行政無線同報系子局設置数(基)	79	79	-	防災行政無線同報系子局更新数(基)	-	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 視覚障害や聴覚障害のある方を対象に、多メディア斉配信システムを使用し電話、FAXで情報を受信する機能を追加しました。</p>	<p>・現状 千葉県防災行政無線機器が設置から10年以上が経過しているため、機器の交換が必要となっています。</p>						
<p>・評価 多メディア斉配信システムへの電話、FAXでの配信サービスを追加したことにより、視覚聴覚障害者に対する情報伝達方法の拡充が図られました。</p>	<p>・課題 落雷や強風等の影響により、県防災行政無線システムの通信が一時的に遮断されることがあります。</p>						
<p>・課題に対する改善点 市民等へ迅速かつ確実に情報伝達を行うため、さらなる情報伝達手段の多重化を図ります。</p>	<p>・取組 千葉県防災行政無線機器の更新を行い、通信の高速化や荒天時でも遮断されないよう整備を図ります。</p>						

災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課

公的備蓄の整備を進めるため、計画的に防災備蓄倉庫、食糧や防災資機材を整備します。							
公的備蓄整備事業							
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
防災危機管理課	22,365	22,556	7,703	26,403	3,900	22,503	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
食料備蓄率(%)	98.70	98.10	-				
飲料水備蓄率(%)	91.00	97.30	-				
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 個食、アレルギー対応製品の備蓄に加え飲料水も500ml入りペットボトルや女性に配慮した備品の整備を進めました。</p>				<p>・現状 食料品や飲料水の備蓄率はほぼ目標値に達したものの、資機材については経年劣化も進んでいるため、資機材の代替が必要となっています。</p>			
<p>・評価 500mlペットボトルや個食など小分け商品を中心に備蓄品の購入を進めた結果、食糧だけでなく飲料水も目標値に限りなく近づきました。</p>				<p>・課題 食料品についてはほぼ目標値に達していますが、地域防災計画の見直しに合わせ、被害想定の見直しと合わせ備蓄目標の見直しも必要となるため、新たな目標設定が必要となります。</p>			
<p>・課題に対する改善点 備蓄率の低い備蓄品の整備を進めます。</p>				<p>・取組 これまで購入している品目を中心に、多様性社会に沿うような備蓄品の購入を進めてまいります。</p>			

災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課

令和2年度国勢調査の結果、市街地整備の進捗による状況の変化や浸水想定区域の見直し等に伴う地域防災計画の大幅な見直しを行います。							
地域防災計画策定事業							
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
防災危機管理課	10,500	8,104	9,861	5,828	0	5,828	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 浸水想定区域の見直し等により、既存の被害想定の見直しも必要のため、市内全域のアセスメント調査を行いました。</p>				<p>・現状 地域防災計画本体の見直し作業を進めており、今後、関係機関等からの意見聴取を行っていく予定です。</p>			
<p>・評価 アセスメント調査の中間報告が未完成であるため、令和5年5月中での完成を目指します。</p>				<p>・課題 浸水想定区域の見直しにより被害想定が増加した場合の対応について、避難所、物資等あらゆる面で検討が必要となります。</p>			
<p>・課題に対する改善点 近年風水害の激甚化が進んでおり、浸水想定区域の被害想定は大幅な見直しが必要です。</p>				<p>・取組 令和6年3月までに地域防災計画の見直しが完成するよう、作業を進めてまいります。</p>			

災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課

指定避難場所及び指定避難所に被災者のための防災施設や防災備蓄倉庫を整備します。							
防災施設整備事業							
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
防災危機管理課	16,245	13,521	8,297	69,571	60,100	9,471	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
かまどベンチ設置数累計(基)	29	29	-	倉庫設置件数(件)	41	42	-
太陽光照明設置数(基)	15	15	-	マンホールトイレ設置箇所数(箇所)	11	12	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 向小金福祉会館に防災設備を整備し、避難所の機能強化を図りました。</p>				<p>・現状 指定避難所となる公共施設に必要な防災施設の整備が不足しているため、今後も各施設への整備が必要です。</p>			
<p>・評価 向小金福祉会館にマンホールトイレ、災害用井戸を設置し、避難所の機能強化が図られました。</p>				<p>・課題 公民館については、施設が稼働している状態での工事となるため、安全面に配慮しつつ、施設利用者の妨げにならないような取組が必要です。</p>			
<p>・課題に対する改善点 公共施設利用者の妨げにならないよう、迅速かつ安全な工事に取り組みます。</p>				<p>・取組 都市防災整備計画に基づき、北部公民館、市野谷小学校、南流山中学校(旧東洋学園大学)に防災施設を整備します。</p>			

耐震改修促進事業	住宅の耐震化の促進を図るため、昭和56年以前に建築された一戸建ての木造住宅等に対し、耐震診断・耐震改修費の一部を補助します。地震災害による、コンクリートブロック塀等の倒壊を防止するため、市内小学校の通学路沿いの危険なコンクリートブロック塀等に対し、除却費の一部を補助します。								
	担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
建築住宅課	20,100		13,214		12,764	20,100	12,676	7,424	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
無料耐震診断及び出張耐震相談件数(件)	8	15	20	耐震診断及び耐震改修補助件数(件)			12	21	31
ブロック塀等所有者への啓発件数(件)	220	247	250	ブロック塀等除却補助件数(件)			7	14	30
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>耐震診断、改修補助事業については、戸別訪問の実施及び広報誌による啓発を行いました。ブロック塀等除却事業については、所有者等に対し、補助制度の拡充の内容と共に、診断結果について、より丁寧な説明を実施しながら、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>耐震診断、改修補助事業については、ここ数年同程度の補助件数で推移し、目標達成には至っていません。ブロック塀等除却事業については、補助制度の拡充や啓発活動を充実させ、除却推進を図りましたが、目標達成には至っていません。</p>					
<p>・評価</p> <p>流山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2022に基づき、戸別訪問と共に耐震化のための啓発活動を行いました。ブロック塀等の除却については、補助制度の拡充を行うと共に個別説明を行い、除却促進を行いました。</p>				<p>・課題</p> <p>耐震診断、改修補助事業については、これまでの広報誌を中心とした啓発方法も含めて、より良い啓発方法を検討する必要があります。ブロック塀等除却事業については、補助制度の拡充と診断結果の丁寧な説明による啓発を行うと共に、学校関係者とも連携を図り、それぞれの方面から除却の必要性について丁寧に説明していく必要があります。</p>					
<p>・課題に対する改善点</p> <p>耐震診断、改修補助事業については、これまでの広報誌を中心とした啓発方法も含めて、より良い啓発方法を検討する必要があります。ブロック塀等除却事業については、補助制度の拡充と診断結果の丁寧な説明による啓発を行うと共に、学校関係者とも連携を図り、それぞれの方面から除却の必要性について丁寧に説明していく必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>耐震診断、改修補助事業については、戸別訪問を引き続き実施すると共に、広報誌による啓発を行っていきます。ブロック塀等除却事業については、所有者等に対し、補助制度の拡充の内容と共に、診断結果についてより丁寧な説明を実施しながら、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図っていきます。</p>					

主管部局 消防本部 施策の目的 火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの出火件数	火災件数（1月～12月）÷人口（1月1日時点）×10,000	1.1	1.2	1.3	件	↓
救急出動件数	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）	7,569	8,470	10,405	件	-

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 中央消防署移転事業では、適切な工事監理を行い造成工事を完了させるほか、実施設計の作成及び令和5年度に予定する建築工事に伴う各種申請手続きを進めました。消防車両整備事業では、東消防署水槽付きポンプ車及び南消防署高規格救急車を更新整備しました。火災予防に関しては、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら火災予防広報パトロールを実施しました。</p> <p>・評価 中央消防署移転に伴う造成工事においては、関係機関との連絡調整や工事監理を適切に行い、計画通りに進めることが出来ました。消防車両整備事業では、計画通り東消防署水槽付きポンプ自動車及び南消防署高規格救急車を更新整備しました。火災予防に関しては、生活様式の変化に配慮した新たな火災予防活動の取組として、電話による立入検査を実施しました。</p> <p>・改善点 中央消防署移転に伴う造成工事においては、令和5年度に予定する建築工事に影響が発生しないよう、工事監理を適切に行う必要があります。更新整備した南消防署高規格救急車には、運転席と患者室を分ける隔壁を設置し、感染症に罹患した傷病者を安全に搬送出来るよう感染症対策を強化しました。・火災予防に関しては、生活様式の変化に配慮した火災予防活動を展開しました。</p>	<p>・現状 地域防災力の強化を図るため、早急に消防本部、中央消防署庁舎を移転する必要があります。消防車両整備事業では、中央消防署救助工作車及び高規格救急車並びに南消防署消防ポンプ自動車の更新整備を計画通り行う必要があります。火災予防に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた事業の再開や方策の見直しが求められています。</p> <p>・課題 中央消防署移転事業では、令和7年4月の新庁舎運用開始に向け適切な工事監理を行い、建築工事を進める必要があります。また、災害出動の要となる指令装置の移設作業をスムーズに行うため、関係機関との連絡調整を密に行う必要があります。消防車両整備事業では、複雑多様化する災害に対応するため、最新の資機材を導入して行く必要があります。火災予防に関しては、生活様式の変化に配慮した効果的で実効性のある活動を展開する必要があります。</p> <p>・取組内容 中央消防署移転事業では、本格的に建築工事が開始となることから、関係機関との連絡調整を徹底し、計画通りに工事を進めていきます。消防車両整備事業では「流山市の消防車両等更新基準」に基づき、計画的に常備消防車両を更新整備して行きます。火災予防に関しては、火災の発生と被害の軽減を図るための広報活動を、より効果的な手段で実施して行きます。</p>

消防体制の強化 主管課：消防本部

消防車両整備事業	常備消防が運用する車両を消防車両等更新基準に基づき、更新整備します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
消防防災課	107,358		100,917		10,360	3,954	0	3,954
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
消防車両等新規購入台数(台)	1	2	3	消防車両等新規購入台数(台)		1	2	3

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 「流山市の消防車両等更新基準」に基づき東消防署水槽付きポンプ自動車及び南消防署高規格救急車を更新整備しました。</p> <p>・評価 東消防署水槽付きポンプ自動車は狭隘道路に対応するために小型化しましたが、資機材の積載スペースを工夫し、多くの資機材を使用しやすく積載することができました。高規格救急車内には運転席と患者室を分ける隔壁を設置するとともに、感染症に罹患した傷病者を移送するための搬送用アイソレーターを装備し、感染症対策を強化しました。</p> <p>・課題に対する改善点 緊急消防援助隊又は千葉県広域応援隊に出動する際には5名が乗車する必要があることから、キャビン内の収納スペースの確保が必要です。</p>	<p>・現状 購入から15年が経過する中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車並びに購入から9年が経過する中央消防署高規格救急自動車の更新整備を行います。</p> <p>・課題 中央消防署救助工作車は多様化する災害に対応するため、災害現場に到着するまでの間に隊員が相応の準備が出来るよう、キャブ内の拡張を図ると共に、現状に適した最新資機材の導入をする必要があります。南消防署消防ポンプ自動車は、火災に柔軟に対応すべく800Lの水を積載できる水槽付き消防ポンプ自動車に更新する必要があります。</p> <p>・取組 各種災害対応への充実強化を図るため、「流山市の消防車両等更新基準」に基づき中央消防署救助工作車及び高規格救急車、南消防署水槽付き消防ポンプ自動車を更新整備します。</p>

消防体制の強化 主管課：消防本部

中央消防署移転事業	昭和49年に建設された現消防本部・中央消防署の庁舎移転を行い、防災拠点の強化及び庁舎の適正配置を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
消防総務課	427,012		380,711		9,602	1,017,010	1,016,421	589
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				移転用地取得状況(%)		99.60	100.00	-
				造成工事進捗状況(%)		-	51.07	100.00

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 適切な工事監理を行い造成工事を完了させるほか、実施設計の作成及び令和5年度に予定する建築工事に伴う各種申請手続きを進めました。また、未取得の移転用地について、地権者と円滑な協議を重ね、早期に取得しました。</p> <p>・評価 造成工事については、関係機関との連絡調整や工事監理を適切に行い、計画通りに工事を進めることができました。</p> <p>・課題に対する改善点 造成工事については、令和5年度に予定されている建築工事に影響が発生しないよう、適切な工事監理を行う必要があります。</p>	<p>・現状 今年度造成工事が完了を迎え、本格的に建築工事が開始となります。近年頻発している大規模災害に対応するため、早急に移転を行い、防災拠点施設の充実強化を図る必要があります。</p> <p>・課題 令和7年4月の新庁舎運用開始に向け、適切な工事監理を行い、建築工事を進める必要があります。また、災害出動の要となる指令装置の移設作業をスムーズに行うため、関係機関との連絡調整を密に行う必要があります。</p> <p>・取組 令和5年度から本格的に建築工事が開始となることから、関係機関との連絡調整を密に行い、計画通りに工事を進めていきます。</p>

消防体制の強化 主管課：消防本部

消防指令業務運用事業	消防指令業務の効率化や円滑な広域応援体制を図るため、ちば北西部消防指令センター（当市ほか9市）の指令業務、Jアラート（予備機）及び消防救急デジタル無線の維持管理業務などを行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
消防防災課	94,203		98,683		9,995	108,559	0	108,559
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
救急車の現場到着時間（平均現場到着時間）(分)	9.39	10.85	8.90	救急車の現場到着時間（平均現場到着時間）(分)		9.39	10.85	8.90
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 遠制御務職員に対し、指令業務に関する研修、運用訓練を実施しました。				<p>・現状</p> 10市共同指令センター及び他構成市と協議を行い、迅速かつ効率的な運用の維持を行います。その他、無線機や指令伝送装置等の管理を行います。				
<p>・評価</p> 遠制マニュアルの作成や研修、運用訓練により、火災等の災害に対する対応の精度、迅速さなどが向上しました。				<p>・課題</p> 新規採用職員及び人事異動職員に対し、通信指令業務の機能を維持するため、指令システムに関する知識、操作方法を継続的に教育する必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 大規模災害発生時に通信指令業務の機能を維持するため、指令システムに関する知識・機器操作等の職員への教育を継続的に行っていく必要があります。				<p>・取組</p> 遠制マニュアルの作成及び遠制御務職員への研修、運用訓練を実施します。				

消防体制の強化 主管課：消防本部

消防団機械器具置場建設事業	地域の防災拠点施設である消防団機械器具置場を建築から30年を目安に順次建替えや大規模改修を行い、消防力の強化を図る。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
消防総務課	19,348		24,252		20,422	27,000	18,406	8,594
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
消防団機械器具置場建設予定(件)※	-	-	1	移転用地取得状況(%)		-	100	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 第8分団機械器具置場移転用地を取得するため、地権者や周辺住民と円滑な協議を行いました。また、急遽第14分団機械器具置場の土地使用貸借契約が解除となったことから、機械器具置場の解体工事を行い、移転用地の選定を行いました。				<p>・現状</p> 第8分団機械器具置場の新築及び旧8分団機械器具置場の解体工事を行う必要があります。				
<p>・評価</p> 第8分団機械器具置場移転用地については、地権者と土地売買契約を締結し、予定通り用地を取得しました。また、第14分団機械器具置場用地については、土地を地権者に返還し、移転用地の不動産鑑定及び測量を行いました。				<p>・課題</p> 地域防災力の低下を招かぬよう、現在の第8分団機械器具置場の機能を維持しつつ移転を行う必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 第8分団機械器具置場移転用地については、第8分団管轄区域のほぼ中心に位置し、管内への出動が円滑に行える場所を選定しました。				<p>・取組</p> 年度内に建設工事及び解体工事が完了出来るよう、関係機関と連絡調整を密にし事業を進めていきます。				

消防体制の強化 主管課：消防本部

消防団車両整備事業	市民と消防団を対象とし、車両を更新整備することにより地域の安心安全に備えるもの。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
消防防災課	20,309		19,501		5,254	215	0	215
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
消防団車両等新規購入台数(台)	-	2	1	消防団車両等新規購入台数(台)		-	2	1
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 消防団車両の更新整備は、「流山市の消防車両等更新基準」により購入から20年を経過する流山市消防団第6分団車両及び第2分団車両を更新整備しました。				<p>・現状</p> 購入から20年経過する流山市消防団第15分団車両を更新整備します。				
<p>・評価</p> 従来の収納スペースを拡張することにより、資機材を使用しやすく積載することが出来ました。				<p>・課題</p> 車両更新については、引き続き普通自動車オートマ限定免許で運用できるよう、車両総重量3.5トン未満の小型ポンプ付積載車へ統一して配備します。また、災害発生時に小型動力ポンプを搬送するにあたり、容易に搬送できるよう小型動力ポンプ台座にキャスター等を設置する必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 更新車両は普通自動車オートマ限定免許で運用できる、車両重量3.5トン未満の小型動力ポンプ付積載車として更新整備しました。				<p>・取組</p> 各種災害対応への充実強化を図るため、「流山市の消防車両等更新基準」に基づき計画的に流山市消防団車両を更新します。				

救急救助体制の強化		主管課：消防本部						
救急救命士養成事業		救命率の向上を図るため、より高度な救命処置が施せる救急救命士の養成や救急救命士の前段となる救急隊員を養成します。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
消防総務課	7,481		6,835		12,764	5,119	0	5,119
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
救急救命士資格取得人数(人)	1	2	1	救急救命士人数(人)		31	29	34
千葉県消防学校救急科受講人数(人)	6	9	8					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 救急救命東京研修所へ2名、千葉県消防学校救急科に9名を派遣しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 高度救急医療への対応や更なる救命率の向上を図るため、救急救命士の配置は36名を目標としています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 国家試験に合格し、2名の救急救命士が新たに誕生しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 令和4年度末現在29名であり、救急救命士の計画的育成が必要となっています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 令和4年度末現在29名であり、救急救命士の育成が急務となっています。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 令和5年度については、令和4年度に合格した2名の救急救命士の運用開始及び救急救命東京研修所へ1名、千葉県消防学校救急科に8名を派遣する予定です。				
消防・救急意識の向上		主管課：消防本部						
火災予防運動啓発事業		火災による被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置促進や消防団による火災予防の広報、出火防止及び防火思想の普及啓発を行います。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
予防課	5,158		4,230		5,106	5,158	0	5,158
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
防火診断実施件数(件)	-	2	20	年間火災発生件数(件)		25	28	20
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 火災予防運動及び歳末火災予防特別警戒の期間中、火災予防を呼びかける広報パトロールを実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 これまで新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた事業の再開、また方策の見直しについて慎重な対応が求められています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 基本的な感染予防対策を講じながら、少しずつ事業を再開しました。今後も火災の抑制に繋がる啓発活動を通じて、火災件数が1件でも減らせるよう事業を展開します。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 新しい生活様式の変化に配慮した火災予防活動を展開するため、効果的で実効性のある火災予防活動を展開することが求められています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症及び悪天候により中止となっていた文化財防火デー訓練の時期を変更し、実施することが出来ました。今後も感染状況等を鑑み、適切な時期を選定し実施していきます。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 火災予防運動及び歳末火災予防特別警戒の期間中に市内を巡視し、広報や啓発活動を行います。引き続き、より効果的な手段を講じて、火災の発生と被害の軽減を図ります。				

主管部局 市民生活部 施策の目的 交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの交通事故発生件数	交通事故統計ちば(千葉県警察本部)	17.4	19.4	16.7	件	↓
人口1万人当たりの犯罪発生件数	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100(10月1日時点)	49.3	37.9	38.6	件	↓
消費生活相談件数	消費生活センターに寄せられた相談件数(消費生活センター)	1,489	1,517	1,627	件	-

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 交通事故の件数、箇所、道路の状況など現状を的確に把握し、流山警察署や市内小中学校など関係機関と連携し、道路状況に応じた交通安全施設の設置を行うと共に、既存の交通安全施設の適切な維持管理に努めます。防犯灯・防犯カメラの設置や安心メールの配信、迅速な消費関連情報の発信、市民等による防犯活動の支援を実施し、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進しました。</p> <p>・評価 人口1万人あたりの交通事故件数は減少していることから、啓発活動及び交通安全対策については一定の効果があったものと考えられます。人口1万人あたりの犯罪発生件数及び消費生活相談件数は増加しているため、防犯灯及び防犯カメラの整備を引き続き進めるとともに、より効果的な情報を迅速に発信することなどにより未然に被害を防ぐことが必要です。</p> <p>・改善点 これまで設置を進めてきた交通安全施設の劣化が進み、補修が必要な箇所が増えてくることが想定されます。E S C O事業により一括交換した防犯灯具の交換が増えてくることが想定されるため、事業終了後の維持管理方法を検討するための先進自治体視察を行い、情報収集に努めました。また、成年年齢の引き下げや消費者トラブルとなる手口の多様化、複雑化等の環境変化にいち早く対応するため、市内高等学校に啓発チラシを配布し、注意喚起しました。</p>	<p>・現状 流山市の人口は、引き続き増加する見込みであるため、それに伴い交通事故、犯罪、消費者トラブルの件数も、一定数、増加すると考えられます。これを抑制するために、更なる対策を推進することが必要です。</p> <p>・課題 物流施設の供用開始等に伴う道路環境の変化により、生活道路での安全対策が求められています。E S C O事業により一括交換した防犯灯について、事業終了後の維持管理方法についての検討が必要です。消費者トラブルについて、引き続き、手口の多様化、複雑化にいち早く対応することが求められています。</p> <p>・取組内容 交通事故の件数、場所、原因を関係機関で共有し、適切な交通安全対策を実施するとともに、自治会等、地域からの情報収集も積極的に行い、生活道路対策等、諸課題の解決に努めます。引き続き、防犯灯及び防犯カメラの整備を推進するとともに、E S C O事業終了後の防犯灯維持管理方法について検討します。犯罪発生情報、消費関連情報等の迅速な発信に努めます。</p>

交通安全対策の充実 主管課：道路管理課

交通安全施設整備事業	交通事故が多発している道路、その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、交通安全施設を整備して環境の改善を図ります。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
道路管理課	50,000	59,990		13,480	50,000	0	50,000
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
情報処理件数(件)	227	224	200	人身事故発生件数(件)	391	345	380

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 交通事故の件数、箇所、道路の状況など現状を的確に把握し、流山警察署や市内小中学校など関係機関と連携し、道路状況に応じた交通安全施設の設置を行うと共に、既存の交通安全施設の適切な維持管理に努めました。</p> <p>・評価 人口1万人あたりの交通事故件数は減少していることから、啓発活動及び交通安全対策については一定の効果があったものと考えられます。</p> <p>・課題に対する改善点 これまで設置を進めてきた交通安全施設の劣化が進み、補修が必要な箇所が増えてくることが想定されます。</p>	<p>・現状 流山市の人口は引き続き増加する見込みであるため、更なる対策を推進する必要があります。</p> <p>・課題 物流施設の供用開始等に伴う道路環境の変化により、生活道路の安全対策が求められています。</p> <p>・取組 交通事故の件数、場所、原因を関係機関で共有し、適切な交通安全対策を実施するとともに、自治会等、地域からの情報収集も積極的に行い、生活道路対策等、諸課題の解決に努めます。</p>

防犯対策の充実 主管課：コミュニティ課

安心安全支援事業	安心・安全な市民生活を推進するため、防犯カメラの設置や安心メールの配信、流山市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊の防犯活動を支援します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
コミュニティ課	18,915	16,194		8,493	32,984	7,050	25,934
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)	72	73	74	刑法犯認知件数(件)	778	807	750
流山市民安全パトロール隊隊員数(人)	31	33	33	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%)	64.6	62.4	64.0

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 防犯カメラの設置や安心メールの配信、市民等による防犯活動の支援を実施し、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進しました。</p> <p>・評価 市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりに努めましたが、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いてきた中で刑法犯認知件数が前年を上回ったため、更なる防犯対策が求められる状況となりました。</p> <p>・課題に対する改善点 防犯対策として、より効果的な情報発信等ができるよう、警察との連携強化を図りました。</p>	<p>・現状 警察をはじめとした防犯関係団体との更なる連携による啓発や情報発信を行うほか、防犯灯や防犯カメラの設置等により、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進します。</p> <p>・課題 新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着き、人々の外出が増え、不審者等の流入の可能性が高まることが想定されます。</p> <p>・取組 防犯灯や防犯カメラの設置、安心メールの配信、市民等による防犯活動支援を実施することに加え、警察との連携強化により、従前よりも防犯効果の高い情報発信等を行うことにより、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進します。</p>

消費者情報提供事業		被害に遭った消費者の救済や、トラブルを未然に防ぐため、専門の相談員を配置し、相談対応、情報提供を行います。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
コミュニティ課	17,871		17,091		3,829	17,775	123	17,652
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
相談件数(件)	1,517	1,627	1,627	相談処理が完結している割合(年度末時点) (%)		98.87	98.34	98.34
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 消費生活センターにおいて、来庁または電話による消費生活に係る苦情・相談を受け付け、専門相談員が助言や斡旋を行ったり、ホームページやSNS等を活用して最新の消費関連情報の発信に取り組みました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 インターネット通信販売のトラブル増加や悪質商法の手口の多様化など、消費者を取り巻く環境が変化しています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 相談者に対する適切な助言や消費関連情報の啓発により、消費者トラブルの解決や被害の回復及び未然防止に寄与しました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 消費者を取り巻く環境変化にいち早く対応する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 消費者を取り巻く環境変化にいち早く対応し適切な助言ができるように、専門相談員がスキルアップ研修に積極的に参加しました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 専門相談員が環境変化に応じた助言が適切にできるよう、スキルアップ研修に積極的に参加するとともに、啓発講座やホームページ・SNS等を通じて最新の消費関連情報の発信に取り組んでいきます。				

主管部局 市民生活部 施策の目的 地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
自治会への加入率	自治会加入世帯数÷常住人口世帯数×100 ※10月1日時点（コミュニティ課）	63.0	62.5	61.4	%	↑
市民活動団体の数	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）	229	234	236	団体	↑

令和4年度の実績と評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 自治会における電子回覧の導入検討にあたり、既存SNSの有効活用や自治会向けアプリケーションの先進事例研究を行うと共に、国・県の動向を注視してまいりました。自治会長説明会に際し、初の取り組みとして動画配信を行い、ICTを活用したアクセス向上を図りました。市民活動推進センターについて、市民、NPO、行政など多様な主体との連携を意識した相談業務拡充などの中間支援機能強化により地域課題解決に向けた市民活動団体支援に努めました。</p> <p>・評価 市民活動推進センターの新たな業務委託先による市民活動の一層の推進について、課題となっていた多様な主体との連携を図ることについて、市を仲介役とした上での関係機関への直接的な訪問、メールやSNSなど様々なアプローチ方法による積極的な働きかけにより、NPOや企業、大学、他市の市民活動推進センターなど一定の関係を構築できたことは前向きな成果として受け止めています。</p> <p>・改善点 自治会における電子回覧機能を有した地域SNSの導入検討については、令和5年度から開始される総務省での実証実験に応募し、対象自治体（市内5自治会を選出）に選定されたことを十分活かし、令和6年度以降の全自治会向けの取り組みへ繋げられるよう取り組んでまいります。</p>	<p>・現状 自治会活動に関する円滑な運営支援のため、各種補助制度の運用を継続するとともに、市民活動推進センターを中心に地域課題解決に向けた市民活動団体支援を行ってまいります。</p> <p>・課題 自治会活動支援に関して、役員の担い手不足や自治会未加入者の増加などの自治会が抱える諸課題について「自治会の事務負担軽減」がキーポイントであると認識しています。</p> <p>・取組内容 「自治会の事務負担軽減」に際し、地域や行政情報共有の負担軽減ツールとして電子回覧機能を有した地域SNSの導入検討について、今年度から総務省で開始される地域SNSの実証実験に選定されたことを十分活かし、令和6年度以降の全自治会向けへの取り組みへ繋げられるよう努めます。</p>

地域コミュニティの活性化 主管課：コミュニティ課

自治会活動助成事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の維持管理に要する経費の一部に対し補助金を交付します。また、コミュニティ活動活性化に資する講座を開催するなどし、自治会活動を支援します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
コミュニティ課	28,583	27,594		5,302	28,750	2,872	25,878
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
自治会懇談会開催回数(回)	-	2	2	自治会加入率(%)	62.5	61.4	67.00

令和4年度の実績と評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 自治会向け自治会長説明会に際し初の取り組みとして動画配信を行い、ICTを活用したアクセス向上を図りました。</p> <p>・評価 説明会当日に仕事やプライベートで予定のある自治会関係者の方々に対して、都合の良い時間に説明内容を共有できる環境を整えられたことは良かった点と認識しています。</p> <p>・課題に対する改善点 説明会の説明内容について、限られた時間の中で自治会側が必要とする事項がお伝えできるよう、関係課の同席については引き続き継続してまいります。</p>	<p>・現状 引き続き、地域コミュニティの核の1つである自治会に対し、各種補助制度などを通じ円滑な運営のため支援を実施しています。</p> <p>・課題 役員の担い手不足や自治会未加入者の増加など自治会が抱える諸問題について、自治会の事務負担軽減を図ることが課題です。</p> <p>・取組 「自治会の事務負担軽減」に際し、今年度から総務省で開始される地域SNSの実証実験に選定されたことを十分活かし、自治会内の情報共有ツールとして次年度以降の全自治会向けへの取り組みへ繋げられるよう努めます。</p>

地域コミュニティの活性化 主管課：コミュニティ課

自治会館建設費補助事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の建設（新築・増築）に要する経費の一部に対し補助金を交付し、活動を支援します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
コミュニティ課	36,600	25,000		1,276	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
自治会館建設補助申請件数(件)	2	2	-	自治会加入率(%)	62.5	61.4	67.00

令和4年度の実績と評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 毎年7月から8月にかけて受け付けている自治会からの次年度要望を継続しつつ、別途アンケート調査などにより、次年度以降の建設事業補助金の活用意向の把握に努めました。</p> <p>・評価 令和3年度の要望に基づき2自治会が補助金を活用し、自治会館の建設を行いました。また令和5年度の活用意向の把握については、自治会からの要望書の提出に加え、新任自治会長説明会時のアンケート調査においても事前把握に努めています。</p> <p>・課題に対する改善点 適切に財政支援が図れるよう、自治会のニーズを早期に把握できるように努めました。</p>	<p>・現状 令和5年度は、自治会館新設に伴う補助金活用予定の自治会はありませんでしたが、既存の自治会館建設事業資金貸付金の償還手続きを含め、自治会の円滑な運営のため支援を行います。</p> <p>・課題 特定の年度に集中することなく、適切な予算措置に基づく財政支援を図るため、自治会の意向把握が課題となっています。</p> <p>・取組 例年に引き続き、7月から8月に受け付けている自治会からの次年度要望による活用意向把握とともに、5月に実施予定の新任自治会長説明会時のアンケート調査においても把握できるように努めます。</p>

市民活動推進事業	市民活動団体による公益的な活動を支援するため、活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営や各団体が行う公益事業に対し補助金を交付し、協働によるまちづくりを推進します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
コミュニティ課	18,218		17,149		5,106	18,878	411	18,467
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
流山市民活動推進センター施設利用者数(人)	15,292	12,705	13,000	市民活動推進センター登録団体数(団体)		203	223	230
				市民活動団体公益事業補助金交付事業件数(事業)		2	5	6
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 補助制度運用に関しては、引き続き協働まちづくり提案調整会議に適宜諮り、懸案事項の解消に努めます。また、市民活動推進センターの庁内や市民への認知度向上を図り、市民活動の推進に努めました。</p>				<p>・現状 市民活動公益事業補助金に関しては、新たな補助制度運用2年度目に際し、9事業の申請があり6事業が採択されています。</p>				
<p>・評価 市民活動推進センターにおける新規団体登録件数は20件となり、昨年の6件と比較し大幅に増加していることは、新しい仕様に基づく運営業務委託の効果が表れているものと認識しています。</p>				<p>・課題 市民活動公益事業補助金に関しては、予算上の制約の中で運用することとなっていますが、市民活動推進センターの申請手続き支援の効果もあり、今後公益性の高い提案が数多く寄せられることも想定されるため、予算規模の拡充について検討していく必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点 新たな補助制度運用における、書面での具体的な評価方法の確立と、市民活動推進センターが効果的かつ円滑に運用できるよう行政、団体等と密に連携するよう努めました。</p>				<p>・取組 引き続き市民活動推進センターと連携をとりながら、多様な主体同士のコーディネートや各団体の活動情報発信強化を図り、市民活動団体支援に努めます。</p>				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
健康寿命(平均自立期間)	日常生活動作が自立している期間の平均 (千葉県健康福祉部資料) ※1 数値は2016年(H28)の統計。※2 数値は2018年(H30)の統計。※3 数値は2019年(R1)の統計。上段: 65歳男性、下段: 65歳女性	18.69 20.64(※1)	18.89 21.15(※2)	18.84 21.17(※3)	年	↑
生活習慣病による死亡者数の割合	死亡者数全体のうち、悪性新生物(がん)、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患、高血圧性疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、糖尿病による死亡者数の占める割合(千葉県衛生統計年報) ※4 数値はH30年 ※5 数値はR1年 ※6 数値はR3年	55.6(※4)	55.9(※5)	52.8(※6)	%	↓
一般診療所の数	千葉県衛生統計年報 ※7 数値はH30年、※8 数値はR1年、※9 数値はR3年	102(※7)	103(※8)	118(※9)	-	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び新型コロナウイルスワクチン接種の促進を図りながら、健(検)診事業のみならず、市民の健康増進に役立つ健康教育や相談事業の再開に向けた準備や検討を進めました。</p> <p>・評価 各種健(検)診事業等については、感染予防対策を講じながら、実施することができました。また、新型コロナウイルスワクチン接種の実施については、接種率向上のため、予約なし接種や夜間の集団接種等の新たな取り組みを行いました。新型コロナウイルス相談ダイヤルを365日開設し、市民の不安の軽減を図ることができました。</p> <p>・改善点 長引く新型コロナウイルス感染症対策を継続する中でも、市民の健康の維持増進及び必要な各種保健事業について、極力実施していきます。また、新型コロナウイルスワクチン接種については、国から4回目接種の方針が示されたことから、円滑な実施に向けた準備を行う必要があります。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5月8日より5類に移行となることから、引き続き基本的感染予防策を講じながら、平時の事業を再開していきます。また、新型コロナウイルスワクチン接種については、国から示された「令和5春開始接種」を実施するとともに、秋に予定されている「令和5年秋開始接種」についても詳細が示され次第、接種の実施に向けて準備をしていきます。</p> <p>・課題 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行された後も、感染拡大の恐れがあることから、引き続き、国や県の動向を注視していく必要があります。また、5類移行時の医療体制等の混乱が懸念されます。</p> <p>・取組内容 引き続き状況の把握に努め、感染状況に応じて、流山市医師会や松戸保健所等と連携し、対策を行います。また、国や県等の最新情報を広報や市ホームページ、安心メール等で周知していきます。</p>

ライフステージに応じた市民の健康づくり 主管課：健康増進課、企画政策課

健康づくり支援事業	R4当初予算							R4決算見込		
誰もが、生涯を通じ生き生きと自分らしく充実した人生を送る社会を実現するため、第2次健康づくり支援計画(令和2~11年度)に基づき、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした健康づくりを推進します。ヘルスアップ教室や健康づくり推進員活動、市民健康まつり、健康チェックコーナー等を通じて、健康的な生活習慣を身につけるための機会の提供や健康情報の普及啓発、受動喫煙防止等のたばこ対策、保育所や学校等と連携した食育の推進などを行います。	4,104							2,270		
担当課	健康増進課							R4職員給与費(目安)		
	3,532							13,820		
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標	
ヘルスアップ教室開催回数(回)	50	110	100	ヘルスアップ教室参加者(人)			126	232	300	
				市民健康まつり参加者数(人)			-	-	1,000	

母子健康診査事業	R4当初予算							R4決算見込		
母子保健法に基づき、母子の健康の保持増進を目的とし、妊婦、3~6か月児、9~11か月児、3か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、妊婦・乳児一般健康診査、3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を実施します。3歳児健康診査の一部を除き、個別委託を実施します。また、令和3年度から新生児聴覚スクリーニング検査を実施しています。※組織改編による事業内容の再編あり。	389,326							378,937		
担当課	健康増進課							R4職員給与費(目安)		
	174,375							109,184		
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標	
妊婦届出数及び転入妊婦数(人)	2,275	2,238	2,000	妊婦一般健康診査受診率(%)			92.89	90.19	95.00	
3か月児、1歳6か月児、3歳児健診送数(通)	7,334	7,034	7,100	3か月児、1歳6か月児、3歳児健診受診率(%)			93.67	94.32	95.00	

疾病の早期発見		主管課：健康増進課、保険年金課						
予防接種事業		感染症の発生及びまん延を予防するための予防接種を行い、感染症による疾病の予防及び公衆衛生の向上を図ります。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	747,819	718,238			28,591	750,521	7,737	742,784
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
麻疹風しん1期個別勧奨数(通)	2,213	2,311	2,213	麻疹風しん1期接種率(%)		92.22	96.96	98.00
麻疹風しん2期個別勧奨数(通)	2,462	2,490	2,417	麻疹風しん2期接種率(%)		96.75	97.28	98.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 ヒトパピローマウイルス感染症予防接種とキャッチアップ接種の対象者へ個別通知を送付しました。風しんの抗体検査・風しん第5期予防接種の実施期間延長に伴い、未接種者への新規クーポン券の発行や、転入者への通知を行いました。また、1歳6か月児健康診査の個別通知を利用した接種勧奨を行い、接種率の向上を図りました。				・現状 麻疹・風しん第1期については、新型コロナウイルス感染症流行による接種控えの影響もあり、接種率がコロナ禍以前と比べて低い状況となっています。また、令和5年度は、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種に9価ワクチンが加わります。				
・評価 ヒトパピローマウイルス感染症予防接種とキャッチアップ接種の対象者へ個別通知を送付することにより、接種者の増加に繋がりました。風しん抗体検査を含め予防接種についても安全で適切な実施や接種勧奨に努めました。麻疹・風しん第1期の接種率については、コロナ禍以前と比べて低い状況となっています。				・課題 麻疹・風しん第1期については、コロナ禍以前と比べて低い状況のため、接種率の向上を図る必要があります。また、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種に9価ワクチンが加わるため、対象の方が安心して接種ができるよう周知が必要です。				
・課題に対する改善点 麻疹・風しん混合ワクチン第1期については、新型コロナウイルスの感染症流行による接種控えを防ぐために、1歳6か月健康診査で把握した未接種の方に電話による接種勧奨を行います。				・取組 麻疹・風しん第1期については、引き続き1歳6か月児健康診査の個別通知を利用した接種勧奨を行い、接種率の向上を図ります。ヒトパピローマウイルス感染症予防接種の9価ワクチン開始については、対象者の方が安心して接種できるよう、ホームページや広報、個別通知等で十分な周知を行います。				

疾病の早期発見		主管課：健康増進課、保険年金課						
健康増進事業		健康増進法に基づき、健康に関する知識の向上、生活習慣の改善を図り、疾病の早期発見・早期治療のための健康診査や各種がん検診を実施します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	341,500	283,930			52,782	337,689	17,545	320,144
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
がん検診精密検査受診率(精検受診者/要精検者)(%)	60.28	82.00	85.00	がん検診精密検査未把握率(%)		28.82	13.00	12.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 各種がん検診及び精密検査受診率向上に向け、個別受診勧奨を行いました。また、大腸がん検診の精密検査対象を国の指針に基づき整理しました。健康教育については、乳幼児健診等の機会を利用し、若い世代の方向けにがんの知識や検診の重要性の普及に努めました。				・現状 より多くの方にごがん検診を受けていただくために、広報やポスター等での周知、節目年齢に個別通知を送付し、受診勧奨を行っています。検診を受けた後も精密検査を確実に受けていただけるよう個別通知や電話による受診勧奨をしています。				
・評価 各種がん検診受診率については個別通知等で受診勧奨を行いましたが、多少の上がり下がりはあるものの例年と横ばいとなりました。精密検査受診率については、受診率の向上、未把握率の減少となりました。				・課題 受診率が例年横ばいであり、新規の受診者数が伸び悩んでいる状況です。概ね精密検査受診率は目標を達成していますが、検診の種類によっては達成できていないものがあります。				
・課題に対する改善点 受診率は維持することができていますが、例年、国の目標値には届いていない状況が続いていることから、引き続き受診勧奨を行うとともに、がん検診受診の啓発を行います。				・取組 がん検診受診率向上に向けて、これまで受診したことがない方にも検診を受けていただけるよう、胃がん、肺がん検診については40歳の方に受診券を送付します。精密検査受診率については引き続き、個別勧奨を行います。また市民の方が健康に関する正しい知識を得るために健康教育を充実させていきます。				

疾病の早期発見		主管課：健康増進課、保険年金課						
特定健康診査等事業		国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査や特定保健指導を実施します。生活習慣病の予防を図るため、山口市国民健康保険データヘルス計画に基づき、令和2年度から開始した糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象者への更なる周知やA Iによる特定健診受診勧奨を実施し、被保険者の健康と医療費の適正化を目指します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	155,352	131,060			26,248	158,022	158,022	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
AI分析による特定健診受診勧奨通知(件)	30,544	30,444	30,500	特定健診受診率(%)※		46.4	-	60.0
特定保健指導利用勧奨(訪問・電話)数(件)	169	311	400	特定保健指導利用率(%)※		20	-	20
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 特定健診は、7月と9月にA Iを利用した受診勧奨はがきを送付し、不定期受診者・初受診者が継続受診につながるよう取り組みました。また国保新規加入者へのアプローチ(受診券の自動送付)を実施し、新規受診者の増加に努めました。特定保健指導については、利用率向上のため、早期に通知や訪問による利用勧奨を行いました。				・現状 新型コロナウイルス感染症の影響から脱却しつつあり、受診率は上昇傾向です。引き続き医療機関と連携し、特定健診・特定保健指導の受診率向上に向け、市民の健康保持、健康増進に努めます。				
・評価 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた時期に比べ、受診率は上昇傾向であり、不定期受診者・初受診者の受診率も令和3年度と比較すると上昇しています。市民に健診受診の重要性の意識が根付きつつあると考えられます。特定保健指導については、早期に利用勧奨を実施したことから、令和3年度に比べ利用者数が増加しました。				・課題 若い世代の受診率向上や、対象者全体に健診受診の習慣化に向けた取り組みが必要です。特定保健指導の利用勧奨についても、若い世代に介入できるよう、実施方法の検討が必要です。				
・課題に対する改善点 健診受診が習慣化するよう、A Iを利用した受診勧奨などの取り組みを継続していきます。40～50歳代の受診率は低い位置を推移しているため、若い世代に向けた更なる受診勧奨が必要です。特定保健指導についても早期に利用勧奨に取り組み、利用率の向上を目指します。				・取組 商工会議所会員や市内で農業を営む市民に対し、特定健診の受診を促す通知を発送します。商業施設で特定健診受診の啓発を含めた健康イベントの実施を企画します。また、特定保健指導利用率向上のため、通知や訪問による利用勧奨を引き続き早期に実施し、利用数を増やします。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
医療体制整備・確保事業	医療提供体制の確保を図るため、流山市医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て、平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急における初期診療・応急処置（第1次救急）、市内3病院における第2次救急を整備します。また、市内の病院等における看護師等を確保するため、病院内保育を運営する病院に対する補助金制度のほか、看護学校等に在学中の方で、将来市内の病院等施設で看護師等として働く意思のある方に対し、修学資金の貸付けを行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	96,974		99,278		1,915	105,087	2,788	102,299
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
平日夜間・休日診療所開設日数(日)	365	365	366	平日夜間・休日診療所、夜間小児救急医療、第2次救急医療利用者数(人)		2,317	2,752	3,000
				看護師学校修学資金貸付金申請件数(件)		38	63	75
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 流山市平日夜間・休日診療所および夜間小児救急、2次救急など医療提供体制の維持のほか、院内保育の助成、看護師等修学資金貸付により医療人材の確保に取り組みました。				・現状 コロナ禍が継続している状況においても、平日夜間・休日の医療体制を維持しています。				
・評価 流山市医師会等の協力を得て、コロナ禍においても必要な医療体制の維持に努めました。				・課題 新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行となるが、基本的感染対策を継続し、引き続き医療体制を維持していく必要があります。				
・課題に対する改善点 流山市平日夜間・休日診療所については、流山市医師会等と緊密な連携を図り、コロナ禍においても必要な1次救急が提供されるよう取り組みました。				・取組 流山市医師会等と緊密な連携を図り、引き続き医療体制の維持に努めていきます。また、院内保育の助成、看護師等修学資金貸付により医療人材の確保を図ります。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
健康危機管理整備事業	災害や新型コロナウイルス感染症等感染症など、市民の生命や健康を脅かす健康危機が発生した場合に備えるため、県や関係機関との連携・協力のもと、健康危機管理体制を構築します。災害発生時に備えるため、救護所用の医療資器材や医薬品の備蓄を実施する等、医療救護体制の整備を行うとともに、新型コロナウイルス感染症等感染症の発生に備え、ワクチンの住民接種体制の整備、感染者に接触する職員等の個人防護具や消毒薬等の備蓄等、新型コロナウイルス感染症に対する対応体制等を構築します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	3,893		3,701		1,488	2,894	0	2,894
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
災害医療対策会議実施回数(回)	-	-	2	ランニング備蓄店舗数(件)		37	36	40
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 災害発生時における救護所の必要物品の確認や期限切れ医薬品の交換、コロナ禍で使用した物品の補充と新規備蓄を行い、医療救護活動マニュアルに掲載一覧の品目を整備しました。				・現状 災害医療対策会議が新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度を最後に通常開催できていない状況です。				
・評価 新型コロナウイルス感染症流行のため、災害医療対策会議や研修等が開催できませんでした。救護所等の物品を確認するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策等で使用した物品を補充し、必要な備蓄を確保しました。				・課題 新興感染症の流行や自然災害等の備えのため、「医療救護活動マニュアル」の見直しや追記、災害医療対策会議の開催で検討する必要があります。また、マニュアルには、新型コロナウイルス感染症のみならず感染症全般への対策を追記する必要があります。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症等、新興感染症の流行と自然災害等の同時発生への備えとして、「医療救護活動マニュアル」に基づき実践できるよう、関係機関との情報共有が必要です。				・取組 災害医療対策会議を中心に、流山市医師会、流山市歯科医師会、流山市薬剤師会等の関係機関と災害医療救護活動合同研修会を開催します。災害医療対策会議では、「医療救護活動マニュアル」の感染症対策や自然災害等の対策について検討します。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
保健センター施設整備事業	安心・安全な施設環境を確保するため、保健センターの改修工事を行います。 令和5年度 調理室調理台改修工事 令和6年度 受水槽改修工事、高架水槽改修工事 令和7年度 給排水設備改修工事							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	0		0		1,699	10,000	9,000	1,000
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 施設内の照明を蛍光灯からLEDへの改修工事を行う計画であったが、調整等により令和5年度に延期となりました。				・現状 個別施設計画に基づき、計画的修繕を実施しています。				
・評価 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				・課題 健(検)診、健康教育や相談事業等の各種保健事業のほか、平日夜間・休日診療所を併設し、地域保健の拠点としての機能を担う保健センターを長期的に利用できるように整備していく必要があります。				
・課題に対する改善点 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				・取組 令和4年度に実施出来なかった施設内の照明を蛍光灯からLEDへの改修工事を行います。併せて経年劣化が進んでいた栄養指導室調理台等改修工事を行います。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
新型コロナウイルス感染症対策事業（健康増進課）	新型コロナウイルス感染症の流行に対応するため、市民の不安解消を図る流山市新型コロナウイルス相談専用ダイヤルの設置、市内医療機関への流山市新型コロナウイルス感染症対策医療提供促進交付金交付、高齢者施設等での抗原検査等必要な感染防止対策を行います。 なお、当該事業は国の感染症法上の分類見直し等があることから、国や県の動向等を注視し、必要に応じ事業実施を見直すなどして取り組んでまいります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	257,997		330,097		6,804	157,102	3,883	153,219
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
新型コロナウイルス相談専用ダイヤルへの問い合わせ件数(件)	16,957	25,156	-	市内居住者新型コロナウイルス感染者(人)		11,583	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 流山市新型コロナウイルス相談専用ダイヤルを365日開設し、市民の不安を軽減する相談業務を継続しました。市内医療機関に対し流山市医療提供促進交付金の交付、高齢者施設等への感染症認定看護師等の派遣、感染者が確認された高齢者施設等へのPCR検査の実施や抗原検査キットの配布等、感染拡大防止等に取り組ましました。				・現状 新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日より5類感染症への移行が予定されており、PCR検査の実施や相談業務等、終了時期が決定している事業もあります。感染防止対策は基本的に個人や事業者の判断に委ねることとなりますが、感染状況等に応じて流山市医師会や保健所等と連携した対策や施策が必要です。				
・評価 感染症の流行状況により国や県が展開する施策を注視しながら対応し、市民へ周知・啓発を図りました。流山市医師会や保健所等と連携し、感染拡大防止、入院及び検査体制等の促進を図りました。なお、市内居住者新型コロナウイルス感染者数については、国の全数把握の見直しが行われ、令和4年9月26日までの感染者数は、19,216人となりました。				・課題 5類感染症への移行に伴い、必要に応じて事業の整理や見直しを図る必要があります。また、感染状況等に応じ、引き続き流山市医師会や保健所等と連携し、対策や施策を検討します。				
・課題に対する改善点 流山市医師会や保健所等と連携を図り、感染状況に応じた感染拡大防止等に取り組む必要があります。				・取組 5月8日から5類感染症に移行することから、終了する事業があります。このため、国、県等の最新情報を広報や市ホームページ、安心メール等で広く周知するとともに、流山市医師会や保健所等と連携し、市民の混乱や不安を招かぬよう努めてまいります。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
新型コロナウイルス感染症対策事業（商工振興課）	セーフティネット信用保証制度4号認定付きの市制度融資を受けた市内事業者に対し、融資に係る利子及び信用保証料を全額補助します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
商工振興課	241,461		235,244		0	208,318	160,000	48,318
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				融資件数(件)		50	14	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 流山商工会議所の商業部会・工業部会の参加者とこれまで以上に連携を図りました。				・現状 セーフティネット信用保証制度4号認定付きの市制度融資を受けた市内事業者に対し、利子補給及び信用保証料補給の補助を行います。				
・評価 セーフティネット信用保証制度4号認定付きの市制度融資を受けた市内事業者に対し、利子補給及び信用保証料補給222件の補助を行いました。また、融資件数は14件行いました。				・課題 今後とも制度の周知に努め、必要な方に情報が届くよう取り組みます。				
・課題に対する改善点 セーフティネット信用保証制度が6月に期限を迎えるものの、延長の可能性があるため、情報収集を行います。				・取組 利用者への丁寧な情報提供及び未利用者への制度周知を図ります。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
新型コロナウイルス感染症対策事業（保育課）	保育所等に必要アルコール消毒液などの購入に補助金を交付します。また公立保育所ではICTを活用した業務支援システム導入と手洗い場の自動水栓化により保育士の業務負担軽減及び接触機会低減による衛生面の向上を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
保育課	63,742		124,782		1,276	55,122	25,350	29,772
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
補助施設数(件)	80	91	80					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染拡大防止として、保育所等が消耗品や備品購入等に係る費用に対して補助金の交付をしました。公立保育所の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ICT化及び手洗い場の自動水栓化工事を行いました。				・現状 市内保育施設に対し新型コロナウイルス感染症防止対策に係る補助金を交付します。公立保育所においてはICTによる登降所管理を行います。				
・評価 市内保育施設に補助金を交付したことで、保育施設の新型コロナウイルス感染症対策に寄与できました。また、公立保育所のICT化及び手洗い場の自動水栓化により衛生面の向上が図られました。				・課題 感染を確認した際に感染拡大防止策をとれるようにしておく必要があります。				
・課題に対する改善点 感染拡大を防ぐために継続的な市内保育施設の新型コロナウイルス感染拡大防止対策が必要です。				・取組 新型コロナウイルス感染症拡大防止として、保育所等が購入した消耗品費用等に補助金を交付します。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
新型コロナウイルス感染症対策事業 (健康増進課 ワクチン接種分)		流山市医師会の協力のもと、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を実施します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
健康増進課	1,112,341	1,536,278		87,327	362,551	362,551	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
市内新型コロナウイルスワクチン接種施設数	68	66	70	新型コロナウイルスワクチン接種実施回数		358,690	249,359	147,900
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 医療機関での個別接種、市内延べ4か所の常設集団接種会場を開設し、希望する市民が速やかに接種を受けることができるよう努めました。また、スタートおたかの森ホールを利用した夜間集団接種を3日間行い、平日日中の接種が難しい若年層への接種促進を図りました。				・現状 初回接種を引き続き実施するとともに、令和5年5月8日以降「令和5年春開始接種」、令和5年9月1日以降「令和5年秋開始接種」が開始される見込みです。国は令和6年度以降、安定的な制度の下での接種へ移行することを検討しています。				
・評価 初回接種は12歳以上の対象者の約90%、5～11歳の対象者の約31%、6か月～4歳の対象者の約4%、令和4年秋開始接種は対象者の約57%の接種が完了しています。				・課題 令和6年度に向け、国の示す新型コロナウイルスワクチンの安定的な制度の下での接種を見据えた接種体制整備が必要となっています。				
・課題に対する改善点 接種対象者の多い時期や年末にかけて集団接種を行い、希望する市民への接種を促進しました。				・取組 新型コロナウイルスワクチンの安定的な制度の下での接種を見据え、医師会と連携し、個別接種を中心とする体制へと移行を進めていきます。また、令和6年度以降の職員体制・配置について、関係部署と情報共有し、協議を進めていきます。				
地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
新型コロナウイルス感染症対策事業 (商工振興課 グループ提案型 売上アップ・プロジェクト応援事業分)		物価及びエネルギー価格の上昇など、経済活動に影響を及ぼす社会情勢変化に直面する中、事業者グループの自主的な事業活動の促進を図り、地域経済の活性化を目的とした事業に対し、かかる経費の一部を補助するものです。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
商工振興課	6,022	2,394		12,764	5,022	0	5,022	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
応募件数(件)	-	2	3	補助金交付件数(件)		-	2	3
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 新規事業のため、既存の団体(美容組合・理容組合・商店会・工業団地・商工会議所・市民活動推進センター)のほか、商業施設ディベロッパー・ホテル・菓子製造販売店・飲食業等を戸別訪問して周知を図りました。				・現状 業種や事業規模に応じた支援となるよう、それぞれのグループが考える効果的な事業を補助します。				
・評価 既存の業界団体としての提案申請だけでなく、店主同士が繋がりのある個人事業主のグループからの提案申請があり、特定業界に必要な事業、事業規模に見合った事業に対して支援することができました。				・課題 どういった提案事業が対象となるのかについての周知が不十分と思われます。前年度応募に至らないケースから取りまとめ役の負担軽減策が必要となります。				
・課題に対する改善点 当該事業への関心はあるものの、取りまとめ役の時間的、経済的負担感から申請に至らないケースがありました。制度が利用しやすいように補助対象経費の拡充を今後検討します。				・取組 提案事例を掲載したリーフレットを作成して、提案の促進を図ります。補助対象経費に人件費(総事業費の1割以内)、通信費を加えるよう要綱を改正します。				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	「日ごろから何らかの学習活動（生涯学習）を行っていますか」に「はい」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	36.5	37.4	35.7	%	↑
学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	「学びたいときに学べる環境が整っていると思うか」に「整っている」「どちらかといえば整っている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	53.2	50.9	52.3	%	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づくブックスタート関連事業の一環として、市内子育て関連施設に「乳幼児向けおすめ絵本のブックセット」を設置し、子どもの読書環境の充実に努めました。子育て支援施設との複合施設であるサンコーテクノプラザ南流山地域図書館が開館しました。南流山分館の閉館に伴い、南流山センター内に子育てなんでも相談室、会議室を整備したとともに、南流山図書ビックアップセンターの開館準備を進めました。</p> <p>・評価 子どもの読書活動についての理解・関心を深め、子どもがいろいろな絵本に親しめる環境づくりを支援することができました。サンコーテクノプラザ南流山地域図書館は、南流山中学校の各種行事への影響を最小限にして工事を進め、令和4年12月に開館しました。令和5年4月開設の南流山図書ビックアップセンターは、通勤・通学等で駅を利用する図書館利用者の利便性を高めることができます。</p> <p>・改善点 各事業において、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら感染対策を徹底した上で、できるだけコロナ禍前に近い形で運営を行いました。子育て関連施設のニーズに合った長期的な事業のあり方について検討しました。</p>	<p>・現状 公民館をはじめ築年数が経過した施設については、経年劣化による破損や老朽化が見られます。運用中の図書館電算システムは、令和5年9月で契約期間が終了するため、更新する必要があります。</p> <p>・課題 安心・安全で快適な施設環境を確保するため、改修・整備を計画的に進める必要があります。図書館電算システムについては、利用者の利便性が向上するものに更新する必要があります。</p> <p>・取組内容 文化会館ホールの特天井の改修、舞台床の張替工事等を実施します。また、利用者の利便性の向上を図るため、公民館等に貸出用Wi-Fi機器を整備します。生涯学習センターの体育館及び演習室の床修繕工事、エレベーター更新工事に向けた設計業務を行います。図書館電算システムを更新し、利用者の利便性を高めます。</p>

多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業	夏休み期間中、保護者が日中働いている小学生に対して、学校施設の一部を使用して体験学習などを行います。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
公民館	3,228	2,837	4,301	0	0	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
募集定員(人)	100	100	-	参加延べ人数(人)	97	73	-
イベント回数(件)	34	42	-				
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 「夏休み子ども教室」事業を7月21日から8月30日まで(土・日曜、祝日、8月12日・15日を除く)の26日間、小山小学校と南流山小学校の2校で、各校50人の定員で実施しました。</p> <p>・評価 夏休みの宿題や読書の時間のほか、多彩なイベントや幅広い学習プログラムを実施し、参加した子ども達からは「とても楽しかった」と好評でした。</p> <p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応を取りつつ、事業を実施しました。</p>	<p>・現状 令和4年度で事業は終了しました。</p> <p>・課題 令和4年度で事業は終了しました。</p> <p>・取組 令和4年度で事業は終了しました。</p>						

多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

図書館資料購入事業	図書をはじめ、電子書籍・雑誌・新聞・視聴覚資料などの図書館として必要な資料を購入します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
図書館	39,320	39,303	34,295	40,422	0	40,422	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
図書購入冊数(冊)	26,054	14,009	15,354	蔵書冊数(冊)	520,950	524,047	527,401
視聴覚資料購入点数(点)	502	463	370	貸出点数(月平均)(点)	97,865	95,699	105,268
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 資料の利用状況をきめ細かく把握しながら計画的に購入しました。</p> <p>・評価 図書、電子書籍、雑誌、視聴覚資料のバランスを取りながら、幅広い分野の資料を購入しました。</p> <p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症の影響により図書館に来館できない方も多いことから、自宅でも読書を楽しめる電子書籍の所蔵点数を増やしました。</p>	<p>・現状 引き続き図書館が所蔵すべき資料を計画的に購入します。</p> <p>・課題 令和4年12月に開館したサンコーテクノプラザ南流山地域図書館の資料を充実させる必要があります。</p> <p>・取組 サンコーテクノプラザ南流山地域図書館で所蔵する資料の拡充に取り組みます。特に、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、児童書の充実を図ります。</p>						

多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

おたかの森子ども図書館資料充実事業	幼い頃から本に親しみ、生涯を通じた読書活動のステップとするため、子どもの読書活動推進計画に基づくブックスタート関連事業として、市内子育て関連施設に「乳幼児向けブックセット」を設置します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
図書館	1,050		1,025		8,767	2,806	0	2,806
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
ブックセット設置施設数(施設)	14	14	60	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数(人)		15,648	16,570	17,657
ブックセット設置冊数(冊数)	924	922	2,430					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>市内に新設された子育て関連施設にブックセットを設置しました。また、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、配慮を必要とする子どもへの取組の一環として、障害児通所支援事業所も設置対象としました。</p>				<p>・現状</p> <p>子どもの読書活動を推進し、子どもを取り巻く読書環境の整備を継続的に支援していくため、ニーズに合った長期的な事業のあり方について検討する必要があります。</p>				
<p>・評価</p> <p>市内に新設された保育園9施設、小規模保育室2施設、児童センター1施設と障害児通所支援事業所2施設にブックセットを設置し、子どもが様々な絵本に親しめる環境づくりを支援しました。</p>				<p>・課題</p> <p>ブックセットを設置済みの子育て関連施設に対する支援をどのように継続していくかが課題です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>ブックセットを既に設置した子育て関連施設を対象にアンケートを実施した結果、子どもの読書環境の整備に対する継続的な支援を求める要望が多かったため、令和2年度に実施したブックセット第2便を未設置の子育て関連施設に設置する予算を計上しました。</p>				<p>・取組</p> <p>新設の子育て関連施設や障害児通所支援事業所にブックセットを設置するほか、令和2年度に実施したブックセット第2便を未設置の子育て関連施設に設置します。</p>				

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

南流山地域図書館整備事業	令和4年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に整備する子育て支援施設(子育て世代活動支援センター及び児童センター)との複合施設として、南流山地域図書館を整備します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
図書館	324,015		960,808		19,097	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(%)	67	100	-					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>工事監理者及びファシリティマネジメント室と連携し、南流山地域図書館の整備を行いました。また、本事業に合わせて南流山図書ビックアップセンターの開設準備を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和4年度で事業は終了しました。</p>				
<p>・評価</p> <p>計画的に工事を進め、予定どおりサンコーテクノプラザ南流山地域図書館を開館することができました。加えて、南流山図書ビックアップセンターの開設準備を進め、南流山分館に代わり、地域住民や利用者に、資料・設備ともにより質の高い図書館サービスを提供することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和4年度で事業は終了しました。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>南流山中学校での部活動に伴うボール等による施設の破損事故を防ぐため、防球ネットを設置しました。</p>				<p>・取組</p> <p>令和4年度で事業は終了しました。</p>				

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

文化会館施設整備事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、文化会館の修繕・改修を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
公民館	2,800		2,300		5,334	128,992	109,100	19,892
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(特定天井改修設計業務委託)(%)	-	100	-	稼働率(市民会館)(%)利用日数/開館日数		50.4	50.4	50.0
工事進捗率(改修工事)(%)	-	-	100	利用者アンケート調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)		44	47	50
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>ホール特定天井の脱落防止のため、改修に伴う設計業務委託を実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>経年劣化等により破損や老朽化が見られるため、修繕が必要になっています。</p>				
<p>・評価</p> <p>遅滞なく実施しました。</p>				<p>・課題</p> <p>施設の長寿命化のため、安全に配慮し計画的に改修工事を進めて行く必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>利用者の安全確保と利便性向上のため、計画的な改修工事の実施が必要となります。</p>				<p>・取組</p> <p>施設の安全かつ適正な維持管理を図るため、特定天井改修工事、舞台床張替工事、排水設備改修工事及び市民会館棟外壁改修工事を実施し、施設環境の整備に取り組みます。</p>				

生涯学習の環境整備								主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館								
中央図書館改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するために、中央図書館の修繕・改修を行います。														
担当課		R4当初予算			R4決算見込			R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源		
図書館		1,550			0			14,875		703		0		703		
主な活動指標		R3実績		R4実績		R5目標(予定)		主な成果指標			R3実績		R4実績		R5目標	
工事進捗率(%)		100		-		100										
令和4年度の取組みと評価・改善点								令和5年度の現状・課題・取組み								
・取組		自動火災報知設備及び非常用放送設備の更新については、市が機器を購入し、工事を発注する従来方式ではなく、リース契約による更新とする方針を決めました。														
・評価		自動火災報知設備及び非常用放送設備の更新について、設計・設置・管理・保守まで含めたリース契約とすることとし、施設の適切な管理に向けて取り組むことができました。														
・課題に対する改善点		老朽化が進んだ設備の更新に向けて、リース契約を含む効果的な方式を取り入れることで、施設の機能や性能の向上に資することができました。														
		<ul style="list-style-type: none"> ・現状 開館して45年経過しており、建築物や設備が老朽化しています。 ・課題 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。 ・取組 緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施します。非常用照明の更新を実施します。 														
生涯学習の環境整備								主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館								
南流山センター施設整備改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、南流山センターの修繕・改修を行います。														
担当課		R4当初予算			R4決算見込			R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源		
公民館		70,106			68,804			4,306		2,000		0		2,000		
主な活動指標		R3実績		R4実績		R5目標(予定)		主な成果指標			R3実績		R4実績		R5目標	
工事進捗率(内装改修)(%)		-		100		-		稼働率(%) 利用日数/開館日数			74.2		74.2		75.0	
工事進捗率(エレベーター更新工事設計業務委託)(%)		-		-		100		利用者満足度調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)			57		51		55	
令和4年度の取組みと評価・改善点								令和5年度の現状・課題・取組み								
・取組		令和3年度の設計を基に南流山センター内装改修を実施しました。改装に伴い、一部の備品を更新、整備しました。また、屋上防水及び外壁改修工事を実施しました。														
・評価		安全に遅滞なく整備することができました。														
・課題に対する改善点		工事期間中の施設使用者の安全対策を行う必要があります。また、施工業者が安全対策及び新型コロナウイルス感染症対策を徹底するよう指導する必要があります。														
		<ul style="list-style-type: none"> ・現状 南流山センター内のエレベーターは、今後、修理等のための部品調達が困難となる見込みであるため更新工事が必要となります。 ・課題 施設の長寿命化のため、安全に配慮し計画的に改修工事を進めて行く必要があります。 ・取組 令和6年度のエレベーター更新工事に向け、設計業務委託を行います。 														
生涯学習の環境整備								主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館								
初石公民館施設整備改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、初石公民館の修繕・改修を行います。														
担当課		R4当初予算			R4決算見込			R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源		
公民館		0			0			0		0		0		0		
主な活動指標		R3実績		R4実績		R5目標(予定)		主な成果指標			R3実績		R4実績		R5目標	
令和4年度の取組みと評価・改善点		令和4年度は事業の実施がありませんでした。														
・取組		令和4年度は事業の実施がありませんでした。														
・評価		令和4年度は事業の実施がありませんでした。														
・課題に対する改善点		令和4年度は事業の実施がありませんでした。														
		<ul style="list-style-type: none"> ・現状 令和5年度は、事業の実施予定がありません。 ・課題 施設の長寿命化のため、安全に配慮し計画的に改修工事を進めて行く必要があります。 ・取組 令和6年度に受変電設備設計業務委託、令和7年度に受変電設備更新工事を予定しています。 														

生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
生涯学習センター整備充実事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、生涯学習センターの修繕・改修を行います。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
生涯学習課	10,348	8,920		3,191	9,150	0	9,150
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(%)	100	100	100				
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<ul style="list-style-type: none"> 取組 館内の非常用照明147台のうち、経年劣化が見られる104台を更新、13台分を新設しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 施設全体に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。			
<ul style="list-style-type: none"> 評価 非常時の安全性を確保することができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 安心・安全で快適な施設環境の維持向上を図るため、計画的に修繕を行う必要があります。			
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 利用者に大きな御不便をかけることなく、工事を実施できました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 体育館及びA館1階の演習室の床について、一部張替え等の修繕工事をを行います。また、令和6年度のエレベーター更新工事に向け、設計業務委託を行います。			
生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
地域図書館改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、地域図書館の修繕・改修を行います。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
図書館	0	0		14,875	990	0	990
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(%)	-	-	100				
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 地域図書館において、経年劣化による破損や老朽化が見られます。			
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。			
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 森の図書館の地下雨水貯留槽の修繕を実施します。			
生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
東部公民館施設整備改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、東部公民館の修繕・改修を行います。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
公民館	0	0		0	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 令和5年度は、事業の実施予定がありません。			
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 施設の長寿命化のため、安全に配慮し、計画的に改修工事を進めて行く必要があります。			
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和6年度に受変電設備設計業務委託、令和7年度に受変電設備更新工事を予定しています。			

生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
博物館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、博物館の修繕・改修を行います。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
博物館	1,550	0		6,382	567	0	567
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組	自動火災報知設備及び非常用放送設備の更新については、市が機器を購入し、工事を発注する従来方式ではなく、リース契約による更新とする方針を決めました。			・現状	開館して45年経過しており、建築物や設備が老朽化しています。		
・評価	自動火災報知設備及び非常用放送設備の更新について、設計・設置・管理・保守まで含めたリース契約とすることとし、施設の適切な管理に向けて取り組むことができました。			・課題	老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に戻すだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。		
・課題に対する改善点	老朽化が進んだ設備の更新に向けて、リース契約を含む効果的な方式を取り入れることで、施設の機能や性能の向上に資することができました。			・取組	緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施します。非常用照明の更新を実施します。		

生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
文化会館非常用発電装置更新事業	発電機の回転整流器の絶縁不良があったため、設備の更新工事等を行います。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
公民館	46,084	39,651		0	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(設計業務)(%)	100	-	-	稼働率(市民会館)(%) 利用日数/開館日数	50.4	50.0	50.0
工事進捗率(更新)(%)	-	100	-	利用者アンケート調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)	44	47	50
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組	非常用予備発電装置の更新工事及び工事監理業務を実施しました。			・現状	令和4年度で事業は終了しました。		
・評価	遅滞なく実施することができました。			・課題	令和4年度で事業は終了しました。		
・課題に対する改善点	施工業者が安全対策及び感染症対策を徹底し工事を実施できました。			・取組	令和4年度で事業は終了しました。		

生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
公民館等Wi-Fi整備事業	各公民館、南流山センター、おたかの森センターにWi-Fi機器を整備します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
公民館	0	0		0	1,757	0	1,757
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
ホール会議室への設置率(%)	-	-	50	延べ貸出回数	-	-	100
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組	令和4年度は事業の実施がありませんでした。			・現状	パソコン、スマートフォン、タブレット端末等のツールがインターネット環境に対応できるようにWi-Fi機器を整備します。		
・評価	令和4年度は事業の実施がありませんでした。			・課題	ニーズを調査し把握した上で、今後の使用について検証が必要になります。		
・課題に対する改善点	令和4年度は事業の実施がありませんでした。			・取組	各公民館、南流山センター、おたかの森センターに貸出用Wi-Fi機器を整備します。		

主管部局 生涯学習部 施策の目的 文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	「日ごろから学習活動を行っている市民の対象分野」における「教養（語学・歴史・文学等）」「文化芸術（音楽・絵画等）」の割合（まちづくり達成度アンケート）	45.7	31.1	44.4	%	↑
市内の指定文化財等の数	国登録、県・市指定文化財の数（博物館）	51	52	52	件	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 文化祭については、オープニングセレモニー・イベントの開催に加え、団体発表の一部をスタートおおたかの森ホールで開催しました。質の高い音楽鑑賞の機会を提供するため、スタートおおたかの森ホールで開催された「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2022」を共催しました。国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事前の見学会を実施しました。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染症の影響で中止や縮小、延期を余儀なくされた多くの文化芸術事業を、通常に近い形で開催することができ、多くの市民参加を促すことができました。「秋元家住宅土蔵」の見学会では、文化財の保存修復への関心を高めることができました。</p> <p>・改善点 文化祭では、事業プログラムの見直しにより、新たな世代の参加につなげることができました。</p>	<p>・現状 文化祭をはじめ、各種事業を支援し、地域の文化芸術活動の振興を推進します。引き続き、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事を行います。また、市内各所に分散している埋蔵文化財整理室・収蔵施設の集約化を進めます。</p> <p>・課題 「新たな日常」における新しい文化芸術活動を構築を、関係団体と連携し創出していく必要があります。国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事で修理箇所追加が発生する可能性があります。</p> <p>・取組内容 文化祭では、オープニングセレモニー・イベントや、各団体の発表の一部をスタートおおたかの森ホールで開催し、市民の文化芸術活動を推進します。国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事前の見学会を実施します。また、八木南小学校内埋蔵文化財整理室を鯉ヶ崎整理・収蔵施設への移転を行います。</p>

市民主体の文化芸術活動の促進 主管課：生涯学習課

文化祭開催事業	市内の文化芸術団体の発表の場であり、市内の代表的な文化の祭典として、流山市文化祭実行委員会が開催する文化祭の事業費の一部を補助します。							
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
生涯学習課	1,300	1,300			1,915	1,300	0	1,300
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
イベント実施数(回)	17	23	23	延べ観覧者数(人)		3,471	5,665	6,000
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 10月22日に開催したオープニングセレモニー・イベントをはじめ、公民館や生涯学習センターを会場に、11月22日まで各団体による展示や発表を実施しました。</p> <p>・評価 オープニングセレモニー・イベントでは、参加型のワークショップや展示・発表に多くの方に来場いただきました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止を決定したイベントもありましたが、感染症対策を徹底した上で通常に近い形で各事業を開催することができました。</p> <p>・課題に対する改善点 引き続き、演者(実行委員会)の高齢化が課題ですが、令和4年度新たな団体が加入。夏休みを利用した事前のワークショップに市内の小学生を募集し、当日の発表に参加していただくなど、若い世代へ参加の幅を広げていく取組を行いました。</p>				<p>・現状 令和4年度は観覧者数がコロナ禍前の水準に戻りましたが、文化祭が市民の文化芸術活動の集大成として広く認知されるよう、若い世代への周知及び来場者数の増加を目指しています。</p> <p>・課題 例年会場のひとつとしている文化会館が改修工事で使用できないため、運用については検討が必要です。</p> <p>・取組 オープニングイベントの内容が固定化しないよう実行委員会に求め、一層の来場者の増加を図ります。</p>				

優れた文化芸術に親しめる機会の充実 主管課：生涯学習課、公民館

一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した一茶双樹記念館・杜のアトリエ黎明の改修を進めます。 令和3年度 障子、襖修繕(双樹亭)等 令和4年度 経年補修工事(一茶庵、杜のアトリエ黎明)							
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
博物館	1,492	1,338			6,382	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 一茶双樹記念館は、車椅子利用者に配慮した庭園改修を行いました。</p> <p>・評価 一茶双樹記念館の庭園通路のバリアフリー化及び防犯対策を図りました。</p> <p>・課題に対する改善点 車椅子利用者が中庭まで入れないため、改修をしました。また、不審者の侵入予防や事件・事故が発生した際の原因究明等に資するため防犯カメラを購入しました。</p>				<p>・現状 令和5年度は事業の実施がありません。</p> <p>・課題 令和5年度は事業の実施がありません。</p> <p>・取組 令和5年度は事業の実施がありません。</p>				

優れた文化芸術に親しめる機会の充実 主管課：生涯学習課、公民館

国際室内楽音楽祭共催事業	スタートおおたかの森ホールで開催される「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭」を共催します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
生涯学習課	3,000		3,000		638	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				3日間の延べ来場者数(人)		-	782	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 5月3日から5月5日までの3日間、スタートおおたかの森ホールで開催された「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2022」を共催し、事業費の一部を負担しました。				・現状 令和5年度は、「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭」の開催予定はありません。				
・評価 3日間で延べ782人の来場者に、国内外の世界的音楽家による質の高い演奏をお楽しみいただきました。				・課題 令和5年度は、「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭」の開催予定はありません。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症への対策を徹底しながら、予定どおり開催することができました。				・取組 令和5年度は、「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭」の開催予定はありません。				

歴史的文化的遺産の保存・活用 主管課：図書館、博物館

指定等文化財保存活用整備事業	市内に残る文化財の保存・整備を行い、活用を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
博物館	1,867		10,000		3,191	47,542	45,700	1,842
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				現地見学会の参加人数(人)		-	42	100
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事の契約を締結し、保存修復工事を進めました。				・現状 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の外観部の保存修復工事を進めていきます。				
・評価 工事前の建物の現状についての見学会を開催し、文化財への関心を高めました。				・課題 保存修復工事の修理箇所追加が発生する可能性があります。建物内部修復に向けた設計変更を行います。				
・課題に対する改善点 解体・修復時に修理箇所追加が発生する可能性があります。				・取組 保存修復工事内容を周知するための見学会を行っていきます。				

歴史的文化的遺産の保存・活用 主管課：図書館、博物館

埋蔵文化財整理室及び収蔵庫整備事業	市内各所にある埋蔵文化財関連施設を鱸ヶ崎整理室（東洋学園大学旧校舎学生会館）へ集約し、一元的な管理を行います。また、出土遺物・資料の公開を行うため、埋蔵文化財・収蔵・展示施設を開設します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
博物館	2,087		350		2,137	30,147	0	30,147
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				埋蔵文化財整理室・収蔵庫の移転数		-	10	20
				鱸ヶ崎整理室の修繕・工事進捗率		-	-	50
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 八木南小学校内埋蔵文化財整理室1室分の移転を実施しました。				・現状 八木南小学校埋蔵文化財整理室2室を鱸ヶ崎整理室（東洋学園大学旧校舎学生会館）への移転を行います。				
・評価 通常業務に影響なく実施することができました。				・課題 市内各所の埋蔵文化財整理室・収蔵庫からの移転を行いながら、施設の修繕・工事の実施が必要となります。				
・課題に対する改善点 整理室・収蔵施設の移転を計画的に進めていきます。				・取組 令和6年まで流山北小学校・加整理室等の鱸ヶ崎整理・収蔵施設への移転業務委託及び建物の修繕・工事を継続して実施します。				

主管部局 生涯学習部

施策の目的 スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	「健康維持のために日ごろから行っていること」における「汗をかく程度の運動を週1、2回程度習慣的に行っている」の割合（まちづくり達成度アンケート）	32.9	32.3	32.0	%	↑
スポーツ施設の利用者数	利用者数（スポーツ振興課）	1,013,333	1,397,357	1,388,783	人	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、前年度に実施された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を生かしながら、スポーツイベントを実施するとともに、アフターコロナを見据えたスポーツ施設整備に努めていきました。</p> <p>・評価 3年ぶりの実走形式となる流山ロードレース大会やコミュニティスポーツフェスティバルをはじめとした市内スポーツイベントを、感染症対策を十分に行った上で、開催することが出来ました。また、市内スポーツ施設についても、社会活動が徐々に再開してくる中で、変動する社会情勢に適切に対応しながら運営することが出来ました。</p> <p>・改善点 流山ロードレース大会はコロナ禍により2年連続で集合形式では開催されていませんが、地域の感染状況を注視しながら、3年ぶりに集合形式での大会実施を目指します。また、スポーツ施設は引き続き、十分な感染症対策を講じながら運営していきます。</p>	<p>・現状 昨年度に比べ、より社会活動が活発になることが予想される中で、前年度より規模を拡大する流山ロードレース大会やスポーツ推進委員が主体となって行うながれやまスポーツフェスティバル等の市内スポーツイベントを開催し、市内におけるスポーツ機運の向上に努めていきます。</p> <p>・課題 流山ロードレース大会については、3大会ぶりにファンランを開催するにあたり、コース設計などの運営方法の見直しが求められます。また、多くの参加者を集める為の周知方法等の検討も課題となります。市内スポーツ事業については、より多くの方に参加してもらう為、スポーツ推進委員やコミュニティスポーツリーダーとの連携を密に取り、企画作成に注力します。</p> <p>・取組内容 市内のテニス人口増加に伴い、総合運動公園庭球場の増設工事を行います。スポーツ施設の運営については、新型コロナウイルスの5類移行などの社会活動の再開に対応できるよう、引き続き、指定管理者と連携を取りながら運営していきます。また、市内スポーツイベントについても、市民のスポーツ実施率やスポーツ交流人口の向上につながるよう努めます。</p>

スポーツ活動の促進 主管課：スポーツ振興課

スポーツ講習会や大会を通じてスポーツ活動の機会を拡充する	
スポーツ講習会・大会開催事業	
担当課	R4当初予算 R4決算見込 R4職員給与費(目安) R5当初予算 R5特定財源 R5一般財源
スポーツ振興課	17,421 17,174 14,045 24,758 0 24,758
主な活動指標	R3実績 R4実績 R5目標(予定) 主な成果指標 R3実績 R4実績 R5目標
	流山ロードレース大会参加者数 - 1,658 2,500
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 ロードレース大会については、3年ぶりに実走方式で開催することができました。</p> <p>・評価 大会参加者のコロナ対策を厳重に行い実施しましたが、近くの他のレースと日程が近接したことから以前に比べ参加者数が減ってしまいました。</p> <p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症対策として参加者に大会日前2週間の体調管理チェックシートを義務付け受付時に提出していただくなどの対策を図りました。</p>	<p>・現状 ロードレース大会では、新型コロナが5月8日から感染症法上の第5類に移行することから前年ほどの感染対策は不要となります。</p> <p>・課題 新型コロナウイルスによる落ち込みを回復させるため、より多くの参加者を募ることが必要となります。</p> <p>・取組 今年度は気軽に参加できるファンランを導入し、参加費用についても見直しを図っていきます。また、う回路員については、ボランティアを廃止し業務委託としトラブルの防止を図ります。</p>

スポーツ活動の促進 主管課：スポーツ振興課

トップアスリート交流事業	
担当課	R4当初予算 R4決算見込 R4職員給与費(目安) R5当初予算 R5特定財源 R5一般財源
スポーツ振興課	1,000 1,254 1,276 0 0 0
主な活動指標	R3実績 R4実績 R5目標(予定) 主な成果指標 R3実績 R4実績 R5目標
	交流事業の参加者数(人) 500 130 -
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 本市ゆかりのオリンピック・パラリンピアンと市民との交流を継続し、今後の長期的なスポーツ振興を図っていきます。</p> <p>・評価 東京2020オリンピックに出場した本市出身の水泳の寺村美穂氏を講師に迎え、水泳教室及び講演会を実施しました。参加された方々からは、「貴重な体験ができた」「オリンピックの生の声が聞けて楽しかった」等の評価を受けました。</p> <p>・課題に対する改善点 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として醸成されたスポーツ振興の機運を、長期的なスポーツ振興につなげていくことが課題です。</p>	<p>・現状 令和5年度から指定管理事業者が自主事業として実施していきます。</p> <p>・課題 令和5年度から指定管理事業者が自主事業として実施していきます。</p> <p>・取組 令和5年度から指定管理事業者が自主事業として実施していきます。</p>

スポーツ環境の整備		主管課：スポーツ振興課					
体育施設改修・整備事業	総合運動公園庭球場拡張整備工事、総合運動公園庭球場照明LED化工事を実施し、スポーツ施設の利用者の安全性・快適性・利便性の確保を図ります。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
スポーツ振興課	308,254	164,840		26,809	224,308	222,200	2,108
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				屋内外体育施設利用者実数(人)	630,432	748,628	-
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組</p> <p>滞りなく、計画通りに工事等が進捗するよう各関係者と調整を図り、スポーツ施設の市民サービス向上に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>人口増加に伴い市内のテニス利用者も増加しており、人気スポーツであるテニスコートの拡張整備が必要であり、令和5年度内に既設8面あるコートを12面に増設する工事を行います。</p>			
<p>・評価</p> <p>総合運動公園野球場改修等工事を実施し、市民要望であった観覧場が設置されました。しかしながら、東部市民プールの解体・駐車場整備工事が未完成となっていますので、引き続き5月中の完成を目指します。</p>				<p>・課題</p> <p>屋外にあるテニスコートには雨除けとしての設備がなく突発的な降雨に対応できないことから、利便性向上のため屋根等の設備が求められています。</p>			
<p>・課題に対する改善点</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、施設の改修・整備を計画的に進め、安全・安心なスポーツ施設を運営し、提供します。</p>				<p>・取組</p> <p>市民サービス向上に努めるとともに、施設の改修・整備を計画的に進め、安全・安心なスポーツ環境を利用者に提供します。</p>			
スポーツ環境の整備		主管課：スポーツ振興課					
体育施設備品等整備事業	施設備品の適正な維持管理をするとともに、体育施設利用者のスポーツに対する熱意の向上と安全性の確保を図るため、必要な備品等を整備するもの。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
スポーツ振興課	1,236	1,154		26,809	4,419	0	4,419
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				屋外型AED収納ボックス設置校数	-	-	28
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組</p> <p>総合運動公園野球場改修工事に合わせて野球備品を更新・新調しました。また、総合運動公園の再整備に伴い、不要となる倉庫を撤去・解体しました。</p>				<p>・現状</p> <p>学校開放による施設利用の際のAED利用については、各団体にに対し利用する学校のAEDの場所及びその使用方法について把握するようお願いしています。</p>			
<p>・評価</p> <p>総合運動公園野球場のリニューアルに合わせ、老朽化した備品交換を実施しました。利用者の利便性向上が図れました。</p>				<p>・課題</p> <p>AEDは、各学校職員玄関等の校舎内設置されており、緊急時の使用に当たっては、窓ガラスを割って利用するよう案内していますが、緊急時に窓ガラスを割ることは容易ではなく、躊躇してしまうことや怪我の恐れが考えられます。</p>			
<p>・課題に対する改善点</p> <p>スポーツを支える備品については、安全・安全に競技ができるよう計画的に更新する必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>学校開放による施設利用に対応するため、屋外型AED収納ボックスを設置します。</p>			

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
人口1人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査（国土交通省）	5.28	5.23	5.21	m ²	↑
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	83.3	88.3	86.5	%	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 公園、緑地、街路樹については、適正な維持管理を行い、市民が安全、快適に利用できる良質なみどりを保全しました。また、流山グリーンチェーン戦略により、住宅や店舗などにより多くのみどりを取り入れていただき、新たなみどりの創出に努めました。</p> <p>・評価 公園や街路樹のきめ細やかな維持管理や、グリーンチェーン認定の取得促進により、より多くのみどりの保全、創出に努めました。</p> <p>・改善点 公園や緑地、街路樹については、きめ細やかな維持管理を行い、より効果的なみどりの保全に努めました。また、流山グリーンチェーン戦略により、より多くの新たなみどりを創出しました。</p>	<p>・現状 公園、緑地、街路樹の維持管理を行い、既存のみどりを保全するとともに、流山グリーンチェーン戦略によって、新たなみどりの創出に努めています。</p> <p>・課題 公園や緑地、街路樹の維持管理については、樹木の生育状況を見定めて剪定箇所を選定することで、より効果的にみどりを保全する必要があります。また、グリーンチェーン認定の取得件数を向上させるため、丁寧な指導を行い事業者の理解を得る必要があります。</p> <p>・取組内容 公園や緑地、街路樹については、きめ細やかな維持管理を行い、市民が身近にふれあえる良質なみどりを保全しています。また、流山グリーンチェーン戦略により、商業施設など民間事業者により多くのみどりを取り入れていただき、新たなみどりの創出に努めます。</p>

みどりの保全 主管課：みどりの課、道路建設課

まちなか森づくり事業		令和4年度の取組みと評価・改善点							令和5年度の現状・課題・取組み							
まちなかのみどりを創出するため、計画的に街路樹植栽や公共スペースへの植栽を行うとともに、新規住宅や民間施設等への緑化啓発により「流山グリーンチェーン戦略」を推進し、緑視率が高く、みどり豊かな街並みの形成に取り組めます。																
担当課		R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与と費(目安)		R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源						
みどりの課		10,505		7,134		2,869		10,505	700	9,805						
主な活動指標		R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標						
グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率(緑化面積/敷地面積×100%) (%)		16.81	19.09	12.00												
まちなか森づくりプロジェクトとして、おおぐろの森小中学校からおおたかの森スポーツフィールドに抜ける大群1号補助幹線道路に街路樹植栽を行いました。また、おおたかの森北2丁目及び3丁目、市道33073号線の一部に高木及び低木植栽を行いました。																
新たな街路樹と既存街路樹ともに植栽を行い、みどり豊かな街並み形成に取り組めました。																
街路樹の枯木や老木の植替えや、公共スペースの植栽を計画的に行い、みどり豊かな街並みの形成に取り組めました。																

みどりの保全 主管課：みどりの課、道路建設課

良質なみどりの拠点保全事業		令和4年度の取組みと評価・改善点							令和5年度の現状・課題・取組み							
土地所有者から借り受けている市民の森を保全するため、用地を取得するとともに、自然に触れながら散策等をできるように、園路等の施設整備を行います。																
担当課		R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与と費(目安)		R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源						
みどりの課		17,375		5,216		4,384		221,701	205,700	16,001						
主な活動指標		R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標						
					公園緑地で憩い安らげている市民の割合 (%)			84.3	81.0	88.9						
松ヶ丘3号散策の森の用地測量を行いました。また、西初石小鳥の森整備工事を行いました。																
市民の森や借地公園の地権者と良好な関係を築きました。																
市民の森や借地公園の地権者との良好な関係を継続する必要があります。																
市民の森や借地公園の地権者との良好な関係を継続する必要があります。																
松ヶ丘3号散策の森の保全に向けた取組みを行います。また、市内の緑被率を測定し、みどりの現状把握に努めます。																

みどりの保全 主管課：みどりの課、道路建設課

みどりを支える人づくり事業	みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
みどりの課	583		488		10,766	1,218	180	1,038
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
講習会の開催回数(回)	9	9	9	講習会への参加人数(人)		207	231	280
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 緑化に関する講習会を合計で9回開催しました。また、みどりの基本計画の進捗報告のため、みどりの委員会を開催しました。				・現状 市民と協働でみどりの維持管理を行っています。				
・評価 緑化に関する講習会を開催し、様々なかたちでみどりを担う人材の育成に取り組みました。				・課題 みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成と、新しい里山保全ボランティアの定着が必要です。				
・課題に対する改善点 みどりを担う人材の育成のため、ボランティア講習会後に、NPOに協力していただき講習会参加者向けのボランティア活動お試し参加を企画してもらいました。				・取組 緑化に関する講習会を合計で9回開催します。また、みどりの基本計画の進捗報告のため、みどりの委員会を開催します。				

みどりの創出 主管課：みどりの課、道路建設課

新たな賑わい空間創出事業	つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進捗に合わせて、都市施設として必要な公園施設の整備を実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
みどりの課	487,278		346,353		10,766	98,455	51,200	47,255
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		84.4	81.0	88.9
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 総合運動公園テニスコート周辺の整備に着手しました。土地区画整理事業地区内の公園整備を行いました。南流山中央公園の整備工事に着手しました。				・現状 土地区画整理の進捗に合わせて、良好な住環境の提供が求められており、地域のニーズに合わせた公園施設整備を行っています。				
・評価 土地区画整理の進捗、地域のニーズに合わせて公園整備を行いました。				・課題 土地区画整理の進捗により、公園緑地整備時期の変更があり得るため、土地区画整理事業者と密に協議を行い、情報を共有する必要があります。				
・課題に対する改善点 土地区画整理事業者と密に協議を行い、土地区画整理事業の進捗に合わせた公園緑地整備時期の調整を行いました。				・取組 総合運動公園のサイン設置工事、防災広場再整備工事、トイレ改修工事等を行います。				

みどりの創出 主管課：みどりの課、道路建設課

安心安全な公園づくり事業	既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修・更新を行い、利用者の安全性・利便性の向上を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
みどりの課	132,707		90,125		18,824	161,544	66,000	95,544
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		84.4	81.0	88.9
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。また、おたかの森南3号公園及び野々下4号公園に複合遊具を新設しました。				・現状 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修・更新を行っています。また、既存公園の遊具新設・更新を行っています。				
・評価 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の更新・補修を行い、公園利用者の安全性の確保を図りました。				・課題 公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行う必要があります。				
・課題に対する改善点 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検結果及び公園施設長寿命化計画に基づいて、計画的に更新・補修を行いました。				・取組 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検を行います。また、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行います。				

生物多様性地域戦略推進事業	生物多様性なごれやま戦略（第二期）に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行います。								
	担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
環境政策課	2,354		1,766		12,764	2,760	0	2,760	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
				生物多様性啓発イベントの参加者数(人)			115	109	130
				市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合(%)			88.3	86.5	90.0
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の実績・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムなどの環境学習の機会を通じて、生物多様性の価値や持続可能性について啓発を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>生物多様性の啓発を行う他、生物多様性なごれやま戦略の改定を進めます。</p>					
<p>・評価</p> <p>グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムなどの環境学習の機会を通じて、生物多様性の価値や持続可能性について啓発を行い、小学生等の若い世代にも、生物多様性の重要性を伝えることができました。</p>				<p>・課題</p> <p>グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムなどにより、一定の環境学習の効果がある一方で、効果的な生物多様性の保全、豊かな自然環境の創出に向けた取り組みを検討する必要があります。</p>					
<p>・課題に対する改善点</p> <p>モニタリング調査員を新規募集し、新規調査員が13名増加して、より詳細な調査が可能となりました。また、入門・ステップアップの2つの講習会により、担い手の育成に努めました。</p>				<p>・取組</p> <p>グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムなどにより一定の環境学習の機会を設けつつ、生物多様性なごれやま戦略の改定を進めます。また、効果的な生物多様性の保全、豊かな自然環境の創出に向けた取り組みを検討します。</p>					

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	90.4	90.3	90.5	%	↑
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	75.2	75.5	74.5	%	↑
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	62.1	63.5	62.4	%	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、主要となる幹線道路整備を推進しました。江戸川台駅東口周辺地区については、駅前広場及びジェットロ跡地を含めた整備方針（エリアビジョン）を策定しました。景観に配慮するため、景観条例の手続きにおいて、景観計画に適合するよう指導を行ったほか、広告物等の事業者に対し、条例に基づく許可等における手続きを通じて適切に指導を行いました。</p>	<p>・現状 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、主要となる幹線道路整備を推進します。江戸川台駅東口周辺地区では、駅前広場及びジェットロ跡地を含めた整備方針（エリアビジョン）に基づき再整備を行います。土地区画整理吏事業区域（つくばエクスプレス沿線整備区域）内を中心とした建築行為及び開発行為に伴う事前協議が、年間約400件程度以上見込まれるため、景観計画に適合するよう指導を行います。</p>
<p>・評価 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、地権者との交渉の際に、市も協議の場に同席するなどし、地権者に寄り添った対応を行いました。地元住民の意向を集約し、整備方針（エリアビジョン）を策定しました。市内の違反広告物等が新設されることが少なくなり、広告物条例への理解が浸透してきています。</p>	<p>・課題 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。再整備にあたっては、地元住民との合意形成が必要です。景観計画については、多くの事業者が景観計画の主旨を理解し協力的である一方、理解を得られない事業者への指導が必要です。</p>
<p>・改善点 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。整備方針（エリアビジョン）の策定にあたっては、ワークショップやアンケート調査を実施しました。景観計画及び広告物条例ルールブックを活用し、広告主及び広告事業者等に対し、良好な景観形成の誘導を図りました。</p>	<p>・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、千葉県と協力し、地権者の合意形成を図ります。再整備にあたっては、地元住民との合意形成を図ります。本市の景観形成への理解や興味を抱いていただけるよう、景観シンポジウムを開催する等、景観計画の周知・啓発に努めていきます。</p>

つくばエクスプレス沿線整備の促進 主管課：都市計画課、まちづくり推進課

運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理負担事業	県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)		R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
まちづくり推進課	509,563		513,869		6,382		919,296	884,500	34,796
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
面積ベース進捗率(%)	43.9	45.3	49.0						

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 主要となる幹線道路整備を推進しました。</p>	<p>・現状 千葉県が施行する、運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担（2分の1）し、事業の促進を図ります。</p>
<p>・評価 都市計画道路3・3・2号新川南流山線の4車線化に向けた道路切り替えが行われました。</p>	<p>・課題 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図っていきます。</p>
<p>・課題に対する改善点 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。</p>	<p>・取組 主要となる幹線道路整備を推進します。</p>

市街地のまちづくり 主管課：都市計画課、まちづくり推進課

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業	駅利用に合った広場の改修やジェットロ跡地の活用した周辺公共施設の再配置など、再整備を行います。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)		R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
まちづくり推進課	828		27,699		25,528		573,572	445,171	128,401
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
地元組織等のイベント実施回数(回)	-	6	7	駅周辺の住み心地の良さの満足度(%)			91.70	95.65	95.65
				駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度(%)			37.00	33.73	37.00

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 社会実験を実施し、更なる課題を整理した上で、整備方針（エリアビジョン）を策定しました。</p>	<p>・現状 整備方針（エリアビジョン）に基づき、整備に向けた具体的な設計を進める必要があります。</p>
<p>・評価 エリアビジョンの策定にあたっては、地元住民の意向を反映しました。</p>	<p>・課題 整備に向けた具体的な設計にあたっては、地元住民の意向を反映させる必要があります。</p>
<p>・課題に対する改善点 ワークショップやアンケート調査を行い、地元住民の意見を集約しました。</p>	<p>・取組 整備に向けた具体的な設計にあたっては、地元住民の意向を反映させます。</p>

景観形成の促進 主管課：都市計画課

流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業	流山おおたかの森駅センター地区道路歩行者の快適性・回遊性を高めるため、道路改修工事を実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
まちづくり推進課	47,850		40,040		8,493	266,585	235,400	31,185
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
事業進捗率(事業費ベース:%)	-	7.84	52.24	良好な市街地の形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		84.0	84.3	85.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>良質な交流空間の形成と更なる賑わいを創出するため、プロポーザル方式により、設計業者を選定しました。</p>				<p>・現状</p> <p>南側区間の道路改修工事を行います。</p>				
<p>・評価</p> <p>良質な交流空間の形成と更なる賑わいを創出するため、プロポーザル方式により、設計業者を選定し、詳細設計を行い、景観アドバイザー会議に諮りました。</p>				<p>・課題</p> <p>交通安全対策と歩行者の快適性・回遊性を高めることを両立するため、交通規制における合意形成を図ります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>景観アドバイザー会議及び地元関係者との協議結果を設計に反映させました。</p>				<p>・取組</p> <p>交通規制に関する説明会を行い、合意形成を図り、南側区間の道路改修工事を行います。</p>				

景観形成の促進 主管課：都市計画課

景観形成推進事業	本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。また、良質なまちづくりの推進に向けた景観シンポジウムを開催し、「流山市景観計画」の周知と意見交換を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
都市計画課	202		101		7,855	1,033	0	1,033
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
景観条例第11条に基づく事前協議件数(件)	593	443	400	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		84.0	84.3	85.5
景観賞の応募件数(件)	5	-	10	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		63.5	62.4	63.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>景観計画の主旨が理解を得られない事業者へは、粘り強く指導しました。</p>				<p>・現状</p> <p>土地区画整理事業区域(つくばエクスプレス沿線整備区域)内を中心に、建築行為や開発行為が見込まれることから、年間400件程度以上の事前協議が想定されます。</p>				
<p>・評価</p> <p>景観条例に基づく事前協議において、景観計画の主旨を理解いただくことで、良質な住環境が形成されました。</p>				<p>・課題</p> <p>良好な景観を維持・誘導していくため、引き続き、流山市景観計画の周知や啓発を図る必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>事前協議においては、良好な事例を参考にし、事業者への指導を行いました。</p>				<p>・取組</p> <p>景観シンポジウムを開催し、市民や事業者に本市の景観形成について、理解や興味を抱いていただけるよう努めています。</p>				

景観形成の促進 主管課：都市計画課

広告物等推進事業	良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害防止のため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
都市計画課	3,315		2,794		7,658	2,702	2,624	78
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数(件)	127	173	180	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		84.0	84.3	85.0
屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数(件)	1,599	572	550	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		63.5	62.4	63.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>景観を阻害する要因となる違反広告物等、又は公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、是正に向けた具体的な交渉を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>本市の条例の規制について、多くの広告主及び広告事業者に、制限内容を周知することができています。</p>				
<p>・評価</p> <p>条例に適合するよう是正され、市内の景観に配慮された広告物等が掲出されてきました。</p>				<p>・課題</p> <p>本市になじみの少ない広告事業者に、制限内容の周知が必要です。また、条例の制限に適合しない広告物等の是正が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>景観計画及び広告物ルールブックを活用し、広告主及び広告事業者に対し、良好な景観形成の誘導を図りました。</p>				<p>・取組</p> <p>条例の制限内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物等や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導してまいります。</p>				

主管部局 土木部

施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	71.9	73.6	73.0	%	↑
都市計画道路の整備率	道路建設課	72.5	73.2	73.2	%	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進しました。交通の集中する交差点対策の推進を図りました。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車走行空間の整備を進めました。</p> <p>・評価 住民説明会を開催し、事業計画の周知を図りました。</p> <p>・改善点 歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。</p>	<p>・現状 人口増加等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。</p> <p>・課題 歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。</p> <p>・取組内容 安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進します。交通の集中する交差点対策の推進を図ります。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めます。</p>

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

都市計画道路3・4・9号南流山名都借線道路改良事業	都市計画道路3・4・9号南流山名都借線（市道106号線）において、千葉県が施行する運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業区域から富士見橋までの区間、約400mの道路拡幅改良工事を行うことで、市内の円滑な移動や通学児童の安全が確保されます。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
道路建設課	3,771	14,417		3,191	192,373	178,592	13,781
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	0.62	2.03	27.71
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 用地測量、物件調査を実施しました。</p> <p>・評価 地権者との立会いが必要だったため、連絡を密に取りながら進めました。</p> <p>・課題に対する改善点 今後実施する道路詳細設計において、十分に現場を精査しながら進めます。</p>	<p>・現状 道路詳細設計及び用地買収、物件移転補償を進めます。</p> <p>・課題 現場状況から道路詳細設計にて十分な工法検討が必要です。</p> <p>・取組 実施する各業務において、沿線関係者に配慮しながら進めます。</p>						

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

名都借跨線橋道路拡幅改良事業	緊急時の大型車両通行や歩行者及び自転車の安全な通行を確保するため、名都借跨線橋を含む当該路線延長325m区間において、車両の相互通行が可能となるよう拡幅改良を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
道路建設課	164,633	319,104		12,764	547,616	511,536	36,080
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	41	49	63
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 向小金2丁目側、北小金駅方の新設車道橋の一部（橋桁部）が完成し、交通を切り替えました。東部地区自治会を対象に「名都借跨線橋だより」を2回（5月、12月）発行しました。騒音振動計を引き続き設置し、騒音振動の低減に努めました。</p> <p>・評価 計画どおり工程を進捗しています。「名都借跨線橋だより」を発行し、工事の進捗状況を周知しました。</p> <p>・課題に対する改善点 騒音振動に伴う工事が継続するため、引続き沿線住民への配慮しながら事業を進める必要があります。</p>	<p>・現状 向小金2丁目側、南柏駅方の既設橋の撤去、新設車道橋の工事に着手します。工事エリアの安全確保のため、工事用信号機を配置しています。</p> <p>・課題 工事エリアの見通しが悪いため、安全対策が必要となっています。</p> <p>・取組 路面標示、工事用看板、「名都借跨線橋だより」による広報により、注意喚起を行っていますが、現場状況を注視し、必要な対策を講じてまいります。</p>						

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

区画道路改良事業	市内にある狭隘道路において、拡幅用地として寄附を受けた道路の整備や、その他の改良を行い、地域住民の通行の安全及び生活環境の向上に寄与するものです。							
	担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
	道路建設課	110,206	9,553	6,382	370,632	347,412	23,220	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組	西深井、東深井、三輪野山、中野久木、向小金2丁目地先において各事業箇所において、沿線関係者に事業説明、設計、測量等を進めました。			・現状 西深井、東深井、三輪野山、中野久木、向小金1丁目、西初石2丁目、向小金2丁目各事業箇所において、沿線関係者に事業説明、設計、測量等を進めています。				
・評価	各地区ともに、沿線関係者への事業説明、設計測量等の進捗を図りました。			・課題 一部、沿線関係者との協議が整っていないことから丁寧な対応が求められます。				
・課題に対する改善点	一部、沿線関係者との協議が整っていないことから丁寧な対応が求められます。			・取組 事業目的の達成を目指すとともに、沿線関係者に配慮しながら事業を進めます。				

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

東小学校前通学路道路拡幅整備事業	東小学校の通学路として安全を確保するため、歩道幅員を拡幅し、歩行者の通行に配慮した道路整備を提供するものです。							
	担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
	道路建設課	5,000	0	6,382	32,626	30,880	1,746	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組	当該区間において、歩行者が安全に通行できるよう歩道幅員を目的とした道路改良を行うために予備設計を実施しました。			・現状 予備設計の成果をもとに、県警協議を行います。県警協議終了後、詳細設計を実施します。				
・評価	沿線関係者に事業概要を説明し、事業の実施に対して概ねの理解を得ました。			・課題 横断歩道の新設等、安全対策について警察と協議を要します。				
・課題に対する改善点	現状歩道幅員を約1.2mから3mに拡幅する設計を取りまとめました。			・取組 歩行者の通行状況を的確に把握し、関係機関と必要な安全対策について検討・協議を行います。				

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

自転車ネットワーク整備事業	自転車ネットワーク計画に基づき、公共施設及び鉄道駅等を結ぶ都市計画道路を中心に自転車通行空間整備を行い、自転車及び歩行者の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。							
	担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
	道路建設課	14,355	14,355	1,276	23,726	0	23,726	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組	自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行いました。			・現状 自転車ネットワーク計画路線のうち、令和4年度に3.3kmを整備しました。				
・評価	近隣市の整備状況を考慮し、整備を進めました。			・課題 現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握が必要です。				
・課題に対する改善点	発注前に近隣市との接続部の整備状況を確認しました。			・取組 自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行います。				

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

都市計画道路3・4・8号美田駒木線道路改良事業	都市計画道路3・4・8号美田駒木線のうち、未整備である約100m区間において、道路の改良事業を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
道路建設課	2,000		1,100		1,915	37,907	31,751	6,156
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		-	1	26
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 当該区間において、道路線形を決定するため、路線測量を実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 隣接する都市計画道路3・4・19号大群美田線と合わせて、詳細設計、用地測量、物件調査及び一部の用地取得を行います。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 都市計画道路3・4・19号大群美田線との接続を考慮した路線測量成果となりました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 隣接する都市計画道路3・4・19号大群美田線との事業進捗に配慮しながら進める必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 都市計画道路3・4・19号大群美田線と発注業務の時期を合わせて、一体的に業務を進めていきます。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 各業務において、沿線関係者に配慮するとともに、関係部署と調整しながら進めます。				

安全で快適な道路環境の確保 主管課：道路建設課、道路管理課

道路維持補修事業	道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
道路管理課	370,000		406,963		21,531	500,000	325,400	174,600
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
道路舗装補修延長(m)	2,598.3	4,701.1	7,140.0	情報提供および要望件数(件)		-	-	2,500
情報処理件数(件)	321	380	350	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合(%)		73	73	75
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 道路の舗装等が劣化している16路線の道路補修工事を実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 ライフサイクルコストを視野に入れた、計画的かつ効率的な予防保全型の補修を実施しています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 近隣住民の意見を聴取し、道路補修工事の中で迅速に対応することで今後発生しうる道路補修工事を減らすことができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 近年の交通量増加に伴う、舗装の劣化進行速度の変化に注視する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 舗装の劣化状況を近隣住民からの意見を参考にしながら確認し、道路補修工事を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 過去の道路補修工事のデータを再点検し、効率的な予防保全型の補修を実施します。				

安全で快適な道路環境の確保 主管課：道路建設課、道路管理課

橋りょう補修事業	流山市が管理する橋りょうの維持管理の適正管理に努め、通行の安全確保を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
道路管理課	158,812		152,050		7,658	141,499	119,000	22,499
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
橋りょう補修工事件数(件)	7	5	3					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 橋長15.0m未満の橋りょう5橋の補修工事を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 橋りょうの長寿命化を図るため補修工事を行います。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 点検結果に基づき、補修工事を実施することで橋りょうの長寿命化に寄与しました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 近年の交通量増加に伴う、新たな橋りょうの損傷が発生していないか注視する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 橋りょうの長寿命化計画を策定のため、橋りょうの日常点検を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 日常点検を行うことで、顕在化していない不良箇所の早期発見に努めます。				

主管部局 土木部 施策の目的 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課）	15.0	15.1	15.3	km	↑
水害による住家被害の棟数	過去3年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	0	棟	→

令和4年度の実績と評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 道路冠水対策として江戸川台西、江戸川台東及びおおたかの森北地区の雨水排水施設を整備しました。</p> <p>・評価 おおたかの森北地区において、排水整備の工事が完了しました。</p> <p>・改善点 道路冠水対策が必要な箇所を的確に把握して、解消するための対策を施す必要があります。</p>	<p>・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。</p> <p>・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。</p> <p>・取組内容 道路冠水対策として、継続して江戸川台西、江戸川台東地区の雨水排水施設を整備します。また、新たに前ヶ崎地区の排水整備工事を行います。</p>

雨水排水施設の整備 主管課：河川課、上下水道局

地区内雨水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。							
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
下水道建設課	336,200	25,190		4,329	11,000	11,000	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
各年度の整備面積(ha)	0.74	0.12	-					
令和4年度の実績と評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と事業推進を図るため、基本協定等の見直しを検討しました。</p> <p>・評価 市から県に委託していた雨水事業を直接市が行えるよう基本協定の見直しを行いました。</p> <p>・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて下水道(雨水)を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けるものですが、県と連絡調整を密に行いました。</p>	<p>・現状 市から県に委託していた雨水事業を直接市が行えるよう基本協定を新たに締結し、令和5年度から地区内の雨水事業は市が発注します。</p> <p>・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて下水道(雨水)を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。</p> <p>・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と連絡調整を密に行い、造成計画に応じた整備スケジュールとしていきます。</p>							

雨水排水施設の整備 主管課：河川課、上下水道局

雨水排水施設整備事業	浸水被害が発生している、又は恐れのある地域に雨水排水施設の整備を行います。 ・令和5年度 排水管整備(江戸川台西、東)等 ・令和6年度 排水管整備(おおたかの森西)等 ・令和7年度 排水管整備等							
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
河川課	66,550	9,057		10,211	117,220	96,800	20,420	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				内水氾濫による床上浸水の棟数(棟)		-	-	-
令和4年度の実績と評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 道路冠水対策として、江戸川台西、江戸川台東及びおおたかの森北地区の雨水排水施設を整備しました。</p> <p>・評価 おおたかの森北地区の雨水排水施設の整備が完了しました。</p> <p>・課題に対する改善点 樹つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しています。</p>	<p>・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。</p> <p>・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。</p> <p>・取組 道路冠水対策として、引き続き江戸川台西、江戸川台東地区の雨水排水施設を整備し、新たに前ヶ崎地区の雨水排水施設を整備します。</p>							

雨水排水施設の整備 主管課：河川課、上下水道局

流山排水機場改修事業	流山排水機場の排水能力を最大限活用できる施設改修を行います。 ・令和4年度 商用電源予備ルートの確保 ・令和5年度 商用電源予備ルートの確保、排水機場内の電気施設改修							
	担当課	R4当初予算		R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
河川課	12,000		0	6,382	60,400	0	60,400	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				商用電源予備ルートの整備延長(m)		-	-	1,500
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 予備電源として、現在とは別の変電所からの供給ルート整備を電気事業者に依頼しました。				・現状 予備電源整備を電気事業者に依頼し費用を負担します。排水機場内の電気施設の改修工事を行います。				
・評価 負担金支払いのため、電気需給契約を行いました。				・課題 施設建設から年数が経過しているため、修繕計画の策定が必要となります。				
・課題に対する改善点 当該施設を稼働するためには6,600V高圧電力が必要であり、自家発電施設を整備、維持管理するためには多額の費用を要します。施設建設から年数が経過しているため、修繕計画の策定が必要となります。				・取組 電気事業者と協議を進め完成を目指します。				

河川環境の整備 主管課：河川課

河川等維持補修事業	河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 ・令和4年度 修繕工事等 ・令和5年度 修繕工事等 ・令和6年度 修繕工事等							
	担当課	R4当初予算		R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
河川課	16,823		20,788	4,467	45,189	0	45,189	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
河川施設の維持補修に関する工事件数(件)	-	-	-	内水氾濫による床上浸水の棟数(棟)		-	-	-
				憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合(%)		84	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 引き続き効率的な補修を行い、水路や雨水排水施設の適切な機能維持に努めました。				・現状 職員によるパトロールや施設点検及び住民等からの情報提供により、破損や老朽化した水路等の雨水排水施設の補修を行っています。				
・評価 的確な補修を実施し、施設の破損等に起因した事故を未然に防止することが出来ました。				・課題 補修対象の施設や住民からの要望が増加していることから、施設の健全度や補修の優先度を的確に見極め、限りある予算と人員で効率的に対応する必要があります。				
・課題に対する改善点 補修対象の施設や住民からの要望が増加していることから、施設の健全度や補修の優先度を的確に見極め、限りある予算と人員で効率的に対応する必要があります。				・取組 引き続き効率的な補修を行い、水路や雨水排水施設の適切な機能維持に努めます。				

河川環境の整備 主管課：河川課

利根運河エコパーク関連事業	利根運河の水質改善や利用者の利便性向上のため、河川空間を整備します。 令和5年度 沈下橋とトイレ整備などの設計 令和6年度 沈下橋とトイレ整備などの工事							
	担当課	R4当初予算		R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
河川課	0		0	3,191	2,800	0	2,800	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				・現状 利根運河の水質改善や利用者の利便性向上のため、河川空間を整備します。				
・評価 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				・課題 利根運河の管理者である国土交通省江戸川河川事務所と協議を進めていきます。				
・課題に対する改善点 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				・取組 今年度は、沈下橋とトイレ整備などの設計を行います。				

主管部局 上下水道局 施策の目的 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	95.5	96.0	95.3	%	↑
公共下水道普及率	処理区域内人口÷行政区域内人口×100（下水道建設課）	91.9	92.3	93.3	%	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 流山市水道事業経営戦略を改定するとともに、流山市下水道事業経営戦略の進捗状況を確認しました。また、流山市下水道ビジョンを策定しました。公共水域の水質改善のために、合併浄化槽に転換した方に対し、市と国、県から補助金を交付しました。（21件）主要配水管の耐震化を優先的に推進するとともに、老朽化した配水支管は更新計画に基づき耐震管に更新し、耐震能力の向上に努めました。</p> <p>・評価 計画の策定、進捗管理、見直しにより、実行的な上下水道事業経営に努めました。単独浄化槽から合併浄化槽へ21基を転換しました。主要配水管の耐震化が完了していない配水管の整備を一部行いました。</p> <p>・改善点 上下水道事業の安定経営を行うため、改定から3年経過した流山市水道事業経営戦略を見直すとともに、下水道事業経営戦略の進捗状況の確認及び流山市下水道ビジョンを策定する必要があります。単独浄化槽から合併浄化槽の更なる普及促進を図る必要があります。主要配水管の耐震化が完了していない配水管があります。</p>	<p>・現状 上下水道事業は、流山市水道ビジョン、流山市下水道ビジョン、水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略に基づき、事業運営を行っています。公共下水道の普及率は9割を超えており、令和6年度に既存市街地の下水道整備が概成し、普及率96%を目指しています。つくばエクスプレス沿線整備による給水人口が伸びています。</p> <p>・課題 改定から3年経過した流山市下水道事業経営戦略を見直しする必要があります。下水道未整備区域は、狭隘道路や埋設物の錯綜、鉄道や国道の占用条件等、現場条件が困難であり、下水道整備に期間を要します。おおたかの森浄水場には配水池が1池ありますが、安定供給や災害等のメンテナンスを考えると配水池の増設が必要となっています。</p> <p>・取組内容 流山市下水道事業経営戦略を見直します。公共下水道を計画的に約15ha整備します。おおたかの森浄水場に配水池を1池増設します。</p>

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

T X沿線整備地区配水管拡張事業		T X沿線の土地区画整理事業に係る配水管拡張事業を実施します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
水道工務課	156,965	156,965			6,382	236,110	170,830	65,280
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
配水管布設延長 (m)	2,086.6	3,312.4	5,710.0	整備率 (%)		76.4	45.4	53.5
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と工程調整を図りながら、L=3、312、4mの区間で工事を行いました。</p> <p>・評価 遅滞なく工事を完成し、土地区画整理事業の進捗に寄与しました。</p> <p>・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事の進捗に合わせる必要があるため、関係機関との調整会議を定期的に行いました。</p>				<p>・現状 運動公園周辺地区の配水管整備率が45.4%になりました。（R3実績の値は、当時未完了だった他の区画整理地区も含めた整備率です。）</p> <p>・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事の進捗に合わせる必要があります。</p> <p>・取組 令和5年度は5,710.0mの工事を行う予定です。</p>				

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

老朽配水管等耐震化事業		老朽化した配水管等を耐震化へ計画的に更新していきます。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
水道工務課	208,681	130,427			6,382	270,190	0	270,190
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
整備延長 (m)	2,215.6	746.7	2,107.0	耐震管適合率 (%)		62.8	63.0	64.0
				漏水発生件数 (件)		283	291	290
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 老朽化した配水管を、耐震管へ計画的に更新しました。</p> <p>・評価 中部地域でL=436、4m、南部地域でL=310、3mの区間で工事を行いました。</p> <p>・課題に対する改善点 関係機関との協議を計画的かつ積極的に行い、工事に遅延が生じないようにします。</p>				<p>・現状 中部地域でL=24、0m、南部地域でL=556、0mの区間を令和5年度に繰り越しました。</p> <p>・課題 関係機関との協議に時間を要することがあります。</p> <p>・取組 令和5年度は繰越工事の他に、新規でL=2、107、0mの区間において老朽管改良を行います。</p>				

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

主要配水管等耐震化事業	安全な水の安定供給のために、主要な配水管等を耐震管へ計画的に更新していきます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
水道工務課	379,832		103,554		6,382	240,348	0	240,348
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
整備延長(m)	1,008.4	365.0	1,187.0	耐震化適合率(%)		51.9	53.3	54.5
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 安全な水の安定供給のために、主要な配水管等を耐震管へ更新しました。				<p>・現状</p> 北部地域主要配水管L=350.0m、江戸川台主要配水管L=382.0m、東部地域主要配水管L=120.0mの区間を令和5年度に繰り越しました。				
<p>・評価</p> 江戸川台主要配水管L=183.5m、下花輪駒木線配水管181.5mの区間で工事を行いました。				<p>・課題</p> 関係機関との協議に時間を要することがあります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 関係機関との協議を計画的かつ積極的にを行い、工事に遅延が生じないようにします。				<p>・取組</p> 令和5年度は繰越工事の他に、新規でL=1,187.0mの区間において主要管改良を行います。				

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

上下水道料金徴収等業務委託事業	水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者へ委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
経営業務課	168,168		168,168		8,486	168,168	0	168,168
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
給水契約件数(件)	85,942	88,139	89,900	不納欠損処理件数:水道料金(件)		154	182	160
下水道契約件数(件)	77,989	80,763	83,993	不納欠損処理件数:下水道使用料(件)		131	148	140
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 滞納者への早期の架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を行いました。包括委託している事業者と連携を密にし、上下水道料金の適正な徴収に努めました。介護支援課と連携し、見守りツールによる行方不明高齢者の早期発見、保護活動へ協力しました。				<p>・現状</p> 人口の増加や公共下水道の供用開始区域の拡大により、水栓契約件数や下水道使用者が増加しています。				
<p>・評価</p> 滞納者への取組及びスマホ決済サービスの浸透により収納率が向上しました。				<p>・課題</p> 市外転居滞納者への督促、催促はしていますが、収納までに至る件数は少なく、また住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており、転居先の確認が困難を極めています。				
<p>・課題に対する改善点</p> 市外転居滞納者への督促、催促はしていますが、収納までに至る件数は少なく、また住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており転居先の確認が困難を極めています。				<p>・取組</p> 滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加することにより、過去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めます。				

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

浄水場更新事業	令和6年度までにおおたかの森浄水場に新たに配水池を1池建設します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
水道工務課	33,000		61,600		6,382	340,000	238,000	102,000
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
配水池基本検討業務進捗率(%)	100	-	-	配水池築造工事進捗率(%)		-	-	33
配水池詳細設計業務進捗率(%)	-	100	-					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 配水池の構造や場内配置計画等の詳細設計業務を行いました。				<p>・現状</p> 配水池の詳細設計が完了したことから、工事に着手する段階です。				
<p>・評価</p> 詳細設計業務が完了しました。				<p>・課題</p> 施工中の来庁者の安全に配慮する必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 場内の警備に支障が生じないよう、防犯カメラ等の配置図を作成しました。				<p>・取組</p> 配水池の工事に着手します。				

計画的な下水道事業の推進		主管課：上下水道局						
地区内汚水整備事業		運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、汚水管を整備します。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
下水道建設課	120,300		19,220		4,329	339,800	339,750	50
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
各年度の整備面積(ha)	11.35	3.56	15.37	下水道整備率(%)		79.85	80.51	82.91
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と事業推進を図るため、事業委託等の見直しを検討しました。				・現状 市から県に委託していた汚水事業を直接市が行えるよう、基本協定を新たに締結し、令和5年度から地区内の汚水事業は市が発注します。				
・評価 市から県に委託していた汚水事業を直接市が行えるよう基本協定の見直しを行いました。				・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道(汚水)を施工するため、造成工事の進捗状況により、汚水管整備に影響を受けます。				
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道(汚水)を施工するため、造成工事の進捗状況により、汚水管整備に影響を受けるものですが、県と連絡調整を密に行いました。				・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と連絡調整を密に行い、造成計画に応じた整備スケジュールとしていく必要があります。				

計画的な下水道事業の推進		主管課：上下水道局						
江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業		既存市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
下水道建設課	704,167		470,881		22,337	902,805	619,500	283,305
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
各年度の整備面積(ha)	27.9	11.3	19.6	公共下水道普及率(%)		92.2	93.2	94.2
各年度の整備延長(m)	5,640	3,930	3,120	公共下水道水洗化率(%)		93.2	93.9	94.9
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進しました。令和4年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指しました。				・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和5年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。				
・評価 令和4年度の公共下水道整備は、延長3,930mで面積11.3haを行いました。				・課題 令和4年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。				
・課題に対する改善点 令和3年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。				・取組 令和5年度の公共下水道整備は、延長3,120mで面積19.6haを行います。				

計画的な下水道事業の推進		主管課：上下水道局						
手賀沼流域関連公共下水道整備事業		既存市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
下水道建設課	379,300		168,023		9,573	495,722	369,100	126,622
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
各年度の整備面積(ha)※	-	12.3	9.5	公共下水道普及率(%)		92.8	93.2	94.2
各年度の整備延長(m)※	-	3,240	2,430	公共下水道水洗化率(%)		95.5	96.2	97.2
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進しました。令和4年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指しました。				・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和5年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。				
・評価 令和4年度の公共下水道整備は、延長3,240mで面積12.3haを行いました。				・課題 令和4年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。				
・課題に対する改善点 令和3年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。				・取組 令和5年度の公共下水道整備は、延長2,430mで面積9.5haを行います。				

計画的な下水道事業の推進 主管課：上下水道局

浄化槽設置事業	浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽及び汲み取り便所から合併処理浄化槽へ転換する。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
下水道建設課	0		27,737		8,493	87,850	65,958	21,892
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
合併処理浄化槽の転換基数(基)	10	21	50					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 浄化槽計画区域において、合併処理浄化槽への転換基数21基を行いました。				<p>・現状</p> 浄化槽計画区域には、約1,000件分の合併処理浄化槽への転換が必要となっています。				
<p>・評価</p> 浄化槽計画区域において、合併処理浄化槽への転換基数21基を行いました。				<p>・課題</p> 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況です。				
<p>・課題に対する改善点</p> 浄化槽計画区域において、合併処理浄化槽への転換を促進するよう「利根運河等水質改善モデル事業」を策定しました。				<p>・取組</p> 「利根運河等水質改善モデル事業」として最大30万円を上乗せ補助し、転換工事の加速化を図り、年間転換基数50基を行います。				

計画的な下水道事業の推進 主管課：上下水道局

ストックマネジメント事業	下水道管路施設の計画的な維持管理・改築・更新を進める。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
下水道建設課	0		33,066		19,146	147,695	103,200	44,495
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
点検延長(km)※	4.5	-	5.2					
改築延長(km)	1.0	0.2	1.0					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 本州団地の管路調査を行い、老朽度状況により改築工事を行いました。				<p>・現状</p> 供用開始から50年が経過したコミュニティプラントで整備された管路施設が多い状況です。				
<p>・評価</p> 0.2kmの改築工事を行いました。				<p>・課題</p> 老朽化した管路の割合が年々増加傾向にあります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 計画的な点検・調査を行い、管路の劣化度を把握するとともに事業平準化に配慮した改築を行っていく必要があります。				<p>・取組</p> 若葉台団地の改築工事を予定しています。				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	81.0	83.5	83.9	%	↑
市内鉄道駅の1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 ※数値は2019（R1）年度、2020（R2）年度、2021（R3）年度	183,175 ※	136,708 ※	152,367 ※	人	↑
流山ぐりーんバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	1,739	2,045	2,287	人	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 つくばエクスプレスについては、車両編成8両化や東京駅延伸等の実現に向け、首都圏新都市鉄道へ要望活動を行いました。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の整備に向け、東武鉄道と継続的に協議を行いました。流山ぐりーんバスについては、収支の安定化を図るため、バス利用促進及び運賃体系の見直し等の検討を行いました。</p> <p>・評価 つくばエクスプレスについては、首都圏新都市鉄道に対し、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続に係る要望書を提出しました。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の整備に向け、東武鉄道と支障物件の撤去に係る補償契約を締結しました。流山ぐりーんバスについては、収支率を車内に掲示することで利用促進を図りました。</p> <p>・改善点 つくばエクスプレスについては、首都圏新都市鉄道に対し、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続に係る要望書を、2度にわたり提出しました。初石駅については、東武鉄道と綿密な協議を実施し、施行協定締結に至るスケジュールを共有しました。流山ぐりーんバスについては、運賃体系の見直し等による効果計測の検討を行いました。</p>	<p>・現状 つくばエクスプレスについては、首都圏新都市鉄道に対し、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続に係る要望活動を行っています。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の工事着手に向け、東武鉄道と施行協定締結に係る協議を進めています。流山ぐりーんバスについては、利用者数がコロナ前の9割まで回復しています。</p> <p>・課題 つくばエクスプレスについては、沿線都市と協力し、効果的な要望活動を続けていくことが必要です。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の供用に向け、早期に東武鉄道と施行協定を締結する必要があります。流山ぐりーんバスについては、燃油価格等の高騰による運行経費の増額に対応するため、運賃改定による安定的な収入を確保及び運行継続に向けた需要確保策の検討が必要です。</p> <p>・取組内容 つくばエクスプレスについては、首都圏新都市鉄道に対し、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続に係る要望書を提出します。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の供用に向けたスケジュールに基づき、施行協定を締結します。流山ぐりーんバスについては、運行継続に向けた運賃改定を実施するとともに、ルート変更等の需要確保策を検討します。</p>

広域交通ネットワークの充実 主管課：まちづくり推進課

TX東京駅延伸促進事業		つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
まちづくり推進課	0	0			1,276	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
TX沿線都市での会議等の開催回数(回)	4	7	5	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		75.5	74.5	75.0
				つくばエクスプレス線の駅の1日平均乗車人員(人) (数値は、R2年度、R3年度)		278,000	306,000	-

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 引き続きつくばエクスプレス沿線7市首長懇談会を通じて、首都圏新都市鉄道に対し、車両編成8両化、東京駅延伸の実現に係る事業費や需要予測等の調査実施、通学定期乗車券の運賃引き下げ等を要望しました。</p> <p>・評価 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。</p> <p>・課題に対する改善点 都心部・臨海地域地下鉄構想に関する調査検討を実施している中央区と情報交換し、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続について、首都圏新都市鉄道に2度の要望書を提出しました。</p>	<p>・現状 つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会を毎年度開催し、首都圏新都市鉄道に対し要望活動を続けています。</p> <p>・課題 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。</p> <p>・取組 首都圏新都市鉄道に対し、都心部・臨海地域地下鉄構想事業計画検討会の事務局である東京都、及び同構想に関する調査検討を実施している中央区と連携を図り、速やかに事業費や事業予測等の調査を実施するよう、沿線市区とともに要望活動を続けていきます。</p>

広域交通ネットワークの充実 主管課：まちづくり推進課

初石駅施設整備事業		東武野田線初石駅の利便性を向上させるため、自由通路及び橋上駅舎の令和6年度末の供用開始及び駅前広場の整備を行います。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
まちづくり推進課	648,760	58,979			7,658	1,141,809	1,075,549	66,260
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
事業進捗率(事業費ベース:%)	1.56	3.70	50.00	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		75.5	74.5	75.0
				初石駅の1日平均乗降人員(人) (数値はR2年度、R3年度)		15,250	16,437	-

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 自由通路及び橋上駅舎の工事着手に向け、東武鉄道と施行協定の締結に向けた協議を行いました。</p> <p>・評価 施行協定締結に向け、東武鉄道と綿密な協議を実施しました。</p> <p>・課題に対する改善点 工事の支障となる物件の撤去について、権利者と協議を重ね、補償契約を締結しました。</p>	<p>・現状 東武鉄道と施行協定締結に向けた最終協議を進めています。</p> <p>・課題 施行協定締結に向け、東武鉄道との費用負担割合について、早急に協議を完了させる必要があります。</p> <p>・取組 自由通路及び橋上駅舎の工事着手に向け、東武鉄道と施行協定を締結します。</p>

広域交通ネットワークの充実 主管課：まちづくり推進課

鉄道設備整備補助事業	流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいることから、流鉄による設備投資を推進し、安全に運行できる環境を整えるため、流山市鉄道安全輸送設備事業補助金を支出し支援します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
まちづくり推進課	0		0		3,191	11,987	0	11,987
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
鉄道設備更新率(%)	-	-	14	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		75.5	74.5	75.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和4年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・現状</p> <p>流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいます。</p>				
<p>・評価</p> <p>令和4年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・課題</p> <p>鉄道設備の更新工事等について、補助が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>令和4年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・取組</p> <p>流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的な補助金の支出に努めます。</p>				

地域公共交通ネットワークの充実 主管課：まちづくり推進課、都市計画課、道路管理課

ぐりんバス運行事業	鉄道を主軸とした流山市の公共交通体系に対応するため、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
まちづくり推進課	88,433		501		7,658	89,993	0	89,993
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
利用促進啓発活動回数(お散歩マップ・自治会回覧)(回)	-	-	1	流山ぐりんバスの年間利用者数(人)		744,436	832,370	914,000
				収支率全ルート平均(%)		48.0	56.3	59.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>市内6ルートを運行する流山ぐりんバスについて、安全かつ安定的な運行に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大前と比較し、バス利用者数は回復傾向にありますが、一部で収支率の低いルートがあります。</p>				
<p>・評価</p> <p>慢性的な交通渋滞による遅延を解消するため、西初石ルートの変更を検討しました。</p>				<p>・課題</p> <p>地域公共交通計画に基づく運行継続基準である収支率55%に満たないルートについて、需要確保策の検討が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>現在のサービス水準で運行を継続するため、地域公共交通活性化協議会において議論を重ね、西初石ルートの変更を決定しました。</p>				<p>・取組</p> <p>運行継続基準である収支率55%に満たないルートについては、運賃改定やルート変更等の需要確保策を検討します。</p>				

地域公共交通ネットワークの充実 主管課：まちづくり推進課、都市計画課、道路管理課

地域公共交通活性化事業	地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするとともに、持続可能な公共交通網を形成するため地域公共交通計画を策定し、市内公共交通を持続可能な交通体系へと発展させていきます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
まちづくり推進課	22,435		7,570		9,573	13,048	0	13,048
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
地域公共交通活性化協議会の開催回数(回)	5	8	8	公共交通に満足している市民の割合(%)		83.5	83.9	84.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>地域公共交通計画に基づき、流山ぐりんバスの運賃体系の見直し、及び妊産婦に対する移動支援施策の拡充について検討しました。駅前広場において増加する企業送迎バス等の利用実態調査を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>マタニティタクシー利用助成制度を開始しました。高齢者の運転免許証自主返納が進んでいません。公共交通が不便な地域が残っています。</p>				
<p>・評価</p> <p>地域活性化協議会において、マタニティタクシー利用助成制度の導入が決定しました。流山ぐりんバスの運賃体系の見直しについて、様々なシミュレーションによる検討を行いました。駅前広場で増加する企業送迎バス等の利用実態を調査し、効率的で安全な交通利用を図るための対応策を検討しました。</p>				<p>・課題</p> <p>高齢者が運転免許証を自主返納した後の、公共交通を利用しやすい環境づくりが必要です。公共交通検討地域について、新たな交通手段の検討が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>駅前広場において増加する企業送迎バス等の利用方法について、駅前利用に関するルールを作り、各企業に周知を図りました。</p>				<p>・取組</p> <p>高齢者が運転免許証を自主返納した後の公共交通利用に係る割引制度等の制度設計を進めます。公共交通検討地域においては、既に実施している移動支援に関する福祉施策等と連携を図り、新たな交通手段のついて市民と協働で検討を進めます。</p>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画（建築住宅課） ※1 R2より国の耐震化率の算定に合わせ、棟単位から戸数単位に変更し、算出した数値	93.2(※1)	93.2(※1)	93.2(※1)	%	↑
住宅の空き家率	住宅総数のうち、一時居住用や販売用等を除いた「その他の住宅」の占める割合（総務省「住宅・土地統計調査」） ※1：2018(H30)年度	3.2(※1)	3.2(※1)	3.2(※1)	%	↓

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、周知を図りました。流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき「市営住宅柳田団地4号棟屋上防水改修工事」を行いました。地域住民の生活環境に深刻な影響が懸念される、管理不十分な空き家の改善を図るため、所有者等を特定し助言・指導に努めました。新型コロナウイルス感染防止対策を実施したうえで、オンライン相談会及び対面型の相談会を開催しました。</p> <p>・評価 管理不十分な空き家の所有者等に対し、助言・指導を行った結果、14件の改善が図られました。</p> <p>・改善点 仕様等を工夫し、予算内で執行することができました。</p>	<p>・現状 平成25年度に策定した「流山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。</p> <p>・課題 令和6年度以降の「流山市公営住宅等長寿命化計画」を策定する必要があります。</p> <p>・取組内容 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、大橋団地1・2号棟の受水槽の取替工事を行います。</p>

住生活の安定と向上 主管課：建築住宅課、宅地課、高齢者支援課、障害者支援課

市営住宅整備事業	安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図ります。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
建築住宅課	13,843	12,061		2,553	17,864	8,932	8,932
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
市営住宅管理戸数(戸)	449	449	449				
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅柳田団地4号棟の屋上防水改修工事を行いました。</p> <p>・評価 計画的に改善工事を行うことで、建築物の耐久性・安全性の向上と建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しました。</p> <p>・課題に対する改善点 仕様等を工夫し、予算内で執行することができました。</p>	<p>・現状 平成25年度に策定した「流山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。</p> <p>・課題 市営住宅の長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を継続的に図るため、令和6年度以降の「流山市公営住宅等長寿命化計画」の策定が必要です。</p> <p>・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、大橋団地1・2号棟の受水槽の取替工事を行います。</p>						

空き家対策の推進 主管課：建築住宅課

空き家対策事業	適正に管理されていない空家の解消を推進するため、法律や条例に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空き家対策を効果的に行うため、住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、計画に沿って取り組みを進めます。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
建築住宅課	901	7,604		1,915	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
空き家問題に関する通報件数(件)	80	82	80	空き家に対する改善指導件数(件)	41	41	40
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 空家等対策計画を策定し、同計画に沿って空き家対策を進めました。</p> <p>・評価 情報提供があった空き家に対し、現地調査を行うとともに、管理不全の空き家82件に対し改善指導を行い、14件が改善されました。</p> <p>・課題に対する改善点 実態調査を終えてなかった地域については、ゼンリンから購入した空家データと水栓データの突合を行い、空家の特定を行った。</p>	<p>・現状 空家等対策計画に沿って取り組みを進めます。</p> <p>・課題 市民の空家問題に対する意識の啓発を行っていきます。</p> <p>・取組 市内特定空家の解消に努め、市民への空家問題の意識啓発を行います。</p>						

高齢者住み替え支援相談事業	高齢者が安心して住み替えができるようにするとともに、子育て世代の市内移住の支援を図るため、相談会の開催やセミナーを開催します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
建築住宅課	58		22		2,553	47	47	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
住み替え相談会開催回数(回)	6	6	6	住み替え相談会参加組数(組)		10	11	15
				住み替え相談の成立件数(件)		1	-	1
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>新型コロナウイルス感染対策として、ZOOMを活用した非接触型のオンライン相談会を開催しました。</p>				<p>・現状</p> <p>住み替え相談会については、年6回の開催を予定しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>ZOOMを活用することで自宅等からでも相談会に参加できるため、参加者からも好評をいただいております。今後も継続していきます。</p>				<p>・課題</p> <p>住み替え相談会の需要予測を行い、相談会数を調整する必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しつつ、第1回から第4回はZOOMによる非接触型のオンライン相談会、第5回及び第6回は対面型の相談会を実施しました。</p>				<p>・取組</p> <p>今年度は相談者の希望に応じ、オンラインまたは対面型での相談会を実施していきます。</p>				

主管部局 環境部 施策の目的 地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
二酸化炭素排出量の基準年度比	平成19(2007)年度の排出量を100とした場合の指数(環境政策課) ※上段は民生家庭、下段は民生業務。国の統計等を用いて算定するため2年遅れての公表。 ※国の統計が改定されたため、R1・R2の実績を再算定しています。	137 165 (H30分)	121 166 (R1分)	118 159 (R2分)	-	↓
身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	「どちらかといえば不満」「不満」と回答した市民の割合(ながれやままちづくり達成度アンケート ※H30年度のみ市民意識調査)	31.2	27.8	30.7	%	↓

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改正を実施し、市民や事業者、市の取り組みを総合的かつ計画的に推進していく方針を作成したことに伴い、市民への周知啓発事業や補助事業の有用性の周知、設置可能業者への理解等の促進を進め、多様な手法で地球温暖化対策を実行できるよう努めました。</p> <p>・評価 補助制度によって実績にばらつきがあり、時勢に合わせ補助事業内容の有用性を検討する必要があります。</p> <p>・改善点 創エネルギー・省エネルギーへの働きかけとして、各種補助制度の活用促進に努めつつ、時勢に合った事業設計を検討する必要があります。</p>	<p>・現状 ゼロカーボンシティを宣言したことから、脱炭素の取り組みをさらに推進する必要があります。</p> <p>・課題 各種補助制度の有用性を周知するとともに、戸建や集合住宅、事業所等、対象に合わせた脱炭素への取り組みを市民や事業者へ働きかける必要があります。</p> <p>・取組内容 ゼロカーボンシティを目指し、市内最大級の事業者として脱炭素へ強力な取り組みを進めつつ、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度により多様な手段で取り組みを後押しします。</p>

地球温暖化対策の推進 主管課：環境政策課

地球温暖化対策事業	地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等の事業を行います。令和5年度から、集合住宅や事業所への太陽光発電設備への補助事業を開始します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
環境政策課	18,088	25,167		15,955	38,262	10,436	27,826
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数(件)	187	193	210	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量(t-CO2)	305.7	313.0	333.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 集合住宅や商業施設等の電気自動車等充電設備の設置補助へのPRを行ったほか、脱炭素に向けた多様な補助制度を設けるとともに、市民や事業者に向けて制度の有用性について周知を行いました。</p> <p>・評価 周知した結果、当初予算額を超える補助金の申請があり、一定の効果が得られました。</p> <p>・課題に対する改善点 補助制度により申請件数に差があり、需要に合った補助制度の作成が必要です。</p>				<p>・現状 既存の補助制度の拡充や、新規制度である集合住宅や事業者の太陽光発電設備の設置補助のPRに注力しています。</p> <p>・課題 補助制度の周知、有用性の効果等、補助対象に合わせた周知が必要です。</p> <p>・取組 補助制度の周知を行うとともに、断熱効果の有用性等、需要にあった脱炭素への効果的補助制度を研究します。</p>			

生活環境の保全 主管課：環境政策課

路上喫煙の防止及びまちをきれいにする事業	路上喫煙等を防止し環境美化を推進するため、路上喫煙防止重点区域のパトロール、クリーンボランティアによる地域清掃を行います。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
環境政策課	10,752	9,989		7,514	10,276	266	10,010
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
路上喫煙等防止指導件数(件)	163	190	200	路上喫煙等防止過料件数(件)	49	123	80
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 年間を通してパトロールを実施し、路上喫煙防止に努めました。</p> <p>・評価 パトロール実施の結果、違反者に対する指導や過料徴収の件数が前年度よりも増加し、パトロールの目的は果たされているものの、路上喫煙者が減少傾向とはなっていない状況です。</p> <p>・課題に対する改善点 パトロールの実施及び違反者に対する指導や過料徴収等、適切に対応しました。</p>				<p>・現状 路上喫煙は引き続き確認されている状況のため、路上喫煙防止重点区域でのパトロールを実施します。</p> <p>・課題 南流山駅前の喫煙所を撤去したことにより、その周辺、特に人目に付きにくい場所を中心に、ポイ捨てが増加傾向にあります。</p> <p>・取組 ポイ捨てが酷い箇所等について、これ以上悪化しないようパトロールを強化及びその箇所を立ち入り不可とすることを含め、関係各課と協力し対策を検討します。</p>			

主管部局 環境部

施策の目的

ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
1人1日当たりのごみ発生量	ごみ処理量の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	847	813	795	g	↓
資源化率	資源化率の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	24.0	27.6	28.7	%	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 ごみの分別・減量化及び資源化に協力してもらうために、家庭ごみの正しい分け方・出し方やごみ分別の周知に努めるとともに、指定ごみ袋への意見や要望を取りまとめ検証しました。ごみ焼却施設の長寿命化整備を令和4年度から令和7年度までの4か年継続事業として実施し、施設の安全で安定的な運転と適性な管理に努めました。</p> <p>・評価 指定ごみ袋や生ごみ肥料化処理器購入補助金制度、ごみ分別アプリの導入などにより、ごみ分別及び減量化・資源化を促進し、ごみの全体処理量及び焼却するプラスチックの削減に努めました。ごみ焼却施設については、定期点検整備を実施することで、安全かつ安定的なごみ処理を継続し、市内の公衆衛生維持に努めました。</p> <p>・改善点 4月から導入した指定ごみ袋について周知・啓発を行い、リサイクル率の向上及びごみの減量化・資源化に取り組みました。廃棄物処理施設では、ごみ焼却施設の定期点検整備や修繕業務を実施し、安全かつ適正な運転管理に努めました。</p>	<p>・現状 ごみの分別・減量化及び資源化を促進するため、家庭ごみの正しい分け方・出し方やごみ分別アプリの周知に努めるとともに、指定ごみ袋や生ごみ肥料化処理器購入補助金などによるごみの減量化・資源化への効果を周知します。ごみ焼却施設の延命化を図る基幹的設備改良工事整備を令和7年度までの継続事業として実施し、施設の安全で安定的な運転と適性な管理に努めます。</p> <p>・課題 指定ごみ袋や生ごみ肥料化処理器購入補助金の効果等を踏まえ、更なるリサイクル率の向上及びごみの減量化・資源化に取り組む必要があります。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工する基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。</p> <p>・取組内容 指定ごみ袋と生ごみ肥料化処理器購入補助金制度の導入による効果等について、データや表現等を工夫しわかりやすく広報し、リサイクル率の向上及びごみの減量化・資源化を推進します。ごみ焼却施設の整備については、基幹的設備改良工事及び定期点検整備の調整を密に行い、適切な運転管理に努めるとともに、一部のごみ処理を外部委託して、安定した廃棄物処理を確保します。</p>

ごみの減量化・資源化の推進 主管課：クリーンセンター

ごみ減量・資源化事業	ごみの減量、分別促進を図るため、指定ごみ袋やごみ分別アプリの導入、食品ロス削減の先進地視察及び事業系排出者へのアンケートを実施します。							
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
クリーンセンター	559	478			9,408	570	0	570
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
ガレージセール実施回数(回)	-	-	2	1人1日当たりのごみ発生量(g/1人・日) ※値はそれぞれ前年度の数値を使用		813	795	789
ごみ出前講座回数(回)	4	5	8	資源化率(%) ※値はそれぞれ前年度の数値を使用		27.6	28.7	22.0
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 周知拡大を図るため、ごみ出前講座を行うほか、ごみ分別アプリの利用促進を図り、ごみの減量、分別や指定ごみ袋の周知を併せて行いました。</p> <p>・評価 ごみ出前講座の他に減量等推進委員会の開催及び新任自治会長説明会に参加し、ごみの減量、分別や指定ごみ袋の周知に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点 自治会やごみ減量等推進員、集合住宅管理会社との連携を図り、さらなる周知が必要となります。</p>	<p>・現状 指定ごみ袋導入後の家庭ごみの減量効果等について、市民の皆様にわかりやすい広報に努め、引き続き市民の理解とご協力の促進を図ります。</p> <p>・課題 自治会未加入者や新たに転入してきた市民に対する周知方法の見直しが必要です。</p> <p>・取組 施設見学や広報ながれやまの特集号、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、ごみ分別アプリの利用促進を図り、周知を行います。</p>							

ごみの減量化・資源化の推進 主管課：クリーンセンター

リサイクル推進事業	集団回収を実施するリサイクル団体の活動支援やごみ減量化促進ポスターコンクールの開催及び各種講座等を開催します。また、生ごみ肥料化処理器による生ごみの減量化及び再資源化を図るとともに、購入者に費用の一部を補助します。							
担当課	R4当初予算	R4決算見込			R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
クリーンセンター	248,799	189,859			8,767	248,763	1,329	247,434
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
リサイクル団体登録数(団体)	256	254	256	集団回収量(t)		8,890.37	8,540.13	9,200.00
リサイクル講座(教室)開催数(回)	48	68	70	リサイクル講座(教室)の参加者数(人)		598	561	700
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 令和4年度から開始される生ごみ肥料化処理器購入補助金制度を広く周知し、ごみの減量・資源化に努めました。</p> <p>・評価 令和4年度に交付した市民の方々に任意でアンケートを実施しました。実際に機器を使用した2世帯の方に取材を行い、アンケート結果や取材をもとにした記事を広報ながれやまに掲載しました。実際の利用者の生の声や減量効果を掲載することで、より説得力のある広報とすることができました。</p> <p>・課題に対する改善点 令和4年度のごみ減量化促進ポスターコンクールの開催においては、各学校担当者や連携し、無理のない範囲で開催するよう努めます。</p>	<p>・現状 生ごみ肥料化処理器購入補助金制度を広く周知するとともに、資源回収業者やリサイクル団体への活動支援を実施します。</p> <p>・課題 資源化率の向上及び生ごみ肥料化処理器を使用して生成した堆肥をごみとして排出せず利用できるかの検討、研究が必要です。</p> <p>・取組 資源物回収や生ごみ肥料化処理器について、わかりやすい広報を行うことで、ごみの減量及び資源化の促進に努めます。</p>							

ごみの減量化・資源化の推進 主管課：クリーンセンター

ごみ収集事業	各家庭からごみ集積所に排出される一般廃棄物を衛生的に処理するため、ごみの収集を業務委託し、ごみを適正に処理することによって、市民一人一人が衛生的な中で生活が営むことができる環境づくりに努めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
クリーンセンター	323,919		323,919		10,048	340,501	340,501	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 「正しいごみの出し方・分け方」パンフレットの見直しを検討しました。				・現状 一部、間違えたごみの出し方をする方が見受けられるが、指定ごみ袋については大部分の方が利用されている状況です。引き続きごみの出し方・分け方について周知・啓発を実施します。				
・評価 分別が分かりづらい容器包装プラスチックと燃やさないごみの分別の違いについて資料を作成し、自治会等回覧やケロクル通信として市のホームページに掲載し、周知を図りました。				・課題 ごみ集積所を衛生的に保つため、転入した新たな市民や分別が分かりづらいごみなどについて、適正排出を実施してもらう必要があります。				
・課題に対する改善点 多様化したごみの適正排出を実施するため、わかりやすい周知が必要となります。				・取組 「家庭ごみの正しい分け方・出し方」を刷新し、令和6年度に市民への配布を行います。				

一般廃棄物の適正処理 主管課：クリーンセンター

ごみ焼却施設整備事業	ごみ焼却施設の安全操業と適正な廃棄物処理を継続するため、設備の定期的な点検整備を実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
クリーンセンター	579,500		35,004		9,573	530,000	0	530,000
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
修繕費用(千円)	619,885	89,379	10,000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)		-	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 ごみ焼却施設の定期点検整備及び修繕業務を適正に実施しました。				・現状 ごみ焼却施設の老朽化による設備・機器類の状況を的確に見極め、関係法令に遵守した適正な定期点検整備を実施します。				
・評価 定期点検整備及び修繕業務を適正に実施することで、安全かつ安定したごみ処理を実施することができました。				・課題 令和5年度から着工する延命化整備と並行して、定期点検整備を適正に実施しつつ、安定したごみ処理を継続していくため、延命化整備と運転管理に係る調整を密に図る必要があります。				
・課題に対する改善点 ごみ焼却施設の老朽化による設備・機器類の状況を見極め、今後の延命化等の整備計画との調整を図り、適切な整備を実施しました。				・取組 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。				

一般廃棄物の適正処理 主管課：クリーンセンター

廃棄物処理施設延命化事業	平成16年2月竣工のごみ焼却施設の延命化を図るため、令和2年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、令和4年度から令和7年度までの4か年継続事業として、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
クリーンセンター	0		0		15,955	2,159,971	2,127,583	32,388
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況(%)	-	-	27	CO2排出量の削減率(%)		-	-	2.39
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和2年度及び令和3年度に策定した長寿命化総合計画及び基幹的設備改良工事発注仕様書に基づき令和4年度に基幹的設備改良工事請負契約を締結し、令和5年度からの工事着工に向けた実施設計等の準備を実施しました。				・現状 ごみ焼却施設は稼働から19年が経過しており、長寿命化総合計画に基づき基幹的設備改良工事を実施することで、施設の延命化を図ります。				
・評価 基幹的設備改良工事による効果として二酸化炭素排出量5%以上を削減する計画とすることで国庫補助金の交付決定を受け、4か年継続事業として工事請負契約を締結しました。				・課題 毎年実施している定期点検整備と並行して基幹的設備改良工事を円滑に実施しながら、安定したごみ処理を継続していくため、定期点検整備と運転管理に係る調整を密に図る必要があります。				
・課題に対する改善点 令和5年度からの工事着工に向け、安定した運転管理を実施しながら円滑な工事進捗が図れるよう、延命化整備と定期点検整備の工程や運転管理との調整を図りながら実施設計等の準備を実施しました。				・取組 工事の安全対策に十分注意を払うとともに、定期点検整備や運転管理等に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事進捗に努めます。				

主管部局 経済振興部 施策の目的 消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
小売吸引力指数	本市の人口1人当たり年間商品販売額÷千葉県全体の人口1人当たり年間商品販売額（総務省・経済産業省） ※1 2016（H28）年経済センサス ※2 2021（R3）年経済センサス	0.765(※1)	0.661(※2)	0.661(※2)	-	↑
1事業所当たりの製造品出荷額等	（総務省・経済産業省）※1 2016（H28）年経済センサス	682(※1)	682(※1)	682(※1)	百万円	↑
法人市民税	普通会計決算カード（財政調整課） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	68,291	51,458	62,780	万円	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 女性向け創業スクールを実施したほか、就職氷河期世代支援コースを含む就職個別相談を実施し、就労を支援しました。空き店舗の減少や地域の活性化、創業者支援のため、創業を検討する方へ制度の周知を図りました。開業を検討している医療機関等に対しては、情報提供、関係機関との調整などの支援を行いました。</p> <p>・評価 空き店舗活用事業では、2件の改装費補助と19件の家賃補助を行いました。女性向け創業スクールでは、受講生26名のうち、最終プレゼンテーションに13人が参加しました。小児科2施設の開業に結び付けました。市融資制度については資金融資を29事業者に対して行ったほか、利子補給を332事業者に行いました。</p> <p>・改善点 新型コロナや物価高騰等による世界経済の不安定さにより、雇用環境に大きな変化が生じているため、多様な働き方に対応した支援が必要です。感染症対策事業として「セーフティネット4号認定」の融資についても引き続き対応する必要があるほか、物価高騰支援事業となる「小規模事業者持続化促進補助金」の活用促進や「企業動向調査」を活用した新たな支援策の検討が必要です。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰等により依然として市内経済は大きな影響を受けています。この影響を受けた市内事業者に対する支援を国、県及び商工会議所などと連携を取り、引き続き行います。既存事業者及び創業スクール出身者の中から、魅力的な個性を発信している事業所が現れています。意欲的に取り組む事業者や創業に意欲のある者への支援により、地域経済の好循環を図ります。</p> <p>・課題 新型コロナや物価高騰等に対する支援について、効果的で使いやすい側面に利便の高い制度の創設や既存制度の拡充、変更を行う必要があります。</p> <p>・取組内容 女性向け創業スクールの開催(年6回)では参加者の知識、技能習得を深めることを目的に、参加方法を通年とし実施します。また、これまで実施してきた「就職氷河期世代の就労」についても側面支援し、多様な世代の就労促進に努めます。「企業動向調査」を活用した新たな支援策の検討を進めます。市民の利便性の向上、市の財政の安定、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出を雇用確保の機会が見込まれる事業所等の誘致活動に努めます。</p>

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

<p>空き店舗有効活用事業</p> <p>空き店舗の解消による賑わいの回復と創出をはかるため、生じてしまった空き店舗を活用する事業者に対し、改装工事費及び賃借料にかかる補助を行うものです。</p>	<p>担当課 R4当初予算 R4決算見込 R4職員給与費(目安) R5当初予算 R5特定財源 R5一般財源</p> <p>商工振興課 11,364 10,473 12,764 12,156 0 12,156</p> <p>主な活動指標 R3実績 R4実績 R5目標(予定) 主な成果指標 R3実績 R4実績 R5目標</p> <p>相談延件数(件) 15 30 30 補助金(家賃補助分)交付件数(件) 10 14 14</p> <p>補助金(改装費補助分)交付件数(件) 1 3 3</p>
--	--

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 従来の要綱から、事業目的に沿ったもので、かつ利用者等の声を基に利用しやすい制度となるよう「流山市空き店舗有効活用事業補助金交付規則」として改め、ホームページでの周知と相談者に対して丁寧な説明に努めました。</p> <p>・評価 相談件数は30件と、例年と比較して倍増しましたが、相談時点での事業確度や資金状況にバラツキもあったこともあり、新規交付は5件となりました。市内事業者への発注分に限定した改装費補助は3件あり、市内経済循環が図られました。</p> <p>・課題に対する改善点 当該補助制度の認知が高まることで、市内空き店舗の利活用が促進されることが期待できる中で、制度の周知徹底が課題となります。補助制度が理解しやすいリーフレットを作成しました。</p>	<p>・現状 利活用した店舗が補助期間満了後も長きにわたって事業が継続されていくために、交付先事業者には流山商工会議所への入会と経営指導員による経営指導を年に1回以上受けることを条件としています。</p> <p>・課題 当該補助金の申請者が作成する事業計画書や資金計画書のほか、空き店舗の立地状況等から事業継続に問題がないかを判断することが難しいです。当該補助制度の認知向上のために徹底した周知が必要です。</p> <p>・取組 商工会議所の経営指導員と共に申請者の与信等の判断を行います。市内金融機関、不動産事業者を訪問して制度周知を行います。</p>

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

<p>中小企業資金融資事業</p> <p>市内中小企業者の事業発展と維持を目的に、事業に必要な運転資金、設備資金を円滑に調達できるように、融資にかかる負担軽減を図るもの。</p>	<p>担当課 R4当初予算 R4決算見込 R4職員給与費(目安) R5当初予算 R5特定財源 R5一般財源</p> <p>商工振興課 142,384 137,559 12,764 140,288 130,006 10,282</p> <p>主な活動指標 R3実績 R4実績 R5目標(予定) 主な成果指標 R3実績 R4実績 R5目標</p> <p>商工会議所役員回答参加回数(常任委員会、商業部会、工業部会)(回) 36 36 36 融資件数(件) 22 15 20</p> <p>流山工業団地役員会参加回数(回) 12 12 12 利子補給件数(件) 134 110 150</p>
---	---

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 市制度融資の申請について関係法令に則り審査を行い、15事業所に対し資金融資を実施し、110事業所に対し利子補給を行いました。</p> <p>・評価 貸付者に融資利息の一部を補助することにより、資金繰りに係る負担の軽減化が図られました。</p> <p>・課題に対する改善点 課題はありません。</p>	<p>・現状 中小企業者に対して、金融機関を通じた資金融資の実施及び融資利息の一部補助を実施しています。</p> <p>・課題 課題はありません。</p> <p>・取組 例年どおり実施します。</p>

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

創業支援事業	30～40代を中心として子育て世代の転入が続いているなか、出産や育児などの理由で一旦仕事から離れている女性の能力を活かすため、女性の創業を支援し、地域経済の活性化とまちの魅力を高めることを目的とするものです。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
商工振興課	1,527		1,104		6,382	1,659	0	1,659
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
女性向け創業スクール受講生(人)	16	26	22	創業者数(女性向け創業スクール卒業生)(人)		13	13	15
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 女性向け創業スクールは、多くの人が参加しやすい形となるよう、単発参加型で全8回(最終プレゼン発表含む)の開催として、創業に向けた意識高揚と準備進展を図りました。				<p>・現状</p> 女性向け創業スクールへの応募者は多く、関心が高い状況にあります。創業を目指す方の多くは、個人事業としての事業規模を目指している状況にあります。				
<p>・評価</p> 7回のカリキュラムに4回以上出席した26名の参加者のうち、13名が最終プレゼンテーションに参加しました。単発参加型としたことで、回を重ねる度のレベルアップに限界がありました。				<p>・課題</p> 卒業後に開業された方々の経年状況を把握できていません。物販店舗等を目指す卒業生からは、課題等を認識できるようなトライアル店舗の提供について要望の声があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 一定レベルの創業関連スキルを習得できるよう、通年参加型へ回帰します。				<p>・取組</p> 受講生に対し、卒業後の操業状況に関する調査に協力いただくよう求めます。5年度のカリキュラムに出店体験となる「マルシェ」を実施します。				

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

企業立地促進事業	地域産業の発展と市民の利便性の向上、市の財政の安定、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出を促進するものです。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
商工振興課	13,338		11,367		12,764	12,418	0	12,418
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
面談にいたった事業所等の数(件)	37	38	40	企業等立地促進奨励金の交付対象事業所等の新規立地件数(件)		2	2	2
面談・相談等の数(件)	82	100	80	物件のマッチング等の支援を行った事業所等が立地に至った件数(件)		2	1	2
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> WEB広告の配信や医療開業支援コンサルタントとの新たな接触により、民間の開業支援機関との協力関係を構築し、産科医との接触に至り、開業に至るまでに必要な情報提供、関係機関との調整などの支援を行いました。				<p>・現状</p> 本市は近隣市に比べ病床が少ない上に人口増加が続いていることから、病床(病院)の充足が喫緊の課題となっています。病院開設志向のある医療法人との接触を行うほか、開業候補地の選定等、病院立地に必要な情報収集を行います。				
<p>・評価</p> 産科を専門とするコンサルタントとの関係構築により、産科に特化した医療法人との接触に成功し、流山市内での開業に必要なデータ収集に努めた結果、同法人内の経営会議にて流山市内での産院開業についての事業決定に導くことができました。				<p>・課題</p> 病院開業候補地の確保及び開業に必要な病床の確保が課題です。				
<p>・課題に対する改善点</p> 新たに産科専門の医療機器を取り扱うコンサルタントを訪問し、関係構築に努めました。				<p>・取組</p> 不動産事業者等の協力を得ながら、開業候補地を選定していきます。また、病院開設には病床確保が前提となるため、病床申請に係る公募時期等について、千葉県の上管部署へ適宜確認します。				

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

企業動向調査事業	市内事業者の景況感や抱える課題を把握し、効果的な事業の検討及び評価を行うためのエビデンス取得を目的に動向調査を行うものです。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
商工振興課	0		0		0	4,766	0	4,766
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
調査件数(件)	-	-	1,500	回収数(件)		-	-	375
				回収率(%)		-	-	25
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 令和5年度からの新規事業のため未実施				<p>・現状</p> 市内事業者の景況感や抱える課題の把握に努め、既存事業の改善や新規事業の創設に繋げていきます。				
<p>・評価</p> 令和5年度からの新規事業のため未実施				<p>・課題</p> 調査結果の有用性を高めるため、調査票回収率の向上を図る必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 令和5年度からの新規事業のため未実施				<p>・取組</p> 十分なデータを把握できるような質問を設定するとともに、事業者側の負担が大きくなりすぎないように、調査票自体の見易さ、質問構成に努めます。紙のみならずWEBでも回答可能なものとします。				

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

物価高騰支援事業（商工振興課 小規模事業者持続化促進分）	急激な為替相場の変動及びエネルギー価格や材料費の高騰等、社会・経済情勢が激しく変化中、自社の経営を見直し持続可能な経営に向けた経営計画を作成し、生産性の向上に努めようとする小規模事業者の取り組みを促進するため、経費の一部を補助するものです。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
商工振興課	0		0		6,382	4,375	0	4,375
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
案内件数(件)	-	20	35	交付件数(件)		-	20	35
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>中小企業庁の「小規模事業者持続化補助金（一般型）」に採択され、国の補助金確定通知を受けた市内事業者に対し、国の補助額の1/4の上乗せ補助を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>持続的な経営に向け販路拡大等を目指す小規模事業者の取組を促進するため、国の「小規模事業者持続化補助金（一般型）」の申請補助を行う商工会議所と協力して、事業周知に努めています。</p>				
<p>・評価</p> <p>対象となる国の補助金交付確定者20件のうち、20件（100%）に対して上乗せ補助を行いました。</p>				<p>・課題</p> <p>制度利用の促進のため、「小規模事業者持続化補助金（一般型）」の制度を知らない事業者への周知を図る必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>国の補助金の採択を受けた小規模事業者が事業を行う時期が様々であるため、会議所を通じて確定者の情報を収集することになります。また国の補助金を活用していない事業者への周知を行い、制度の利用促進を図る必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>引き続き上乗せ補助を実施するとともに、「小規模事業者持続化補助金（一般型）」の制度を知らない事業者への周知用のパンフレットを作成し活用を進めます。</p>				

就労の支援 主管課：商工振興課

就労支援セミナー企画運営事業	求職者が自信をもって円滑に就職活動に取り組み、希望する就職につながるようすることを目的に実施するものです。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
商工振興課	12,267		12,267		1,106	12,698	3,183	9,515
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
就職個別相談相談者数(人)	110	105	100	相談者の就職者数(人)		89	75	70
				年間セミナー参加者数(人)		99	158	120
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>ジョブサポート流山において、就職まで継続した個別相談、毎回別テーマとなるセミナーを実施します。また、千葉県ジョブサポートセンターやハローワーク松戸等関係機関との共催事業を実施しました。ハローワーク松戸ほかとの共催で市内企業との「就職面談会」を実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>引き続き、ジョブサポート流山において、就職まで継続した個別相談、毎回別テーマとなるセミナーを実施します。また、千葉県ジョブサポートセンターやハローワーク松戸等関係機関との共催事業を実施します。</p>				
<p>・評価</p> <p>個別相談利用者の就職に至った数と割合は目標値をクリアしているが、前年度と比較すると数も率も減少している。セミナーについては感染防止の観点からオンライン形式を導入したことで多くの求職者から参加がありました。</p>				<p>・課題</p> <p>実際の就職活動や労働の現場では、オンライン面接やリモートワークなどが進展しており、旧来との変化は著しい状況にあるので、こうした変化に柔軟に対応した就労支援を実施することが求められます。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>オンライン形式のセミナーが一般的になったことから、各種セミナーは対面式とオンライン式の併用型で実施します。</p>				<p>・取組</p> <p>従来からの就職活動に必要なスキル、就職後に必要なビジネスマナーの習得に加え、オンライン環境へ対応できるようICTの基本的スキルも習得できるような支援メニューも加えていきます。</p>				

主管部局 経済振興部 施策の目的 都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
認定農業者数	市の認定を受けた農業経営者	43	46	54	経営体	↑
農業産出額（推計）	千葉農林水産統計年報の市町村別農業産出額推計結果 ※R2実績(H30~R1)、R3実績(R1~R2)年 関東農林水産統計年報（市町村別農業産出額推計） ※R4実績(R2~R3)	230(※)	185(※)	92(※)	千万円	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 学校給食への流山産米の安定供給、市内産野菜の供給拡大のために生産性、効率性の向上、認定農業者を中心に市内農業者の生産性、収益性の向上につながる継続的な支援に取り組みました。</p> <p>・評価 学校給食への流山産米の安定供給、市内産野菜の供給拡大のために生産性、効率性の向上、認定農業者を中心に市内農業者の生産性、収益性の向上につながる継続的な支援に取り組みました。</p> <p>・改善点 都市化の進展による産直販売の促進や、学校給食への流山産の米及び野菜の供給確保、認定農業者を中心とした市内農業者の安定した農業経営のための支援が必要です。</p>	<p>・現状 都市化による農用地減少が生産性に影響している現状がありつつも、各経営体に見合った効率的な資機材の導入を支援することで、安定的な生産及び学校給食への提供を維持できています。</p> <p>・課題 流山産米及び野菜の学校給食への供給確保と、安定した農業経営のための支援が必要であります。</p> <p>・取組内容 学校給食に流山産米及び野菜を含んだ千産千消を推進していきます。 認定農業者の農業改善計画の達成のため、資機材等の事業費補助をしていきます。</p>

農業経営改善の充実 主管課：農業振興課

認定農業者支援事業	本市農業の中心的な役割を担っている認定農業者が購入する環境配慮型農業資材費の一部を支援することにより、生産規模の拡大及び効率化を図り、更なる農業振興を推進します。環境配慮型農業資材の購入を促進することにより、減農薬、化学肥料使用の削減に繋がり環境にやさしい農業を推進します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
農業振興課	3,400	3,373		1,515	5,100	0	5,100
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
実績補助金額(千円)	2,500.0	3,372.5	5,100.0	認定農業者数(経営体)	46	54	54
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 認定農業者の生産性、収益性が向上するよう継続的支援に取り組みました。</p> <p>・評価 新規認定農業者の推進や支援事業の周知に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点 認定農業者の生産性、収益性が向上させるよう継続して支援していく必要があります。</p>	<p>・現状 認定農業者の安定した生産性の維持及び向上するための支援に努めています。</p> <p>・課題 認定農業者の農業改善計画の達成に向けて、引き続き支援をしていく必要があります。</p> <p>・取組 認定農業者への資機材等の補助を通じて継続的な支援に取り組みます。</p>						

農業経営改善の充実 主管課：農業振興課

農業振興資金融資及び利子補給事業	農業後継者、新たに農業を営む者等に、融資機関を通じて農業振興資金を貸し付け、利子の一部を補給し都市農業の安定的な継続ができる効率的な農業経営の拡大を図ります。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
農業振興課	7,458	7,541		1,276	7,776	7,001	775
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
利子補給金額(千円)	350	540	775	利用実績件数(件)	17	22	20
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 資金融資制度の活用により都市農業の安定的な農業経営が継続的に行えるよう活用の促進に取り組みました。</p> <p>・評価 安定的な農業経営への支援に寄与できました。</p> <p>・課題に対する改善点 農業を営む者等が、安定した農業経営が継続できるよう支援していく必要があります。</p>	<p>・現状 安定的な農業経営が継続できるよう努めていきます。</p> <p>・課題 安定的な農業経営のため引き続き支援していく必要があります。</p> <p>・取組 安定的な農業経営のために引き続き支援していきます。</p>						

農業経営改善の充実 主管課：農業振興課

工コ農業推進事業	減農薬、減化学肥料による環境への負荷を低減する方向の農業生産を推進し、環境にやさしい農業の向上に資するための支援事業を行います。消費者のエコロジー趣向に対応し、環境にやさしい農産物生産に資することができます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
農業振興課	1,372		1,351		1,753	1,980	0	1,980
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
実績補助金額(千円)	700	1,351	1,980	工コ農業生産農家数(件)		48	43	50
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の導入を継続できるよう支援に取り組みました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 減農薬、減化学肥料による有機農業を継続できるよう支援していきます。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の導入を継続できるよう支援に取り組みました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 減農薬、減化学肥料による有機農業を引き続き支援していく必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の導入を継続できるよう支援していく必要があります。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 減農薬、減化学肥料による有機農業を継続できるよう取り組んでいきます。				

農業への理解の促進 主管課：農業振興課

学校給食地産地消推進事業	地産地消を推進し、流山産米を市内小中学校及び保育所の給食に提供するため、水稻生産者等を助成することで安定的に通年供給できるよう確保します。なお、学校給食については、米以外にも地元野菜の供給拡大を促進します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
農業振興課	15,896		15,892		2,553	18,612	0	18,612
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
米飯給食実施回数(回/年)	2,860	2,970	2,970	学校給食への米の出荷量(t)		183	232	242
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 流山産米を学校給食に通年供給するため、水稻生産者の収益性が安定するよう継続的支援に取り組みました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 千産千消を推進した米飯給食の安定供給に努めています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 流山産米の通年供給を行うことができました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 米飯給食の安定供給のため、水稻生産者及び関係団体への支援していく必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 流山産米を継続的に学校給食に供給するため、水稻生産者へ継続して支援していく必要があります。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 米飯給食の安定供給のため、継続的な支援に取り組みます。				

農業への理解の促進 主管課：農業振興課

市民農園事業	遊休農地等を土地所有者から借上げ、市民農園として市民が農作業を実践する場、家族や市民相互のふれあいの場として有償提供するとともに、更なる遊休農地の有効活用を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
農業振興課	2,153		2,017		1,515	2,166	239	1,927
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
市民農園借り上げ面積(m ²)	10,003.00	10,003.00	9,481.98	農園数(農園)		6	6	5
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 遊休農地の有効活用に取り組みました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 遊休農地の有効活用の一環で、農地所有者から農地を市民農園用地として借り上げています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 遊休農地の有効活用に寄与できました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 農地所有者の土地活用による契約解除となった場合の代替地の候補探しが課題です。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 農地所有者の土地活用による契約解除となった場合の代替地の候補地を探する必要があります。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 引き続き遊休農地の有効活用に取り組みます。				

主管部局 経済振興部 施策の目的 地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
入込客数	施設、イベントの入込客数（流山本町・利根運河ツーリズム推進課）	147,548	133,975	180,936	人	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 引き続き、流山本町及び利根運河両地域のマイクロツーリズムを推進するとともに、両地域のツーリズム環境整備を実施します。また、流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインを支援するとともに連携し、コンテンツの充実に取り組みました。</p> <p>・評価 新たな周遊手段の実証実験として、民間企業と連携し電動キックボードを流山本町地域に導入しました。流山版DMOとは地方創生推進交付金を活用した事業等で連携し、地域の活性化に努めました。また、新型コロナウイルス感染者数が比較的落ち着いた後期には、感染症対策を実施しながら流鉄ピア電車を3年ぶりに実施しました。</p> <p>・改善点 新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、コンテンツの充実やハード面での環境整備に取り組む必要があります。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、人々の行動も従来どおりに戻りつつあります。しかし3年間の行動制限・自粛により、地元で楽しむという意識やニーズも定着しつつあります。ツーリズムに対するニーズや動向を把握することが必要と考えています。</p> <p>・課題 新型コロナウイルス感染症の影響により、生活習慣や意識、制度等に変化があったことから、従来の事業やイベント等を見直した上で、実施に向けて取り組む必要があります。</p> <p>・取組内容 体験型観光施設「白みりんミュージアム」の建設工事に取り組むとともに、流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインを支援しつつ連携し、コンテンツの充実に取り組みます。新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなってきたことから、来訪者の増加のためのプロモーションやイベント等に取り組めます。</p>

地域資源を活かしたツーリズムの振興 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	19,900	19,776	19,146	20,600	15,450	5,150	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				流山本町地域への来訪者数(人)	64,629	65,394	265,000
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 国の地方創生推進交付金を活用し、古民家活用の仕組みづくりを流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインと共に取り組みました。</p> <p>・評価 古民家活用の仕組みのテスト運用により、5件の事業者（和菓子屋、焼き菓子屋、カフェ、カフェ&バル、地ビール醸造所）とのマッチングが成功しました。</p> <p>・課題に対する改善点 古民家の保全及び古民家を活用した店舗等を出展する事業者とのマッチングについて、市や商工会議所、流山版DMO、事業者等と連携する仕組みを構築しました。</p>	<p>・現状 観光地域づくりの舵取り役となる流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援するとともに連携してツーリズム推進に取り組んでいます。</p> <p>・課題 今後のツーリズムを推進するに当たり、共有するビジョンが必要です。</p> <p>・取組 国の地方創生推進交付金を活用し、観光ビジョン策定に流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインと共に取り組みます。</p>						

地域資源を活かしたツーリズムの振興 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	7,357	15,211	36,132	14,825	0	14,825	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
ツーリズム推進事業補助金相談回数(回)	12	12	6	ツーリズム推進事業補助金(改装)件数(件)	1	3	2
				ツーリズム推進事業補助金(家賃)件数(件)	-	4	6
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 引き続き、マイクロツーリズムを推進するため、地域を回遊するイベントの開催や地域誌によるPRを行います。また、古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付しました。</p> <p>・評価 流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金では、3軒の新規・移転オープンに対し交付を行いました。</p> <p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、インスタグラムなどSNSを活用したPRを実施しました。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなってきたことから、流山本町及び利根運河両地域のPRが再開できる状況にあります。</p> <p>・課題 PRの再開に当たり、従来どおりではなく、新型コロナウイルス感染症後の来訪者のニーズ把握が必要です。</p> <p>・取組 地域を回遊するイベントの開催や地域誌によるPRを行います。また、古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付します。</p>						

地域資源を活かしたツーリズムの振興 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

白みりんミュージアム整備事業	白みりん発祥の地であることをPRし、白みりんについて学び体験できる施設を流山本町地域に整備します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	49,000		48,400		25,528	42,645	40,070	2,575
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
施設の入込客数(人)	-	-	-					
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 白みりんミュージアムの整備に向け、建築・展示設計を行いました。				・現状 昨年度、建築及び展示設計を実施しました。				
・評価 令和5年度の工事着工に向けて設計を実施しました。				・課題 世界情勢の影響による物価上昇等を注視し、工事の進捗を確認する必要があります。				
・課題に対する改善点 白みりん発祥地ならではの体験等ができる施設とするために、民間事業者と連携して展示設備の検討を行いました。				・取組 令和6年度中の開館に向けて工事を実施します。				

来訪者の受入体制の充実 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

外国人観光客誘致促進事業	流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域へ外国人観光客を誘致するためのプロモーションを行います。また、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員(CIR)を任用し、外国人目線でSNSを活用した情報発信を行うとともに、店舗と協力し、店舗の英語対応表示やメニューの英語化等、受け入れ態勢整備を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	6,513		5,884		14,875	7,544	0	7,544
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
外国人観光客の来訪数(人)	61	844	850					
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染症の感染状況及び外国の旅行動向を注視しながら、インバウンドプロモーションの再開に取り組みました。				・現状 昨年から規制緩和が進み、日本各地に外国人観光客が訪れるようになってきました。				
・評価 令和4年の秋以降に規制緩和が進んだことから、インバウンド向けのインターネットメディア「JAPANKURU」を活用し、情報発信を行いました。また、台湾人インフルエンサーを流山に招待し、インスタグラム等でまちあるきの様子を発信しました。				・課題 新型コロナウイルス感染症後の外国人観光客のニーズを把握した上で、プロモーション方法を検討する必要があります。				
・課題に対する改善点 JNTO(日本政府観光局)が発信する国の動向や、諸外国の規制緩和などの情報を分析し、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせたプロモーションを実施しました。				・取組 外国人観光客の誘致に向け、ターゲットである台湾、欧米に向けたプロモーションを実施します。また、引き続き、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員を任用します。				

来訪者の受入体制の充実 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

利根運河地区ツーリズム環境整備事業	利根運河地域の歴史や自然環境を活かしたツーリズム環境の整備を行い、観光振興及び交流人口の増加を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	12,000		12,657		12,764	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				利根運河地域の来訪者数(人)		37,310	56,137	67,000
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 旧割烹新川屋本館の整備に向け、引き続き耐震診断及び耐震プランの検討を行いました。				・現状 利根運河地域のツーリズム推進のため、受け入れ環境整備を行う必要があります。				
・評価 旧割烹新川屋本館の耐震診断及び耐震プランの検討を行いました。				・課題 利根運河地域の自然・景観や歴史的建造物を活用した整備が必要です。				
・課題に対する改善点 利根運河地域の歴史的建造物や自然等の地域資源を活用したツーリズム環境の整備を検討しました。				・取組 旧割烹新川屋本館の耐震プランに基づく整備方針を検討します。				

流山本町地区ツーリズム環境整備事業		流山本町地域の歴史的建造物を活かしたツーリズム環境の整備を行い、観光振興及び交流人口の増加を図ります。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	31,155	29,183		21,257	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				流山本町地域の来訪者数(人)	64,629	65,394	265,000
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
<ul style="list-style-type: none"> 取組 赤城山公園の修景整備のための設計に基づき、工事を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 流山本町地域のツーリズム推進のため、受け入れ環境整備を行う必要があります。			
<ul style="list-style-type: none"> 評価 赤城山公園の修景整備のための設計に基づき、園路やベンチ等の整備を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 流山本町地域の歴史的建造物などの地域資源を活用したツーリズム環境の整備が必要です。			
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 流山本町地域の歴史的建造物などの地域資源を活用したツーリズム環境の整備を検討しました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 流山本町地域に点在する切り絵行灯を活かすため、誘客スポットのライトアップ等を検討します。			

主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
高齢者の人口	住民基本台帳人口（市民課）※翌年度4月1日時点	46,689	46,965	47,138	人	-
生きがいを感じる高齢者の割合	「生きがいをもって元気に暮らしていると思いますか」における「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合（まちづくり達成度アンケート）	79.0	82.8	78.8	%	↑
要介護・要支援認定率	65歳以上の要介護・要支援認定者数/第1号被保険者数（65歳以上）×100（介護支援課）※翌年度4月1日時点	17.9	18.2	18.6	%	↓

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 移動スーパーの巡回場所のリクエストに応じた巡回ルートの検討をしました。高齢者が容易に通える範囲に住民主体のながいき100歳体操グループが活動できるよう立ち上げ支援に取り組みました。高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業では、様々な高齢者の集いの場に事業を上げるとともに国保データベース（KDB）を活用し、フレイル予防に取り組みました。</p> <p>・評価 移動スーパーの巡回場所については、住民からのリクエストの機会を設け、巡回ルートの見直しを行いました。保健師等が感染症予防支援を行いつつ、筋力アップ教室の参加者や自治会等に働きかけ、ながいき100歳体操の自主グループの立ち上げ支援を行いました。また、高齢者ふれあいの家やながいき100歳体操グループ等高齢者の集いの場での保健師等専門職によるフレイル予防についての栄養や運動等、知識の普及啓発を行いました。</p> <p>・改善点 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を関係各課で連携し、介護予防及び高齢者の保健事業の充実を図りました。</p>	<p>・現状 敬老バスは、新型コロナウイルスの感染症法上5類移行に伴い、利用申し込みがコロナ禍以前に回復しつつあります。また高齢者ふれあいの家がない小学校区があります。また、参加者の介護予防のために、フレイル予防やながいき100歳体操の取組を入れる団体が増えつつあります。成年後見人等報酬助成では、申し立て者の違いによる制限をなくし、対象を拡充しました。</p> <p>・課題 高齢者の生きがいづくりや社会参加のため、高齢者ふれあいの家がない小学校区に高齢者ふれあいの家を開設することが課題です。また、通いの場と介護予防、フレイル予防の普及啓発の関連事業との連携をより一層深め、高齢者が住み慣れた地域で主体的に介護予防に取り組めるよう支援していくことが必要です。</p> <p>・取組内容 敬老バス支援事業では、感染症の規制緩和により宿泊を伴う利用を再開すると同時に、多くの団体にバスを利用していただけよう周知を図ります。高齢者が通える身近な地域に社会参加、健康維持、情報交換ができる高齢者ふれあいの家を開設していただけるよう周知等を通して、市民に働きかけます。成年後見人等報酬助成の対象拡充について、市民や関係機関に対し周知を図ります。</p>

多様な生きがいづくり 主管課：高齢者支援課

敬老バス支援事業 高齢者団体に市が大型バスを貸出し、高齢者相互の親睦やレクリエーション活動等の支援を行うことで、健康で生きがいのある生活を促進します。

担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
高齢者支援課	8,219	6,571	1,276	7,434	0	7,434	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
利用回数(回)	31	97	100	新規利用団体(団体)	-	-	5
利用人数(人)	581	1,889	2,300				

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 新型コロナウイルス感染症拡大防止と、ガソリン代高騰のため近距離の利用が増えつつあり、利用調整を図る必要がありました。</p> <p>・評価 下半期には第7波・8波と続いたが、県の旅行割りや国の規制緩和（定員数の撤廃・マスクの個人判断）により、利用回数が増加しました。</p> <p>・課題に対する改善点 感染症に対する対応と、高齢者の積極的な社会参加を呼びかけることとのバランスが求められています。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルスの取り扱いが2類から5類への移行に伴い、利用申し込みが回復しつつあります。</p> <p>・課題 行楽シーズンには利用者同士が重複する恐れがあります。</p> <p>・取組 規制緩和により宿泊を伴う利用を再開すると同時に、多くの団体にバスを利用していただけよう周知を図ります。</p>

多様な生きがいづくり 主管課：高齢者支援課

高齢者ふれあいの家支援事業 市内の空家等を利用し、閉じこもりがちな高齢者が自由に集まり、地域の子どもたちを含めた高齢者との交流や健康づくり、趣味活動ができる場所を提供していただける個人・団体等を支援します。

担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
高齢者支援課	6,585	2,771	1,276	6,061	0	6,061	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
年間開催総数(回)	3,175	4,576	4,600	年間利用者総数(人)	43,184	64,224	66,000
市内設置場所(か所)	27	28	30				

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 アルコール消毒液・マスク等の配布を実施しました。フレイル予防やながいき100歳体操とのコラボレーションによる、参加者の主体的な健康や介護予防への取組みを支援し、普及啓発を実施しました。</p> <p>・評価 事業周知のため広報に開設者、利用者のインタビュー記事や特集を組んだことにより、利用について市民の反響が大きく、新規の高齢者ふれあいの家開設につながりました。</p> <p>・課題に対する改善点 高齢者が集まる場であることから、引き続き感染症等へのリスク低減を図る必要があります。</p>	<p>・現状 高齢者が通える小学校区単位での通いの場が求められており、まだ高齢者ふれあいの家がない小学校区があります。</p> <p>・課題 高齢者の生きがいづくりや社会参加のため、高齢者ふれあいの家がない小学校区へ高齢者ふれあいの家を開設することが課題です。</p> <p>・取組 高齢者へ通いの場を推奨していることから、住み慣れた地域に社会参加、健康維持、情報交換できるふれあいの家を開設できるよう市民周知や関係者への働きかけを行います。</p>

地域ぐるみ支え合い体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課						
在宅高齢者介護予防・生活支援事業	公共交通機関の利用が困難な非課税世帯の単身高齢者を対象に、自宅の玄関から病院等の利用施設まで移動及び乗降の介助を支援します。また、理美容店へ出向くことが困難な高齢者には、訪問による理美容サービスを提供し、移動・出張に要する費用を助成します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
高齢者支援課	9,920		9,715		1,276	9,920	878	9,042
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
訪問理美容サービス利用回数(回)	77	66	85	訪問理美容サービス新規利用者(人)		17	22	23
外出支援サービス利用回数(回)	3,703	4,098	3,820	外出支援サービス新規利用者(人)		41	52	55
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 外出支援を必要としている人に適正に利用されるよう制度を周知するとともに、高齢者の有償ボランティアの場の創出と、運転士を確保するよう取り組みました。				・現状 高齢者数の増加により、サービスを必要としている高齢者が増加しています。				
・評価 外出支援サービスの利用が低下傾向でしたが、規制緩和とともに徐々に利用者数が回復しつつありました。				・課題 運転ボランティアの高齢化、事業所の撤退、ガソリン代の高騰により、民間の活力だけでは限界状態であり事業の存続が問われています。				
・課題に対する改善点 高齢者数の増加により、外出支援を必要としている高齢者へ利用促進を図ります。				・取組 運転ボランティア募集について継続した周知を図り、他関係機関と連携をしていきます。サービスを必要としている高齢者に適正に利用されるよう制度の周知を図ります。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課						
在宅医療介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
介護支援課	11,964		5,010		12,740	11,638	11,638	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
介護と医療をつむぐ会開催回数(回)	5	5	5	情報共有システムを利用した在宅療養者数(延べ)(人)		49	51	60
出前講座開催回数(回)	2	3	3					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 「在宅医療介護連携会議」の定例会開催の他、「介護と医療をつむぐ会」「市民公開講座」の開催、「おうち療養情報紙」の発行を引き続き行い、医療介護の専門職の連携強化を図るとともに、在宅療養についての市民啓発に努めました。				・現状 「在宅医療介護連携会議」において、医療や介護の専門職の委員と協働して、地域の医療と介護についての課題抽出と改善に取り組むとともに、「介護と医療をつむぐ会」の実施により、専門職間の連携構築を図っています。				
・評価 新型コロナウイルス感染症の流行状況に配慮しながら、おうち療養情報講座ならびにオンラインやハイブリッド方式での研修会や公開講座を実施し、在宅療養についての市民啓発の推進、医療介護の専門職間の連携強化を図ることができました。				・課題 市内全域にわたって、医療と介護の関係者がスムーズに協働できる関係性を作り、より良質な在宅医療介護が提供できる体制を構築することが課題です。				
・課題に対する改善点 市内全域にわたって医療と介護の関係者が協働できる関係性を作り、良質な在宅医療介護が提供できる体制を構築する必要があります。				・取組 「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」の定例会開催のほか、ICTを活用した医療と介護の関係者間の連携推進について検討します。また、市民啓発においては、住み慣れた地域で最期まで自分らしく過ごせるための取組みの紹介や情報提供等を行います。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課						
地域包括支援センター委託事業	介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防するため、心身の状況や環境等に応じ、包括的な援助や福祉の増進を図るための包括的支援事業を実施し、地域住民の健康の維持及び生活の安定のための援助を行う、高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)の設置・運営を委託します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
高齢者支援課	144,648		144,648		12,764	174,759	174,759	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
相談件数(件)(令和元年度より、地区の相談傾向を把握する集計方法に変更)	18,961	20,124	20,200	運営状況調査評価指標の点数(全センター平均)(点)		53	53	53
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)の機能強化に向けて、各相談室の職員、法人へヒアリングを実施し、現状把握を行いました。				・現状 高齢者人口の増加、複雑化・長期化する問題への対応などにより、各高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)に求められる役割が拡大しています。令和5年度より、各高齢者なんでも相談室の職員を各1名増員しています。				
・評価 高齢者人口の増加、複雑・困難化する事例や虐待対応等の複数人対応が求められるケースの増加など、高齢者なんでも相談室の業務量の増加に対応していくために、各相談室の職員を増員していくための検討を実施しました。				・課題 高齢者なんでも相談室に求められる役割の拡大や業務量の増加により、今後も、高齢者人口等の現状に合わせて、計画的な職員の増員とスキルアップを検討していく必要があります。				
・課題に対する改善点 高齢者なんでも相談室の職員体制を確保し、市・各相談室間の連携強化や業務の効率化を進めていく必要があります。				・取組 虐待事例や複雑困難化する事例への対応は、市や各相談室間の連携を強化し、業務の効率化を図ります。また、職員のスキルアップのため、研修会等の実施を計画していきます。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課							
成年後見申立事業	成年後見制度が必要な高齢者であって、親族がない等の理由により申立てを行うことが困難場合に市長が申立てを行い、制度の利用に繋がります。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な者に対し報酬費用の一部または全部を助成することで制度の利用促進を図ります。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
高齢者支援課	7,787		4,102		7,860	11,856	11,856	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
市長申立て件数(件)	18	13	18						
成年後見人等報酬助成件数(件)	18	18	34						
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 成年後見制度の利用が必要な状況にあり、自ら申立てることが困難であったり、申立てをする親族がない等の理由により、制度の利用に繋がらない方について、市長申立てを行いました。また、市長による申立てにより後見等開始した方で、後見人等への報酬費用の支払いが困難である場合に報酬費用の一部または全部について助成を実施しました。				・現状 本人の身近な支援者からの相談を受け、成年後見制度の利用が必要であるが申立てが困難な方について市長申立てを実施しています。また、成年後見人等報酬助成について、令和5年度から申立て者の違いによる制限をなくし、対象を拡充しました。					
・評価 主に本人の身近な支援者からの相談を受け、状況の聞き取りや調査を行い、適切に制度利用へ繋げました。また、報酬助成の対象要件について見直しを行いました。見直しにあたっては後見人を受任する専門職へのアンケート調査の実施等を通して、実態把握に努めました。				・課題 今後も成年後見制度の需要は高まるが見込まれるため、引き続き市長申立てや報酬助成による支援を実施していく必要があります。また、成年後見人等への報酬払いが困難なために制度利用しない方に対するの周知が必要です。					
・課題に対する改善点 報酬助成の対象要件について、これまで市長による申立てにより後見等開始した方についてのみを対象としていたところ、令和5年度から申立て者の違いによる制限をなくしました。これにより、本人や親族等による申立てにより後見等開始した方についても、一定の要件を満たせば報酬助成の対象となりました。				・取組 医療、介護等の各関係機関と連携し、必要に応じて市長申立てを実施することで、成年後見制度の利用に繋がっていきます。また、成年後見人等報酬助成について、広報・ホームページ等で市民や関係機関に周知及び浸透を図ります。					
介護体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課							
介護人材確保支援事業	介護人材確保を目的として国、県の介護人材確保対策事業と連携しながら、市内の介護保険施設、事業所の就業者の確保を目的とした事業を実施します。また、市単独事業として、市内介護保険サービス事業所に勤務する介護職員等の処遇改善事業と介護福祉士の資格を取得して市内の介護施設等に勤務しようとする介護福祉士等の養成施設等の在学者へ就学資金の貸し付け事業を行います。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
介護支援課	134,234		67,101		8,767	120,191	120,191	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
理解促進講座開催回数(回)	1	1	1	介護職員養成研修受講費助成件数(件)			27	29	35
				流山市介護職員処遇改善事業補助対象者人数(人)			-	694	725
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 介護職員養成研修受講費助成により、市内事業所における有資格の介護職員の増加を図りました。また、介護職員処遇改善事業や個別就職相談会によるマッチングなどを実施して、介護人材の確保と定着支援を実施しました。				・現状 職員の高齢化が進むなど、介護職員の維持、確保について万全とまでは言えない状況が続いています。					
・評価 理解促進講座について、個別就職相談会やVR認知症体験会と組み合わせた「流山市介護の仕事フェア」として開催しました。また、令和4年度より流山市独自の介護職員等への処遇改善事業を開始しました。				・課題 市内介護保険サービス事業所に就業する介護職員等を増やすとともに、提供するサービスの質の向上を図る取組を続ける必要があります。					
・課題に対する改善点 市内介護保険サービス事業所に就業する介護職員数の増加に繋がるよう、流山市介護の仕事フェアや処遇改善事業の内容について検討します。				・取組 流山市介護職員等処遇改善事業や個別就職相談会などを実施して、介護人材の確保と定着支援を図ります。また、介護職員養成研修受講費助成により、市内介護保険サービス事業所における有資格の介護職員の増加を図ります。					
介護体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課							
特別養護老人ホーム整備支援事業	特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向け、高齢者支援計画に基づいて計画的に施設整備を進めます。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
介護支援課	0		0		3,191	0	0	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
市内特別養護老人ホームの施設数(施設)	12	12	12	特別養護老人ホーム入所希望待機者数(人)			251	194	171
市内特別養護老人ホームの入所定員数(人)	1,086	1,086	1,086						
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和6年4月の新規開設(60床)を目指して、事業者の社会福祉法人あかぎ万葉への必要な支援を行います。第9期高齢者支援計画の策定にあたり、事業者アンケートを通じて法人の意向を把握するとともに、必要な整備数の見込みを立てました。				・現状 令和6年4月の新規開設(60床)を目指して、整備工事を進めています。入所待機者数については令和5年1月現在194人となっています。					
・評価 令和6年4月の新規開設(60床)に向けて、社会福祉法人あかぎ万葉による整備工事に着手しました。また、第9期高齢者支援計画の策定にあたり、待機者数の把握と社会福祉法人の整備意向の聞き取りを行いました。				・課題 必要な整備数の見込みを立てるために、入所待機者の生活実態やニーズを適切に把握する必要があります。また介護人材の確保や介護サービスの質を高めるために、開設後に適切な運営ができる社会福祉法人を選定する必要があります。					
・課題に対する改善点 本人・家族の負担を軽減し、適切な介護サービスを提供できるよう施設整備を着実に進めていく必要があります。また、開設に遅れが生じないよう事業者・法人と連携を図っていく必要があります。				・取組 令和6年4月の新規開設(60床)を目指して、事業者の社会福祉法人あかぎ万葉への必要な支援を行います。第9期高齢者支援計画において入所待機者の早期解消を図るため、施設の整備計画を策定します。					

介護体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課						
高齢者介護予防普及啓発事業	介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防教室を実施します。また、知識の普及啓発を目指し、パンフレットの作成、配布を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
高齢者支援課	1,373		1,373		8,493	1,220	1,220	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
介護予防教室開催数(回)	21	21	21	介護予防教室参加延べ人数(人)		351	274	516
				ながいき100歳体操グループ数(グループ)		51	60	70
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 感染症対策に留意して、介護予防教室「筋力アップ教室」を実施しました。また、認知機能の維持・向上を目的とした「しゃきしゃき100歳体操」の普及啓発を行いました。口腔機能の維持向上を目的とした「かみかみ100歳体操」の普及啓発のため、市歯科医師会と連携し、パンフレットを作成し、広報等で市民への周知を行いました。				・現状 介護予防教室「筋力アップ教室」の周知を図るため、新規会場での実施等工夫しましたが、感染症の影響もあり、定員を下回ることがあります。また、前年度に作成した「かみかみ100歳体操」パンフレットを活用し、「ながいき100歳体操」の実施に合わせた介護予防の普及啓発に取り組んでいます。				
・評価 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、高齢者が介護予防に取り組めるよう、感染症対策に留意しながら、介護予防教室を運営し、介護予防の知識の普及啓発を実施しました。また、「かみかみ100歳体操」の普及啓発や市広報誌に関係機関の専門職による連載を開始するなど、関係機関との連携を強化し、介護予防の普及啓発に取り組めました。				・課題 「ながいき100歳体操」を普及するための「筋力アップ教室」の周知方法や実施会場等を検討していく必要があります。「かみかみ100歳体操」については、周知を開始して間もないため、引き続き関係機関や専門職と連携を強化し、普及啓発を実施していく必要があります。				
・課題に対する改善点 介護予防のための「ながいき100歳体操」にまだ取り組んでいない高齢者が所属する団体に周知を図りました。より多くの市民が介護予防に取り組めるように、「ながいき100歳体操」の周知方法を検討していく必要があります。				・取組 より多くの高齢者が主体的に介護予防に取り組めるように、「筋力アップ教室」の周知方法を工夫するとともに、「ながいき100歳体操」にまだ取り組んでいない高齢者が所属する団体に紹介し、周知を図ります。また、口腔機能の維持向上のための「かみかみ100歳体操」の普及啓発にも取り組んでいきます。				

介護体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課						
認知症施策推進事業	認知症に関する知識の普及及び啓発を行います。また、認知症の疑いのある方や認知症の方等へ早期に対応できるよう相談支援体制の構築を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
介護支援課	2,866		1,627		9,573	2,635	2,635	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
認知症サポーター養成講座開催数(回)	30	42	50	認知症サポーター養成数(人)		1,009	1,805	2,000
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 9月を「認知症月間」とし、講演会や、認知症体験型講座、相談会等を開催しました。また、「認知症安心ガイドブック」をより活用しやすい内容に改善し、配布を行いました。さらに、認知症地域支援推進員の会議において、これらの取り組みをより良いものとするよう検討しました。				・現状 認知症が進行し、生活が難しい状況となっているなか、独居等で支援者がおらず受診やサービス利用につながらないケースが存在します。				
・評価 認知症サポーター養成講座の受講者数は増加しましたが、認知症サポーターが活躍できる場を提供できていないなど活動促進について十分な結果を出すに至りませんでした。				・課題 認知症に対する正しい知識や理解を持って、地域全体で認知症の方を見守ることのできる地域づくりが必要です。				
・課題に対する改善点 認知症に対する正しい知識や理解の普及及び啓発に向けて、認知症サポーターのさらなる増加や、活動意欲のあるサポーターが見守り活動なども含めた活動機会の創出を進めていく必要があります。				・取組 9月の「認知症月間」にあわせて講演会や認知症体験型講座などを開催します。また、認知症サポーターの活動機会の創出に向けて、認知症地域支援推進員会議等で検討していきます。				

主管部局 健康福祉部

施策の目的 障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数	障害者支援課資料 ※上から身体障害者、知的障害者、精神障害者 ※R2実績＝H31年4月1日現在、R3実績＝R2年4月1日現在、R4実績＝R3年4月1日現在	4,204 1,061 1,444	4,230 1,089 1,556	4,274 1,136 1,666	人	-
障害者就労支援センターの利用者数	障害者支援課資料 ※R2実績＝H31年4月1日現在、R3実績＝R2年4月1日現在、R4実績＝R3年4月1日現在	194	181	174	人	↑
相談支援事業の利用者数	障害者支援課資料 ※R2実績＝H31年4月1日現在、R3実績＝R2年4月1日現在、R4実績＝R3年4月1日現在	2,464	2,529	2,790	人	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 増加する相談件数及び複雑化する相談内容に対応するため、相談員を増員し、相談支援体制を強化しました。</p>	<p>・現状 障害者数は年々増加しており、障害者の重度化、高齢化に加え、複合化・複雑化した課題を抱える方や世帯も増加しています。関係機関と連携した重層的な支援が必要であり、障害分野の相談員に求められる役割が大きくなっています。</p>
<p>・評価 市内3か所ある委託相談支援事業所のうち、1か所の相談員を1名増員し、相談支援体制の一部は強化されましたが、各地域の体制強化を継続していく必要があります。</p>	<p>・課題 複合化・複雑化した課題を抱える方の支援のため、各地域の相談支援事業所における体制強化、スキルアップが課題となっています。</p>
<p>・改善点 相談件数が増加し、複雑化しているため、相談支援体制の強化が必要です。</p>	<p>・取組内容 今年度においても、1か所の相談員を1名増員し、相談支援体制の強化を図るとともに、関係機関と連携するためのネットワーク作りを進めています。</p>

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

障害者自立支援給付事業	障害者等が自立した日常生活及び社会生活を送るために居宅介護（ホームヘルプ）・施設入所・就労支援・人工透析の費用の支給等・国が定める介護・訓練・補装具・医療の給付を行います。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
障害者支援課	2,600,514		2,742,182		36,947	2,858,722	2,135,731	722,991	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
障害福祉サービス支給決定者数(人)	1,013	1,143	1,290	障害福祉サービス利用延べ人数(人)	18,789			20,545	22,000

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 医療的ケア児の支援体制の構築に向け、自立支援協議会の専門部会として子ども部会を立ち上げ、医療的ケア児への支援を含め関係機関と協議を行いました。また、医療的ケア児の現状やニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。</p>	<p>・現状 障害者数の増加に伴い、障害福祉サービス受給者も増加し続けています。</p>
<p>・評価 サービス受給者は増加し続けており、障害のある方が希望する地域生活のためのサービスを提供しました。また、子ども部会の開催を重ね、現状把握と課題について整理しています。</p>	<p>・課題 増加するサービス受給者に対応するため、サービス提供状況を分析し、必要となる事業所数の把握が必要です。</p>
<p>・課題に対する改善点 サービスの質を保つため、市内事業者を対象に権利擁護に関する研修やスキルアップのための研修を実施しました。</p>	<p>・取組 受給者の推移からサービス提供状況を分析し、必要となるサービス見込量や事業所数を把握します。</p>

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

つばさ学園療育相談事業	心身の成長や発達に心配のある乳幼児や児童に対し、専門的かつ総合的な支援が行えるよう相談支援等の充実を図ります。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
児童発達支援センター	21,574		18,275		71,818	21,069	21,069	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
発達相談総件数(件)	1,057	1,162	1,162	目標発達相談総件数に対する実際に実施した相談総件数の割合(%)	117.30			116.20	100.00
新規発達相談件数(件)	260	384	384	初回面接に係る日数(日)	45.40			52.00	30.00

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 引き続き相談業務の一部を委託するとともに、児童発達支援センターにおいても専門職を充実させ発達相談業務を実施しました。</p>	<p>・現状 本市の人口増加に伴い新規相談に合わせ、電話相談も引き続き増加しています。</p>
<p>・評価 相談申込の増加に伴い、申込から初回面接まで日数を要する課題は依然として残ってはいるものの、専門職による相談面接、各種検査のほか、必要に応じて医師による診察や助言を行い、乳幼児や保護者の心配に寄り添った丁寧な相談を実施しました。</p>	<p>・課題 新規相談の申込みから初回面接まで日数を要する課題は依然として残っています。継続面接においても、必要に応じてそれぞれの専門職のアセスメント面接を実施するため、全体的な予約枠が少なくなっています。対応する専門職、検査室を確保する必要があります。</p>
<p>・課題に対する改善点 子どもの発達に心配のある保護者に対し早期に相談を実施できるよう体制を築く必要があります。</p>	<p>・取組 各種相談室をパーティションで区切り、稼働できる部屋を確保することで相談枠を増やします。引き続き相談業務の一部を委託するとともに、児童発達支援センターにおいても専門職を充実させ発達相談業務を実施していきます。</p>

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

障害児通所支援事業	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを行う民間施設及びつばさ学園に対して、障害児福祉サービスに係る給付を行います。また、すべてのサービス利用者に障害児相談支援を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
障害者支援課	1,339,264		1,558,198		22,332	1,669,891	1,249,251	420,640
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
障害児通所支援支給決定者(人)	889	1,115	1,300	障害児通所支援事業所利用者(人)		10,076	12,641	15,000
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 保育所等訪問支援の利用に関して、関係機関との協議を行いました。また、障害児相談支援事業所の新たな開設はありませんでしたが、既存事業所の相談支援専門員の人数が増えました。				<p>・現状</p> 人口増加に伴い、障害児通所サービス受給者は増加し続けています。				
<p>・評価</p> 障害児通所サービス受給者の増加は著しく、個々の状況に合わせたサービス提供はできていませんが、障害児支援利用計画作成率は上がりませんでした。				<p>・課題</p> 保育所等訪問支援事業の利用については、引き続き関係機関との協議が必要です。また、適性なサービス提供を行うため、サービス提供事業所のスキルアップが求められます。				
<p>・課題に対する改善点</p> 保育所等訪問支援事業の利用について、関係機関との協議・検討を行っています。				<p>・取組</p> サービス提供事業所のスキルアップのための研修会を行います。また、保育所等訪問支援事業の利用について、関係機関との協議のうえマニュアル作りに取り組みます。				

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

障害者グループホーム等運営費補助事業	小規模なグループホームの運営費の一部を助成し、経営の安定化を図り、入居者の自立と社会参加の促進を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
障害者支援課	15,583		15,720		1,915	16,337	8,168	8,169
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
補助件数(件)	25	27	29	対象施設への入居者数(人)		100	103	106
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 施設利用者や対象事業所は増加していますが、正確な状況把握をして、適切な事務の執行を行いました。				<p>・現状</p> 施設利用者の増加は継続しており、対象事業所も市内外問わず増加しています。				
<p>・評価</p> 請求情報を基に利用者の入退去状況や事業者の請求状況を把握しました。				<p>・課題</p> 引き続き利用者や事業者の正確な状況把握が必要となっています。				
<p>・課題に対する改善点</p> グループホームの種別や定員等に係る情報についても、適宜確認し精査しました。				<p>・取組</p> 請求に係るデータ抽出を正確に行い、適性な事務執行を行います。				

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

児童発達支援センター整備費補助事業	障害児やその家族に対し専門的な支援を拡充するため、民設・民営の児童発達支援センターを令和6年度からの開設に向け、建設費の一部を補助するものです。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
障害者支援課	0		0		638	100,000	100,000	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				<p>・現状</p> 児童発達支援の必要なお子さんにそれぞれの特性を活かし支援を提供できるよう、事業者と協議していきます。				
<p>・評価</p> 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				<p>・課題</p> 既存の児童発達支援センターとの連携を綿密に行い、適切な福祉サービスを提供する必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				<p>・取組</p> 令和6年度の開設に向けて、適切にスケジュールを管理します。				

自立と社会参加の促進 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

障害者地域生活支援事業	障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援・手話等による意思疎通支援・日常生活用具の給付・訪問入浴サービス・地域活動支援センター等による支援を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
障害者支援課	169,660		159,166		29,333	189,104	114,124	74,980
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
委託相談員の人数(人)	5	5	6	相談支援を利用している障害者の人数(人)		2,790	2,870	2,910
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>相談支援体制の強化のため相談員を増やし、障害者やその家族からの相談に対し丁寧に対応できるよう体制整備に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>障害者の重度化、高齢化に加え、複合化・複雑化した課題を抱える方や世帯も増加しています。関係機関と連携した重層的な支援が必要であり、障害分野の相談員に求められる役割が大きくなっています。</p>				
<p>・評価</p> <p>市内3か所ある委託相談支援事業所のうち1か所の相談員を1名増員することで体制強化を図ることができましたが、各地域で体制強化する必要があります。</p>				<p>・課題</p> <p>複合化・複雑化した課題を抱える方の支援のため、各地域の相談支援事業所における体制強化、スキルアップが課題となっています。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>相談件数の増加や相談内容の複雑化に対応するため、相談員を増員し相談支援体制を強化しました。</p>				<p>・取組</p> <p>引き続き相談支援体制の強化のため相談員の増員を図ります。また、失語症のための意思疎通支援事業を開始します。</p>				

自立と社会参加の促進 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

障害者成年後見申立事業	成年後見制度が必要な知的障害者または精神障害者で、親族がない等の理由により申立てを行うことが困難な場合に市長が申立てを行い、制度の利用に繋がります。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用を助成することで制度の利用促進を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
障害者支援課	3,176		1,078		6,382	5,192	2,713	2,479
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
市長申立件数	2	3	2	報酬助成の金額(円)		2,025,000	1,053,000	5,016,000
報酬助成申請件数	8	5	16					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>市長申立てによる成年後見制度の利用が必要な障害者について、適切に状況を把握し、申立て手続きを行いました。また、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用を助成しました。</p>				<p>・現状</p> <p>親族がない等の理由により成年後見申立てを行うことが困難な場合に市長が申立てを行い、制度の利用に繋がっています。また、報酬助成の対象者を拡充し、市長申立て以外の成年後見人にも報酬助成を行います。</p>				
<p>・評価</p> <p>市長申立てについては、関係機関からの相談や要請に対し、状態把握に努め、適切に制度利用へとつなぐことができました。また、報酬助成の対象者の拡充については、関係課や関係機関との協議を行いました。</p>				<p>・課題</p> <p>成年後見制度の周知が徐々にすすみ、需要が高まることを見込まれます。引き続き市長申立てや報酬助成による支援を実施していく必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>報酬助成の対象者について協議を行い、令和5年度から市長申立て以外の成年後見人にも報酬助成を行うこととなり、成年後見制度の利用促進を図ることができました。</p>				<p>・取組</p> <p>成年後見制度に関する相談に適切に対応するとともに、報酬助成の対象拡充に関し、市ホームページ等での周知に努めます。</p>				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちづくりの進捗がとれていると回答した市民の割合	「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	52.1	52.8	55.5	%	↑
生活保護受給者数	社会福祉課	1,832	1,861	1,883	人	-

令和4年度の実績と評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 個人情報の取扱いをはじめ、支え合い活動に関するガイドブックを作成し、出前講座等を通じて活動の普及を推進しました。</p> <p>・評価 ひきこもりに関するアンケートを本人や家族だけでなく、民生委員・児童委員、介護・障害者支援事業者等も含めて実施し、状況の把握に努めました。</p> <p>・改善点 支え合い活動の継続、定着を図るための取組みを実施するとともに、今後も活動の普及に努めます。</p>	<p>・現状 市民が安心・安全に暮らせるよう、民生委員・児童委員、自治会等の地域の担い手や警察・消防等の関係機関と連携を図っています。</p> <p>・課題 複雑化・複合化した相談事例に対応できる重層的支援体制整備事業の導入に向けて準備を進めます。</p> <p>・取組内容 複雑化・複合化した相談事例に対応できる重層的支援体制整備事業の導入に向けて準備を進めます。</p>

地域福祉の推進 主管課：社会福祉課

福祉会館整備事業	市民の健康と福祉の増進を図るため、地域福祉活動の拠点としての福祉会館の改修を行います。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
社会福祉課	32,382	40,978		17,260	7,120	0	7,120
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
改修工事件数(件)	3	9	3	改修済工事件数(件)	3	9	3
				福祉会館延べ利用人数(人)	238,625	262,980	275,000
令和4年度の実績と評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 江戸川台福祉会館2階玄関ホールサッシ改修、下花輪福祉会館浴室ひび割れ及び塗装改修、東深井福祉会館ガラス飛散防止対策、名都借福祉会館空調設備改修、向小金福祉会館公共下水道接続工事、思井福祉会館屋上防水工事及び外壁塗装改修工事を実施しました。</p> <p>・評価 年度当初に予定していた改修工事等はすべて年度内に完了しました。また、突発的な修繕工事にも年度内に対応し、利用者の利便性向上を図りました。</p> <p>・課題に対する改善点 計画的に改修工事を進めていきます。</p>	<p>・現状 特殊建築物の定期報告調査の結果に基づき、必要な修繕及び工事を施行し年度内に完了するよう取り組みます。</p> <p>・課題 計画的に工事を進め、利用者が快適に施設を利用できるよう配慮します。</p> <p>・取組 下花輪福祉会館本館受水槽外部塗装工事、同館高圧気中負荷閉器更新工事、流山福祉会館1階、2階廊下カーペット工事を実施します。</p>						

地域福祉の推進 主管課：社会福祉課

地域支え合い活動推進事業	孤立死防止と災害時の支援のために、地域における日常からの支え合い・見守りを推進します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
社会福祉課	6,771	5,788		2,970	6,621	2,300	4,321
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
支え合い活動対象者名簿登録者数(人)	12,146	12,929	13,700	地域支え合い活動協力自治会等数(自治会等)	122	123	128
令和4年度の実績と評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、説明会等の開催に努めました。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染症の影響により、説明会等の開催が難しい中、資料等を送付するなど可能な範囲で活動の普及に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点 名簿を受領し活動する自治会に対し、協定を締結した年度及び後年度に係る活動の推進のため、報償費を支給しました。</p>	<p>・現状 75歳以上人口の増加により名簿登録者が増えているものの、まだ協定の締結に至っていない自治会があります。</p> <p>・課題 地域において支え合い活動の理解を普及するとともに、活動の継続、定着を図っていくための取組みを継続していく必要があります。</p> <p>・取組 地域での支え合い活動の取組みや、災害時の避難支援などの活動事例を紹介する機会を設けるなどし、孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進します。</p>						

生活困窮者支援		主管課：社会福祉課						
生活困窮者自立支援事業		生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行います。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
社会福祉課	34,594	36,375		6,578	38,715	27,803	10,912	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
自立支援相談件数(件)	312	205	200	プラン作成件数(件)		86	65	70
住居確保給付金支給件数(件)	124	36	30					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 関係機関と連携を図りながら、自立に向けた包括的・継続的な支援を行っていました。ひきこもりに関するアンケート調査を実施しました。				・現状 問題を抱える生活困窮者に対し、継続した支援を行います。				
・評価 生活の立て直しに向けた包括的・継続的な支援に努めました。ひきこもりに関するアンケート調査を実施しました。				・課題 様々な状況を抱えた生活困窮者の個々の状況を把握し、状況に応じた支援を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 生活困窮者の状況が様々であるため、個々の状況を把握したうえで、その状況に応じた支援を行う必要があります。				・取組 自立に向けた包括的・継続的な支援を行って行きます。ひきこもりに関するアンケート調査の集計を行います。				

生活困窮者支援		主管課：社会福祉課						
生活保護法等に基づく扶助事業		生活保護受給者に各種扶助(生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭)を適正に実施します。また、就労支援を始めとする自立支援プログラムの充実やハローワークとの連携により、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
社会福祉課	3,101,490	3,101,490		170,281	3,099,550	2,376,459	723,091	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
生活保護受給者数(人)	1,861	1,883	1,939	保護率(%)		0.90	0.89	0.92
自立支援プログラム相談回数(被保護者就労支援事業分)(回)	188	169	174	自立支援プログラム利用後、就労に至った人数(人)		1	0	3
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染症の影響により増加した生活困窮者に対し、地域包括支援センターや生活困窮者自立支援事業所と連携して支援を行いました。				・現状 生活保護受給者に各種扶助費の適正な支給に努めます。				
・評価 最後のセーフティネットとしての役割を果たしています。				・課題 就労支援をはじめとする自立支援プログラムの活用等を通して、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。				
・課題に対する改善点 必要に応じて生業扶助を活用して、スキルの向上を進めて行きます。				・取組 ハローワーク等、関係機関と連携して健康で文化的な最低限度の生活が保障されるように支援を行います。				

生活困窮者支援		主管課：社会福祉課						
被保護者健康管理支援事業		生活保護法に基づき、生活保護受給者へ経済的自立のみならず、医療と生活の両面から支援を行います。被保護者の生活習慣病等の予防や重症化を予防するため、レセプトデータを活用し、分析、健康課題を整理し、翌年度は、作成した資料を基に、個別支援計画を策定し、対象者への保健指導、生活支援を個別に実施します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
社会福祉課	2,090	2,090		638	0	0	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
健診受診勧奨者数(人)	1,398	1,472	1,516					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 新たにデータ分析を行い、事業対象者の抽出を行い、健診受診勧奨及び生活習慣病の改善に向けた取組みを行いました。				・現状 健康課題が確認できた被保護者に対して、保健師とケースワーカーが協力して、継続的に生活習慣病の改善を行っています。				
・評価 被保護者と協力して、一朝一夕では解決しない課題に根気よく対応しました。				・課題 長期的な支援が必要となっています。				
・課題に対する改善点 それぞれの健康状態の把握に努めました。				・取組 必要に応じ通院同行を行い、日常生活の自立を促進します。				

主管部局 総合政策部 施策の目的 すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	「平等感」における「平等である」の割合（まちづくり達成度アンケート） ※R2より新規取得	85.2	83.6	86.6	%	↑
外国人の人口	住民基本台帳人口	3,101	3,190	3,477	人	-

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 男女共同参画、多様性の理解を促進し、NPO法人等と連携、協力して、各事業を実施しました。女性の生き方相談の開設日を増やしたことで、より多くの相談を受けられる体制となりました。また、SDGsや男女共同参画、多文化、平和に関するポスター展を実施し、国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合や男女が平等に扱われていると思う市民の割合の増加に繋がる取組ができました。</p> <p>・評価 男女共同参画啓発講座を延べ17回、多文化共生に関する啓発イベント等を3回実施しました。また、SDGsや男女共同参画、多文化、平和に関するポスター展を実施し、国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合や男女が平等に扱われていると思う市民の割合の増加に繋がる取組ができました。</p> <p>・改善点 女性の生き方相談の開設日を月に3回から4回に増やしたことで、予約の問合せから相談日までの日数が短くなり、より多くの相談を受けることができるようになりました。</p>	<p>・現状 子育て世代をはじめ、年少人口、在住外国人が増加しています。こうした中、多様性を尊重し合う機運をさらに醸成するため、啓発活動を継続する必要があります。また、在住外国人や女性の不安や悩みを寄り添う相談窓口をNPO法人と連携して運営する必要があります。</p> <p>・課題 市民が多文化共生や平和、男女共同参画により興味や関心を持ってもらうために、事業の内容や周知方法の工夫改善が必要です。在住外国人向けに、やさしい日本語の普及促進を図る必要があります。また、平和の大切さについて考える機会の確保が必要です。4月1日に施行した流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例を周知する必要があります。</p> <p>・取組内容 流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例の周知啓発や男女共同参画啓発講座の内容充実を図るとともに、パートナーシップ制度を検討します。平和施策では、平和ポスター展や平和教室等による次世代を担う子どもたちをはじめ、幅広い世代と平和の尊さ、命の大切さを共有します。</p>

人権尊重・男女共同参画の社会づくり 主管課：秘書広報課、企画政策課

人権啓発活動活性化事業	法務省の人権啓発活動活性化事業の一環として、松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。また、小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて人権思想の普及啓発を図ります。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)		R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
秘書広報課	0		0		1,276		858	858	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)		主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
各種啓発イベントや講演会等の実施回数(回)	2	-	3		人権フェスティバルの参加人数(人)		273	-	300
					人権フェスティバル来場者アンケートで人権への関心が深まったと回答した割合(%)		92.60	-	93.00
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組	令和4年度は事業の実施はありませんでした。				・現状 松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて、人権思想の普及啓発を図ります。また、12月の人権週間では、「人権フェスティバル」を開催しています。				
・評価	令和4年度は事業の実施はありませんでした。				・課題 コロナ禍では、感染防止に配慮から小学校人権教室の開催が見送られました。そのため、開催時期、オンライン開催などの方法を検討しなければなりません。				
・課題に対する改善点	令和4年度は事業の実施はありませんでした。				・取組 これまで2月に実施していた小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を、各小学校と協議し、今年度は夏に実施します。また、12月の人権週間では、「人権フェスティバル」を開催していきます。				

人権尊重・男女共同参画の社会づくり 主管課：秘書広報課、企画政策課

男女共同参画社会づくり事業	第4次男女共同参画プランに基づき、市民及び職員等の男女共同参画意識の向上を図るための各種講座を実施するとともに、様々な悩みを抱える女性を対象に自らの力で問題を解決できるよう相談業務を実施します。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)		R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
企画政策課	4,038		3,762		6,382		4,819	0	4,819
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)		主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)	18	17	18		男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)		43.45	44.01	45.00
					審議会等委員に女性委員が占める割合(執行機関を除く附属機関等)(%)		40.37	38.66	40.00
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組	性別や年齢、障害の有無、人種、国籍などの違いにかかわらず、互いを理解し、違いや個性を認め合い、個々の人権を尊重するため、流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例を制定しました。第4次男女共同参画プランに基づき、啓発講座の内容充実を図るとともに、女性の生き方相談の実施回数を月3回から4回に増やしました。				・現状 令和4年度のまちづくり達成度アンケートの結果、市民の男女平等感はずかしく増加しましたが、項目別では社会通念・慣習での平等感が変わらず低い状況です。また、審議会等の女性委員が占める割合は目標値(40%)を下回りました。				
・評価	全ての市民が自分らしさを発揮できるまちの実現を目指し、新たな条例を制定しました。また、審議会等の担当課に対し、女性委員の比率向上に関する調査作成を依頼し、具体的な方策を検討する機会を設けました。啓発講座の内容について委託先と協議しながら実施し、参加者の高い満足度が得られました。				・課題 社会通念・慣習における男女平等感の向上のため、男女共同参画に関する周知啓発を継続するとともに、性別等の違いにかかわらず、多様性を理解するための普及啓発を行う必要があります。また、審議会等委員の女性委員割合の目標値を全庁で共有し、委員選任時には女性比率向上に向けた担当課での意識的な取組が必要です。				
・課題に対する改善点	社会通念・慣習における平等感の向上のため、男女の性別に関わりなく多様な生き方を理解し尊重するための施策に取り組み、啓発を行いました。審議会等委員の女性委員の比率向上に向けた対策等を担当課で検討するとともに、庁内全体の意識向上を図るため、情報共有を行いました。				・取組 流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例の周知啓発を行うとともに、多様性を尊重する新たな施策を検討します。改選予定の審議会等の担当課に対し、女性委員の比率向上の具体的な方策を検討する機会を設け、改選後は結果を検証します。また、第4次男女共同参画プランに基づき、啓発講座の内容充実を図ります。				

多文化共生社会づくり		主管課：企画政策課							
多文化共生推進事業	多文化共生社会の実現を目指し、在住外国人が安心して暮らせるように相談窓口を設置するとともに、多文化共生意識の醸成を図るための講座を実施します。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
企画政策課	1,521		1,359		4,467	1,475	1,474	1	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
国際理解サポートセンターへの相談件数(件)	46	46	50	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合(%)			83.60	86.60	87.00
国際交流に関する啓発イベントや講座の実施回数(回)	20	3	5						
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 在住外国人に寄り添った相談を行うことができるよう、国際理解サポートセンターを設置しています。NPO法人流山市国際交流協会に運営を委託し、相談窓口のほか、市民便帳の翻訳など、外国人住民が暮らしやすい環境整備に向けた取組を実施しました。				・現状 令和5年4月1日現在、在住外国人は、3,477人、2,545世帯です。令和5年度は引き続き国際理解サポートセンター運営等業務を委託しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた市民向け講座について、対面での実施を検討しています。					
・評価 市内2施設でポスター展を行い、広く市民に「やさしい日本語」についての周知を図りました。庁内職員向けの研修では、参加者から外国人住民との接し方について大変参考になったとの声が聞かれるなど成果が得られました。				・課題 市民が外国人住民に親しみをもち、多文化共生を意識できる取組を実施する必要があります。市が情報を発信する際に使用してほしい言語として「やさしい日本語」を選ぶ在住外国人も多く、今後も「やさしい日本語」の普及を促進する必要があります。					
・課題に対する改善点 在住外国人においては、市が発信する情報で使用してほしい言語として「やさしい日本語」を選ぶ人が多く、今後も「やさしい日本語」の普及を促進する必要があります。中止としていた対面での市民向け講座の実施により、市民の多文化共生意識の啓発を促進します。				・取組 国際理解サポートセンターにおいて、在住外国人だけでなく、地域における共生を推進するために国籍にかかわらず、寄り添った相談を行うことができるよう、受託者と連携します。啓発講座を実施するなど「やさしい日本語」の普及を促進する取組を検討します。					
平和施策の推進		主管課：企画政策課							
平和施策事業	平和都市宣言に基づき、次世代に平和への想いを繋ぐための活動として、平和大使の広島派遣、平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などの事業を実施します。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
企画政策課	2,281		3,163		2,553	2,372	800	1,572	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
平和施策に関するホームページの閲覧数(回)	1,022	1,998	2,100						
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 平和大使やユニセフ平和教室を通して、子どもたちが平和について学び、考える機会を提供しました。また、平和ポスター展を市内2施設で開催し、幅広い世代の市民に向けて、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える機会としました。				・現状 若い世代に平和の大切さや想いを繋ぐことについて、平和大使や平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などに継続的に取り組んでいきます。					
・評価 新型コロナウイルス感染症の影響により平和大使の広島派遣は中止しましたが、代替事業として平和学習会を実施し、多くの児童に平和について学ぶ機会を提供できました。ユニセフ平和教室に参加した児童からは、平和の大切さを考える良い機会だった等の好意的な意見をいただきました。				・課題 平和について考える機会を多く提供するとともに、平和の大切さについて考える機会の確保が必要です。また、ウクライナ情勢において、武力衝突が長期化する中で、市としてできる平和への取組について検討を要します。					
・課題に対する改善点 次世代に平和への想いを継承していくため、新型コロナウイルス感染症に対する新しい生活様式に応じた事業の実施方法を検討しました。また、ウクライナ情勢の終息が見えないことから、避難民への支援を延長することとしました。				・取組 平和大使や平和ポスター展などについて、ホームページや広報紙を活用して広く周知し、平和について考える機会を提供します。また、次世代に平和の想いをつなぐため、平和をテーマにしたポスター展を実施します。					

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）各年4月1日	35,834	36,994	38,314	人	-
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したもの（千葉県健康福祉部）※値はR1、R2、R3年のもの	1.59(※)	1.55(※)	1.56(※)		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	59.8	69.6	65.4	%	↑

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 新たな児童センターとして南流山児童センターを令和4年12月に開設しました。子どもの居場所づくりと子育て家庭をサポートする環境の充実を図りました。安心して子育てができるよう児童手当等の定められた経済支援を適正かつ正確に行いました。また、ひとり親家庭等に対して、自立した生活を送るために必要な情報提供及びサポートを行いました。児童虐待やDV防止対策等における相談体制の充実を図りました。</p> <p>・評価 令和4年4月1日現在、国基準で待機児童は3名となりました。保育所整備では、概ね予定どおり整備を行いました。令和4年12月に南流山児童センターを開設し、子どもの居場所づくりと子育て家庭をサポートする環境の充実を図りました。児童虐待の発見や支援につながるよう、関係機関の会議や研修会に参加し、共通認識を深めました。</p> <p>・改善点 南流山児童センター内に、子育て相談室を開設し、妊娠・妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない相談体制を整備しました。また、出産・子育て応援給付金事業を新たに実施し、すべての妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てが行えるよう、伴走型の相談支援と経済的支援として、妊娠・出産の届出をし、面談をされた方に、それぞれ5万円の給付金を支給する事業をスタートしました。</p>	<p>・現状 18歳未満人口は、令和4年4月時点で38,314人と対前年度1,320人増となりました。保育所整備は、認可保育所3箇所を整備する予定です。児童虐待の相談件数は、引き続き増加傾向が続いています。</p> <p>・課題 子育て世帯の増加などにより、保育需要は増加すると見込まれます。妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のないサポート環境の充実と、地域ぐるみで子育てをサポートする体制づくりが必要です。増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。</p> <p>・取組内容 子育てサポート体制の一環として「第2期子どもをみんなで育む計画」の改定に向けては、「こども基本法」（令和5年4月1日施行）を踏まえて、子どもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させるための取組を進めていきます。児童虐待やDV防止対策等における相談体制の充実及び関係機関との連携強化を図っていきます。</p>

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

児童館・児童センター整備事業	児童の健全な遊びの場を提供するため、令和4年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に、子育て支援施設（児童センター及び子育て世代活動支援センター）を整備します。なお、同施設に一体の複合施設として地域図書館を整備します。（令和3年度：建設工事/令和4年度：建設工事）						
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
子ども家庭課	123,260	123,260	12,764	0	0	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
おおたかの森児童センター整備工事進捗率(%)	-	-	-				
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)	67	100	-				
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 令和4年12月施設開館に向け、事故等の無いよう円滑な工事進捗を図りました。</p> <p>・評価 令和4年12月1日に、流山市立南流山地域図書館・流山市南流山児童センターが開館しました。</p> <p>・課題に対する改善点 各種中学校行事への影響を限りなく少なく出来るよう努めました。</p>	<p>・現状 令和4年度で事業が終了しました。</p> <p>・課題 令和4年度で事業が終了しました。</p> <p>・取組 令和4年度で事業が終了しました。</p>						

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

ファミリーサポートセンター支援事業	ひとり親家庭等の就労の支援および育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その利用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
子ども家庭課	18,588	18,588	4,247	19,090	11,800	7,290	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
ファミリー・サポート・センターの利用件数(件)	7,579	6,867	7,000				
ファミリー・サポート・センターの登録者数(人)	2,253	2,330	2,400				
令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 令和4年度からは、郵送でも取り扱えるように、ホームページ等に掲載して対応しました。</p> <p>・評価 ホームページ等で郵送の取り扱いを周知し、申請を受け付けることで、利用者の負担減を図ることができました。</p> <p>・課題に対する改善点 ファミリー・サポート・センター利用助成の登録申請は、窓口のみでの対応していましたが、多子養育者等からは子どもを連れての申請は負担であるとの声があります。</p>	<p>・現状 令和5年度も、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者、未就学児2人以上の多胎児を養育する方を対象に、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成します。</p> <p>・課題 利用助成の請求については、利用後1年以内の請求としていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があります。</p> <p>・取組 登録者を対象に、請求書の出し忘れ等に関する通知を送付します。</p>						

子どもを産み育てやすい環境づくり		主管課：子ども家庭課、健康増進課						
子ども医療費助成事業	保護者の経済的負担の軽減を図るため、本年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生から高校3年生までに拡充します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	949,827		1,009,908		12,764	1,086,956	372,390	714,566
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
子ども医療扶助の額(千円)	842,107	968,847	1,038,632	子育て支援サービスにより、子育ての不安や負担が軽減されていると感じますか(%)		71.30	65.20	70.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 保護者の経済的負担の軽減を図るため、中学校3年生までの子どもの医療費を助成しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 保護者の経済的負担の軽減を図るため、本年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生から高校3年生までに拡充します。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 対象となる保護者に対して、適正に助成を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 新たに助成を開始する高校3年生までの対象者に対して、適正に給付するよう規則改正をはじめシステム改修、償還払い、現物給付などの流れ等を確認する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 市民、議会から、助成の対象年齢を拡大する内容の要望が多く寄せられていたが、令和5年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生から高校3年生までに拡充することとしました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 課題にあげた内容について、関係部署や関係機関との協議を行い、8月から対象を拡充した内容で適正に助成を行っていきます。				
子どもを産み育てやすい環境づくり		主管課：子ども家庭課、健康増進課						
育児支援サービス事業	親族等から産前産後のサポートが受けられない妊産婦を対象に、市が委託する事業者が行う12時間分の育児支援や家事支援を自己負担なしで提供することにより、妊産婦の心身の負担の軽減を図るとともに、安心して出産及び育児ができる環境を確保するものです。(※組織改編による事業見直しにより、令和5年度より単独の事業となりました。)							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	56,126		0		0	6,190	2,106	4,084
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
申請者数(人)	-	278	300	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.70	93.40	94.00
延べ利用時間(時間)	-	1,470	1,500					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和5年度から単独事業				<ul style="list-style-type: none"> 現状 新型コロナウイルス感染症の影響や近くに親族がない等の理由により、産前産後に家族等からの支援が受けられず、産後の生活に不安を抱く妊産婦が増えています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和5年度から単独事業				<ul style="list-style-type: none"> 課題 妊娠早期から産後の生活に不安を抱く妊婦が増加しており、産後からの支援ではなく、妊娠中から産後の生活の不安軽減に向けての支援を行っていく必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 令和5年度から単独事業				<ul style="list-style-type: none"> 取組 母子健康手帳交付時の面談で全妊婦に対して事業を周知するとともに、家族からのサポートが得られず不安を抱えている妊産婦に対しては、事前の申し込みを促し、必要時に速やかに本事業を利用できるよう案内していきます。また、市からの支援が必要と思われる妊産婦がいた場合は、委託事業者と情報共有して早期に介入できるように努めていきます。				
子どもを産み育てやすい環境づくり		主管課：子ども家庭課、健康増進課						
子どもをみんなで育む計画推進事業	子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の策定された各種施策を推進し、本市における子ども子育て支援の一層の推進を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	1,101		1,101		19,146	8,408	1,500	6,908
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 第2期子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の見直しを行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 第2期子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の見直しに掲げている各種施策を推進し、子育て支援の充実に努めます。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和4年12月に、第2期子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の見直し版が完成しました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 第3期子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の策定にあたり、ニーズ調査や子どもの生活実態調査を実施する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 計画を策定する中で、子ども・子育て会議を円滑に進めることができ、期間内に見直し版を完成させることができました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 ニーズ調査や子どもの生活実態調査と合わせて、子どもや若者の意見を聴取する仕組みづくりの構築に努めます。				

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

妊娠・出産・子育てサポート事業	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援プランをもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、支援を行います。各種事業を実施することで、子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図ります。（※組織改編による事業内容の見直しを行い、再編している。）							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与と費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	0		47,889		55,229	257,354	33,390	223,964
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
妊婦面談率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.00	93.40	94.00
				育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		82.00	76.43	78.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 母子健康手帳交付時に専門職による面談を行い、妊娠早期からの情報提供や支援の必要な方の把握に努めました。令和4年度から「育児支援等サービス事業」を開始し、産前産後に家族等からの支援が得られず不安を抱える妊産婦への家事及び育児支援等のサービスの提供を実施しました。また、南流山センター内に新たに子育てなんでも相談室を開設しました。				・現状 妊娠からの切れ目のない支援の中で、母子健康手帳交付時面談を始め、各種事業等の妊産婦と接する機会をとらえ、その都度状況把握や困り事などの確認によりアセスメントをしていることから、支援を要すると思われる妊産婦の増加が見られます。				
・評価 母子健康手帳交付時面談100%を実施し、妊婦の状況把握や必要な情報提供および支援を早期に実施しました。育児支援等サービス事業の実施により、産前産後に妊産婦の身体的・心理的負担軽減を図ることができました。南流山センター内に子育てなんでも相談室を開設し、より身近で相談に応じることで支援体制の強化を図りました。				・課題 支援を要する妊産婦は、産前産後のサポート不足や、周囲に知り合いのいない孤立感、初めての育児に対する不安感など様々な理由により、支援が必要となっていることから、個々の状況に応じた社会的資源の提供や支援が必要です。				
・課題に対する改善点 支援を要する妊産婦が増加しているため、個々の状況に応じた支援を提供し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、妊娠からの切れ目のない支援体制の更なる強化が必要です。				・取組 身近な相談先である保健センターと南流山センター内の子育てなんでも相談室が、支援を必要とする方への対応が早急にできるよう、関係機関とも連携し更なる支援体制の強化を図ります。				

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

出産・子育て応援給付金事業(子ども家庭課)	令和4年度第2次補正予算の閣議決定により、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行うことを目的とした「出産・子育て応援給付金」が創設されたことに伴い、妊婦等に対し、合計10万円相当の経済的支援を行うもの。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与と費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	0		256,211		12,764	305,650	265,310	40,340
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
出産・子育て応援給付金扶助費の額(千円)	-	1,450	240,000	子育て支援サービスにより、子育ての不安や負担が軽減されていると感じますか。(%)		71.30	65.20	70.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和4年4月以降に、妊娠・出産の届出をし、面談された方に対して、それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を支給しました。				・現状 安心して、妊娠や子育て世帯が安心して出産・子育てが行えるよう、伴走型の相談支援とともに、妊娠・出産の届出をし、面談された方に対して、それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を支給しています。				
・評価 申請者に対して、適正に「出産・子育て応援給付金」の支給を行いました。				・課題 健康福祉部と役割分担をして事業を進めていますが、今後も関係各課等と密に連携を図りながら事業を進めていく必要があります。				
・課題に対する改善点 当該事業については、健康福祉部と役割分担をし、連携を図りながら、伴走型の相談支援とともに給付金の事業を進めました。今後も関係各課等と密に連携を図りながら事業を進めていく必要があります。				・取組 妊娠・出産の届出をし、面談された方に対して、それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を適正かつ迅速に支給します。				

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

出産・子育て応援給付金事業(健康増進課)	全ての妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境整備を目的に、妊娠から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与と費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
健康増進課	0		4,429		56,203	16,459	13,030	3,429
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
母子健康手帳交付時面談実施率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.66	93.40	94.00
妊娠7・8か月時アンケート回収率(%)	-	56.93	80.00					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和5年3月1日を事業開始日とし、遡及対象者を始め、伴走型相談支援の対象者への通知や支援が速やかに行えるよう、給付を担当する子ども家庭課と連携し、母子健康手帳交付時に給付金の申請書の配布や、妊娠7・8か月の妊婦へのアンケートの送付など、妊産婦への伴走型相談支援を開始しました。				・現状 遡及対象者への申請書等の送付は終了しました。令和5年3月1日以降は、母子健康手帳交付時や出産後の訪問時に申請書を配布しています。また、妊娠7・8か月の妊婦へのアンケートの送付も開始しています。				
・評価 遡及対象者への通知を3回に分けて送付することで、転出入の状況や、出産直後の方等の対象者に適した内容のものを通知することができました。				・課題 妊娠7・8か月のアンケート送付により、妊婦の産前の状況を把握する機会が増えたため、妊婦のニーズを適切に把握し、個々の状況に応じた支援を開始していく必要があります。				
・課題に対する改善点 「伴走型相談支援」と「出産・子育て応援給付金」を組み合わせる形で、全ての妊婦・子育て世帯のニーズに即した効果的な支援となるよう、確実に支援が必要な世帯に対し、早期に支援を開始していく必要があります。				・取組 新たに開始した、妊娠7・8か月アンケートにより、出産前から支援の必要な方を把握し、早期に介入することで、安心して出産・子育てを迎えられるよう支援していきます。				

保育サービスの充実		主管課：子ども家庭課、保育課						
送迎保育ステーション事業	流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
保育課	100,453		100,454		2,553	96,212	47,169	49,043
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)	2	2	2	延べ利用数(人)		13,546	14,571	17,000
送迎バスの台数(台)	8	8	8	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		3	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 昨年と同様に、市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎しました。				・現状 待機児童については低い水準を維持しておりますが、本事業が無ければ保育施設への通所が難しい児童は存在しているため、引き続き事業が必要です。				
・評価 新型コロナウイルス感染症対策に努め、陽性者が出た場合は速やかに運行を休止し、安全に配慮した上で、保護者の送迎における負担軽減に努めました。				・課題 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらの児童の安全な移送の確保が課題となります。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらの児童の安全な移送の確保が課題となります。				・取組 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。				

保育サービスの充実		主管課：子ども家庭課、保育課						
病児保育事業	保育所等に通所中の児童が、病氣中・病氣回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
保育課	56,505		83,512		2,553	65,257	28,530	36,727
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
病児及び病後児保育実施園数(園)	4	3	3	利用者数(年度ごと延人数)(人)		72	173	200
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 感染症を拡大することなく、かつ可能な限り多くの方が利用できるような預かり条件について検討を行いました。				・現状 預かり対象については段階的に拡大しているものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準には至っていません。				
・評価 3施設で段階的に預かり対象を拡大し、利用者数を目標指標値に近づけることができました。				・課題 令和5年5月8日より新型コロナウイルスが第5類へ引き下げされることに伴い、預かり対象拡大について検討を行います。				
・課題に対する改善点 預かり対象については段階的に拡大しているものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準には至っていません。				・取組 預かり対象を拡大し、より多くの方が利用できるよう引き続き検討を行います。				

保育サービスの充実		主管課：子ども家庭課、保育課						
保育所改修事業	老朽化している公立保育所5施設の長寿命化と入所児童や職員が安全かつ快適に保育できるよう施設改修を実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
保育課	17,914		16,706		849	26,000	0	26,000
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
改修箇所数(箇所)	3	2	2	公立保育所利用者数(4月1日)(人)		521	509	600
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 中野久木保育所及び江戸川台保育所の空調機について、老朽化に伴う更新工事を実施しました。				・現状 平和台保育所及び向小金保育所の空調機について、設置から17年以上経過しています。				
・評価 中野久木保育所及び江戸川台保育所で安全かつ快適な保育が出来る環境整備が図られました。				・課題 老朽化した空調機の空調効率が悪くなっています。				
・課題に対する改善点 引き続き計画に沿って、老朽化した空調機の更新をしていきます。				・取組 空調機について、計画的に更新していきます。				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

私立保育所等運営補助事業	保育士の確保や保育の質の向上を図るため、私立保育所等を設置運営する社会福祉法人等に対し補助金を交付します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
保育課	2,585,658		2,576,343		29,750	2,537,445	639,878	1,897,567
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
補助施設数(件)	87	96	101	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		3	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 医療的ケア児保育支援事業補助金を新設し、医療を要する状態にある児童を保育所等が受け入れられる体制整備の構築を図りました。				<p>・現状</p> 送迎用バスの安全装置の設置を推進します。				
<p>・評価</p> 医療的ケア児が私立保育所等の利用を希望する場合に受入れが可能となるよう、私立保育所等の体制を整備するために必要な経費に係る補助金を新設しました。				<p>・課題</p> 送迎用バスに安全装置の設置を支援する体制整備の構築が必要です。				
<p>・課題に対する改善点</p> 引き続き保育所等と連携し、医療的ケア児の保育の支援に努めていきます。				<p>・取組</p> 保育所等と連携し、送迎用バスに安全装置を速やかに設置できるようにします。				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

私立保育所整備補助事業	待機児童の解消を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	972,627		479,080		19,146	828,434	591,551	236,883
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
整備箇所数(か所)	8	2	3	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		3	-	-
整備により増加した定員数(人)	740	135	210					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めました。				<p>・現状</p> 待機児童の解消を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助しています。				
<p>・評価</p> 市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助しました。				<p>・課題</p> 多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 多様な保育ニーズに対応するため、医療的ケア児を受け入れることが出来る認可保育所の整備を行いました。				<p>・取組</p> 質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めます。				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

小規模保育事業所整備補助事業	多様な保育ニーズにきめ細かく対応するため、市内に定員19名以内の小規模保育事業所を整備する事業者に対して、費用の一部を補助します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	26,890		0		0	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
整備箇所数(か所)	1	-	-	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		3	-	-
整備により増加した定員数(人)	18	-	-					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 令和4年度は、保育ニーズ等の状況から、小規模保育事業所の整備は行いませんでした。				<p>・現状</p> 令和5年度も引き続き、小規模保育事業所の整備は実施しない予定です。				
<p>・評価</p> 小規模保育事業所の整備は行っていないが、待機児童がゼロになりました。				<p>・課題</p> 令和5年度も引き続き、小規模保育事業所の整備は実施しない予定です。				
<p>・課題に対する改善点</p> 保育ニーズをしっかりと把握することで、小規模保育事業所の整備は行わずに、待機児童がゼロになりました。				<p>・取組</p> 令和5年度も引き続き、小規模保育事業所の整備は実施しない予定です。				

学童クラブの充実		主管課：教育総務課、学校施設課						
学童保育運営事業	就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
教育総務課	162,146		123,293		9,995	189,889	109,773	80,116
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
研修開催件数(件)	1	2	2	学童クラブの延べ利用人数(人)		28,934	33,638	38,000
				放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		26,992	50,983	80,545
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、支援員の質の向上に努めました。				・現状 学童クラブの利用者は増え続けており、今後も入所希望が増加すると考えられます。				
・評価 研修を通して、支援員の学童クラブ運営に対する知識や技術を深めることが出来ました。キャリアアップ処遇改善事業と臨時特例処遇改善事業により、職員の賃金改善を行うことが出来ました。				・課題 支援員が抱える現場の課題は多く、更なる研修の必要があります。また、支援員の安定的な確保のために、継続的な処遇改善に努める必要があります。				
・課題に対する改善点 研修内容について、事前に法人から要望を聞いたことで、効果的な研修を行うことが出来ました。				・取組 引き続き、支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に努めます。				

学童クラブの充実		主管課：教育総務課、学校施設課						
学童クラブ施設整備事業	児童数の増加に対応するため、令和6年4月に開校予定の市野谷小学校区及び南流山第二小学校区に学童クラブを創設します。また、ひよどり学童クラブの下水道設置工事を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
教育総務課	76,243		48,949		7,548	496,387	402,563	93,824
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
学童クラブの整備後の定員数(人)	3,240	3,240	3,748	待機児童数(3月末)(人)		-	-	-
学童クラブの整備後の施設数(施設)	37	37	39					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和6年度開所予定の学童クラブについて整備を行いました。(令和4年度から令和5年度の継続事業)				・現状 令和6年4月に開所予定の市野谷小学校区学童クラブ及び南流山第二小学校区学童クラブの整備が必要です。				
・評価 遅滞なく整備を進めることが出来ました。				・課題 学校施設の整備と同時にを行うことから、各機関と調整をとりながら計画的に進めて行く必要があります。				
・課題に対する改善点 引き続き、令和6年度の開所に向けて整備を進めていきます。				・取組 各種工事を遅滞なく終わらせるとともに、学童クラブに必要な備品等を整備し、令和6年度の開所を迎えられるよう整備を進めていきます。				

養育環境への配慮		主管課：子ども家庭課						
ひとり親家庭等生活向上事業	子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	56,751		53,810		9,573	57,086	0	57,086
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
利用者数(人)	115	122	130	学習の習慣が身についたと回答した児童数(%)		68.20	58.60	70.00
協力塾数(件)	65	64	70	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		77.30	82.80	80.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 協力塾の負担を軽減するために、報告書等の簡素化に努めました。				・現状 子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校2年生及び中学校3年生の子どもが学習塾に通えるよう支援します。令和4年度からは、夏期間及び冬期間についても、追加で支援します。				
・評価 報告書等の押印を省略するなど、簡素化に努めました。				・課題 利用できる子どもを増やすために、協力塾を増やします。				
・課題に対する改善点 利用できる子どもを増やすために、協定塾を増やします。				・取組 報告書等の簡素化に努めるとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けていきます。				

養育環境への配慮		主管課：子ども家庭課						
要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、子どもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
子ども家庭課	5,581		5,395		76,486	10,589	3,692	6,897
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
安全確認件数(%)	99	99	99	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		89	91	91
研修開催回数(回)	2	2	1					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるように専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行いました。				・現状 児童虐待の相談対応件数は、引き続き増加傾向にあります。地域や関係機関において、児童虐待の早期発見に関する認識は高まっています。				
・評価 専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、関係機関との情報共有・連携や研修会・個別支援会議を開催しました。				・課題 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し、子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。				
・課題に対する改善点 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。				・取組 子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるように専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図ります。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行います。				
青少年の健全育成の促進		主管課：生涯学習課						
青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。また、ネットパトロールを実施し、青少年がSNS等ネット上でのトラブルに巻き込まれないよう見守りをします。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
生涯学習課	5,253		5,202		3,843	5,411	0	5,411
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
相談件数(件)	57	55	-					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和4年度は、より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、通常の相談(月～金曜日の平日)に加え、休日に特別相談窓口(計6日)を開設しました。また、相談窓口を広く周知するため、相談室だより「はなみずき」を新たに発行しました。				・現状 休日に特別相談窓口を開設するなど、新たな取り組みを行いました。相談件数の増加には結びつかなかったのが現状です。				
・評価 休日に特別相談窓口を開設し、相談機会の拡充に努めましたが、相談件数には結び付きませんでした。				・課題 より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じて、適切な相談窓口への案内ができるよう、関係機関との連携を強化する必要があります。				
・課題に対する改善点 市民に気軽に利用していただけるよう、相談室だより「はなみずき」や青少年指導センターだよりなどに青少年相談に関する記事を掲載し、相談窓口の更なる周知に努めます。				・取組 引き続き、学校や他機関との連携を図ることで、きめ細やかな対応に努めます。また、広報ながれやま、市ホームページに加え、相談室だよりなどを積極的に活用し、通常の相談や特別相談窓口の周知に努めます。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R2実績	R3実績	R4実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	実施なし	71.0 64.0	67.0 58.3	%	
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒 5月1日時点	11,775 4,605	12,356 4,750	12,979 4,915	人	-
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）（2月（※令和4年度は3月集計））※小学校、中学校	3,037 315	5,765 594	4,954 475	件	↓

令和4年度の取組みと評価・改善点	令和5年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 6月、11月の「いじめ認知アンケート」で認知するだけでなく、いじめを未然に防ぐために、いじめについての特別授業を小学校、中学校で行いました。全国学力・学習状況調査の分析方法と活用方法、効果的なICT教育について、教務主任研修会を行い授業改善につなげました。</p> <p>・評価 いじめは、根の小さいうちに対応する必要があることから、小さなトラブルでもいじめの根源と考え、積極的に認知を行い、トラブル解消に努めてきました。全国学力・学習状況調査の分析を行い、分析結果を授業改善に活用することができました。</p> <p>・改善点 今後も引き続き、積極的にいじめ認知を行うとともに、重大な事案とならないよう迅速に対応し、早期発見・早期解決に努めていく必要があります。</p>	<p>・現状 児童数の増加といじめの積極的な認知に伴い、近年のいじめ認知件数は以前に比べ高い水準にあります。全国学力・学習状況調査については、千葉県総合教育センターが開発している分析ツールを全校が活用し、分析結果をもとに授業改善に取り組むように周知しています。</p> <p>・課題 積極的にいじめ認知を行い、早期発見、早期解決につなげることが課題です。全国学力・学習状況調査については、記述式における無解答率が高いことが課題であるため、無解答率や誤答率の高い問題に着目して分析を行う必要があります。</p> <p>・取組内容 6月、11月の「いじめ認知アンケート」で認知するだけでなく、いじめを未然に防ぐために、いじめについての特別授業及び教員への研修を小学校、中学校で行います。全国学力・学習状況調査については、教務主任・研究主任を対象に分析や活用に関する研修会を開催し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善につなげます。</p>

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校英語活動推進事業	R4当初予算							R4決算見込		R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源	
担当課	65,039							64,355		0		65,415		0		65,415	
指導課	65,039							64,355		0		65,415		0		65,415	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標				R3実績	R4実績	R5目標							
小学校ALT配置数(人)	9	10	10	英語教育実施状況調査(文部科学省)におけるALT等の活用状況(%)				98	98	98							
英語活動指導員の指導時間の合計(時間)	10,437	11,760	11,830														
令和4年度の取組みと評価・改善点										令和5年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 外国語担当者及び英語活動指導員、外国語指導助手(ALT)の研修を年複数回実施しました。</p> <p>・評価 英語活動指導員とALTが学級担任とよく連携し、工夫を凝らした授業、協働学習と個別最適化の学びの実現に向けて取り組みました。</p> <p>・課題に対する改善点 学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語活動とICTの活用を踏まえた研修を充実させます。</p>										<p>・現状 毎回の授業の型が定まってきて、どの学校も授業の質が高まってきました。</p> <p>・課題 授業の指導目標は提示されていますが、評価を行うことができていない。</p> <p>・取組 指導と評価を一体化するために、授業訪問や研修会を通じて、課題を改善していきます。</p>							

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校教育指導運営事業	R4当初予算			R4決算見込		R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源	
担当課	20,698			20,429		21,754		27,609		0		27,609	
指導課	20,698			20,429		21,754		27,609		0		27,609	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標				R3実績	R4実績	R5目標			
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.50	1.50	1.40	小学校図書貸出冊数(11月)(冊)				25,400	30,000	30,500			
令和4年度の取組みと評価・改善点										令和5年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 学校図書館司書リーダーにより、経験の浅い司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、児童の読書活動を推進しました。</p> <p>・評価 学校図書館司書リーダーが新任司書を巡回し、指導・助言を行い、スキルアップを図りました。専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、児童の読書活動を推進しました。</p> <p>・課題に対する改善点 学校図書館リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。1校に1人の司書の配置に向け、研修していきます。</p>										<p>・現状 学校図書館司書の配置により、専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、児童の読書活動を推進しています。</p> <p>・課題 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の実、学校図書館司書の増員を図る必要があります。</p> <p>・取組 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指します。探究的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。</p>			

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

中学校 A L T 配置事業	外国語指導助手（A L T）を中学校全校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
指導課	40,319		40,623		0	41,256	0	41,256	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
中学校 A L T 配置数(人)	9	9	10	英語教育実施状況調査(文部科学省)における A L T 等の活用状況(%)			61	62	70
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 学習指導要領における評価方法、ICTの活用における研修を充実させました。				・現状 タブレット端末の使用頻度が高まってきました。一方で、どこでICTを活用すると効果的なのか、生徒が英語を使う場面に適しているかを考える必要があります。					
・評価 タブレット端末やデジタル教科書を活用した授業展開が増えてきました。				・課題 英語を活用するという視点において、目的・場面・状況の設定をすること、ICTの活用のタイミングはどこがよいのか、その評価をどのようにするのかという課題があります。					
・課題に対する改善点 生きた英語に触れるとともに、実際に英語を活用するという観点から、英語でコミュニケーションを行う機会の充実を図ります。				・取組 英語を聞く、話すという取り組みを強化するとともに、授業訪問や研修会で改善をしていきたいです。					

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探求的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
指導課	14,995		14,530		14,068	17,741	0	17,741	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.80	1.70	1.40	中学校図書館貸出冊数(11月)(冊)			19,468	25,000	26,000
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 学校図書館司書リーダーにより、経験の浅い学校図書館司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、生徒の読書活動を推進しました。				・現状 学校図書館司書の配置により、専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、生徒の読書活動を推進しています。					
・評価 学校図書館司書リーダーが新任司書を巡回し、指導・助言を行い、スキルアップを図りました。専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、生徒の読書活動を推進しました。				・課題 さらなる読書推進や探求的な学習の実現を目指し、図書の実質、学校図書館司書の増員を図る必要があります。					
・課題に対する改善点 学校図書館司書リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。				・取組 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指します。探求的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。					

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校(小学校2校または1校、中学校1校)とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
指導課	7,947		6,961		5,106	8,283	4,988	3,295	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
市内各中学校区本部設置数(校)	9	9	10	地域による学校支援年間参加延べ人数(1月まで)(人)			51,603	51,705	65,000
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 学校支援コーディネーターのサポートとコミュニティ・スクール導入の推進に取り組んでいきます。				・現状 学校支援コーディネーターが各校で積極的な取り組みを見せています。コーディネーター同士の情報共有もよく行われています。					
・評価 学校支援コーディネーターの尽力で、地域の人材を活用し、開かれた学校作りを進めています。				・課題 コミュニティ・スクールを新たに導入すること、その運営方法を確立していくことです。					
・課題に対する改善点 令和4年度は新たに2中学校区でコミュニティ・スクールの導入が予定されているので、協働活動との連携を推進していくことが課題です。				・取組 学校訪問や研修会を通して、各校の実態を把握して、さらなる改善に努めていきます。					

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

学校水泳指導等支援事業	児童の体育の授業における水泳指導について、業務委託することによりプール施設、指導業務、移動手段を確保し、円滑な水泳指導に資することを目的として実施します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	0		5,039		12,764	22,470	0	22,470
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
民間委託実施校数(校)	-	1	6	一人当たりの実施回数(回)		-	3	3
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 モデル校として10月に1校実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 昨年度1校で実施したことが良い評価であったため、今年度は新たに5校追加して、6校で実施することとした。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 児童からは、水泳授業がより充実した内容であったと高い評価を得ました。教職員からは、施設管理面の運営負担が軽減されました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 令和6年度以降の事業拡大を見据えて、より多くの委託業者の開拓が必要であると考えます。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 				<ul style="list-style-type: none"> 取組 学校施設課と連携し、できる限り学校から近い場所で実施可能な委託業者を増加させていきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

ICT学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	453,077		722,612		12,764	490,354	87,010	403,344
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	16,995	17,995	18,950	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		1	1	1
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 昨年度までに引き続き、オンライン配信や学習指導において活用を行っていました。今後も1人1台端末の積極的な活用を進めていきます。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 学習内容に即して積極的に活用できています。今後も積極的な活用と、発展的活用を進めていきます。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 1人1台端末を積極的に活用した学習指導を実施することができました。また、プログラミング教育のために活用をすることもできました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 教科に応じた適切な使い方(事例)を蓄積していきます。プログラミング教育についても、事例を蓄積し流山独自のカリキュラムを作成していきます。タブレット端末導入から4年目となり、メーカーの提示するバッテリー耐用年数にさしかかってきました。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 同時に多数のタブレット端末を使用すると通信状況が滞り、教職員の校務や児童生徒の学習に支障が生じます。これについては、GIGAスクール構想業務委託事業の構内LANの増設により対応予定です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 今年度は学習指導において、発展的活用を進めていきます。さらに、ソフトのバージョンアップがあった際は、研修を活用し随時各学校に周知して、利活用を高めていきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校校舎等改修事業	小学校施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している部分を改修し、教育環境の向上を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	106,666		647,275		6,382	107,559	107,559	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
長崎小学校エレベーター増設に係る設計業務の進捗率(%)	-	30	100	長崎小学校エレベーター整備基数(1基)		-	-	1
				ロッカー改修率(%)		-	-	12.80
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 経年劣化に対応した校舎等の改修に加え、おたかの森小学校における火災復旧及び屋内運動場への空調機設置に着手しました。また、長崎小学校へのエレベーター増設によるバリアフリー化促進への設計業務を進めました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 長崎小学校へのエレベーター増築、教室ロッカーの改修及び設置工事を実施します。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 火災復旧につきましては年度内での対応を終えましたが、屋内運動場への空調機設置につきましては、年度を越えた対応となりました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 学校運営に支障がないよう、工事を進める必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 屋内運動場への空調機設置につきましては、学校運営しながらの施工となるため学校との十分な調整が必要です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 発注者、施工者及び学校との協議により各種調整を実施します。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

中学校校舎等改修事業	中学校施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している部分を改修し、教育環境の向上を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	78,760		380,944		6,382	99,969	99,969	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
東深井中学校エレベーター増設に係る設計業務の進捗率(%)	-	30	100	東深井中学校エレベーター整備基数(1基)		-	-	1
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>経年劣化に対応した校舎等の改修に加え、屋内運動場への空調機設置に着手しました。また、東深井中学校へのエレベーター増設によるバリアフリー化促進への設計業務を進めました。</p>				<p>・現状</p> <p>東深井中学校へのエレベーター増築を実施します。</p>				
<p>・評価</p> <p>屋内運動場への空調機設置につきましては、年度を越えた対応となりました。</p>				<p>・課題</p> <p>学校運営に支障がないよう、工事を進める必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>屋内運動場への空調機設置につきましては、学校運営しながらの施工となるため、学校との十分な調整が必要です。</p>				<p>・取組</p> <p>発注者、施工者及び学校との協議により、各種調整を実施します。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

給食室等改修事業	学校給食施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している部分を改修し、調理環境の向上を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	132,120		454,509		15,955	24,221	24,221	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
給食室への空調設備設置学校数	2	10	-	長崎小学校給食室建替え工事の進捗率(%)		5	100	-
				給食室への空調設備整備率(%)		47	100	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>全給食室及び調理場への空調機設置工事及び、長崎小学校給食室の建替え工事を完了させました。</p>				<p>・現状</p> <p>給水給湯管の改修工事及び給排気ファン、給湯器、小荷物昇降機、グリストラップの更新工事を実施します。</p>				
<p>・評価</p> <p>長崎小学校給食室建替えについて、令和5年度から供用開始することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>給食室の運営に支障がないよう、工事を進める必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>施工中に発生する不測の事態への冷静な判断が求められます。</p>				<p>・取組</p> <p>発注者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施します。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

新設小学校(おたかの森地区)建設事業	おたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて、当該地区に市野谷小学校の建設を進めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	1,297,102		603,600		25,528	3,730,076	3,730,076	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				設計業務の進捗率(%)		37	100	-
				工事の進捗率(%)		-	11.50	100.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>設計業務委託者と協議をし、進捗状況を管理しました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和6年4月開校に向け、工事を進めていきます。</p>				
<p>・評価</p> <p>工事発注にあたり、実施設計を遅滞なく進めることができました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和6年4月開校に間に合うよう工事を実施します。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。</p>				<p>・取組</p> <p>工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行います。</p>				

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部	
南流山中学校移転事業		南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を東洋学園大学旧校舎へ移転して、令和6年4月から中学校として供用するための整備を進めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
学校施設課	369,095		238,459		15,149	2,788,758	2,788,758	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標	
				設計業務の進捗率(%)		26.76	100.00	-	
				工事の進捗率(%)		-	0.29	100.00	
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 設計業務委託者と協議し、進捗状況を管理しました。					・現状 大学校として供用されていた施設を中学校仕様へ改造する必要があります。				
・評価 工事発注にあたり、実施設計を遅滞なく進めることができました。					・課題 令和6年4月開校に間に合うよう工事を実施します。				
・課題に対する改善点 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。					・取組 工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行います。				

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部	
新設小学校(南流山地区)改修事業		南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修して、令和6年4月から南流山第二小学校として開校するための整備を進めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
学校施設課	16,991		11,011		6,382	145,953	145,953	0	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標	
				設計業務の進捗率(%)		-	100	-	
				改修工事の進捗率(%)		-	-	100	
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 設計業務が完了し、工事の発注を行いました。					・現状 改修工事を施工しています。				
・評価 計画通り工事発注することができました。					・課題 中学校を運営しながらの施工となるため、生徒・教職員の安全の担保が重要です。				
・課題に対する改善点 設計業務委託者との連絡及び調整を密に行い、よりスケジュールに余裕をもつことが必要です。					・取組 作業エリアには遮音性のある仮間仕切りを設置し、生徒・教職員と工事関係者が交錯しないよう努めます。				

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部	
担任サポート教員配置事業		学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
学校教育課	49,669		37,746		3,832	27,571	0	27,571	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標	
担任サポート教員配置数(人)	12	12	9						
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めました。					・現状 令和4年度当初、令和5年度は12名の配置を予定しておりましたが、児童生徒数が推計値より少なかったため、9名の配置となりました。				
・評価 適正な配置人数である12名を確保しました。					・課題 令和7年度までに施設整備を進め、国の学級基準の35人学級を実施していきます。				
・課題に対する改善点 当初16名の配置を予定しておりましたが、児童生徒数が推計値より少なかったため4名の配置が必要なくなりました。					・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めます。				

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部		
南流山中学校移転先用地・建物買取事業	南流山中学校の移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。									
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源		
学校施設課	582,384		575,107		6,382	901,727	901,727	0		
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標		
				用地取得率(%)		-	-	-		
				建物取得率(%)		31.33	59.00	100.00		
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理しました。					・現状 中学校移転のため、建物を取得します。					
・評価 財産活用課と情報を共有し進めることができました。					・課題 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。					
・課題に対する改善点 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。					・取組 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。					

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部		
新設小学校(南流山地区)整備事業	南流山地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う。また、開校後に新たに必要となる消耗品についても整備を行います。									
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源		
教育総務課	0		0		3,214	23,373	23,373	0		
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標		
入札件数(件)	-	-	8	消耗品の充実割合(%)		-	-	100		
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・現状 南流山地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。					
・評価 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・課題 南流山地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を整備する必要があります。					
・課題に対する改善点 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・取組 南流山地区に新規開校する小学校の開校時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。					

教育環境の整備								主管課：教育総務部、学校教育部		
新設小学校(おたかの森地区)整備事業	おたかの森地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う。また、開校後に新たに必要となる消耗品についても整備を行います。									
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源		
教育総務課	0		0		3,214	23,261	23,261	0		
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標		
入札件数(件)	-	-	8	消耗品の充実割合(%)		-	-	100		
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・現状 おたかの森地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。					
・評価 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・課題 おたかの森地区に新規開校する小学校の開校前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う必要があります。					
・課題に対する改善点 令和4年度は事業の実施がありませんでした。					・取組 おたかの森地区に新規開校する小学校の開校時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。					

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

南流山中学校移転整備事業	東洋学園大学旧校舎に移転される南流山中学校の供用開始前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う。また、供用開始後に新たに必要となる消耗品についても整備を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
教育総務課	0		0		3,214	18,119	18,119	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
入札件数(件)	-	-	8	消耗品の充実割合(%)		-	-	100
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和4年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・現状</p> <p>東洋学園大学旧校舎に移転される南流山中学校の供用開始前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。</p>				
<p>・評価</p> <p>令和4年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・課題</p> <p>東洋学園大学旧校舎に移転される南流山中学校の供用開始前に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行う必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>令和4年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・取組</p> <p>東洋学園大学旧校舎に移転される南流山中学校の供用開始時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校校舎等リニューアル事業	老朽化の進んだ小学校をリニューアルするもので、令和8年度の完了を目指します。(江戸川台小学校)							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	0		0		6,382	37,983	37,983	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				設計業務の進捗率(%)		-	-	100
				江戸川台小学校リニューアルの進捗率(%)		-	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>事業化に向けて関係機関との調整を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>江戸川台小学校のリニューアル設計を実施しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>令和5年度からの新規事業です。</p>				<p>・課題</p> <p>改修が必要な部位や設備等の整理が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>令和5年度からの新規事業です。</p>				<p>・取組</p> <p>現況調査を実施し、改修内容の検討を行います。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

子ども専用いじめホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」を活用し、相談環境の充実に努めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	7,330		7,934		4,433	8,173	0	8,173
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
「子ども専用いじめホットライン」の相談数(件)	15	17	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		84.9	90.9	100.0
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	29	52	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		93.9	95.6	100.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>子ども専用いじめホットライン相談窓口周知のために、連絡先が記載されたカードとリーフレットを市内全小中学生に配布しました。中学生は、いじめ報告相談アプリも加え、悩みの早期発見と早期対応に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>生涯学習センター内に3名の相談員が常駐し、相談を受けています。コロナ禍により、相談のニーズも多様化しており、いじめ相談だけでなく、子どもの悩みごとの相談に幅広く対応しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>コロナ禍により、子どもたちの不安や悩みの内容は変化し、相談事業の必要性が高まっていると捉えています。引き続き相談窓口の周知に努めていきます。</p>				<p>・課題</p> <p>コロナ禍により人間関係が希薄化し、相談も多様化しています。そこで、いじめだけに特化せず、幅広く相談を受ける必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>いじめ相談窓口の更なる周知徹底を図り、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるよう努めました。</p>				<p>・取組</p> <p>令和4年度より名称を「小中学生なやみホットライン」に変更し、子ども達の悩みの相談を幅広く受ける体制を構築しています。令和5年度もひきつづき、ポスターやリーフレットを作成して、子どもたちへの周知を図っていきます。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

いじめ等防止対策推進事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにハイパーＱＵ（学級集団アセスメント）検査を実施します。							
	担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源
指導課	23,240		24,181		8,689	30,763	0	30,763
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
小学校いじめ認知件数(2月(R4年度は3月集計))(件)	5,765	4,954		- 小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		84.9	90.9	100.0
中学校いじめ認知件数(2月(R4年度は3月集計))(件)	594	475		- 中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		93.9	95.6	100.0
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 スクールロイヤー・ソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携しながら、いじめや虐待などに迅速に対応しました。				・現状 スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、指導主事に加え、令和5年度から新たに生活指導アドバイザーをいじめ防止相談対策室に配置し、学校や関係機関と連携し、いじめ防止、児童生徒の問題行動、虐待等へ対応していきます。				
・評価 児童生徒向けのいじめ授業や教員向けのいじめ防止授業を実施するなど、いじめに対する理解を深めました。				・課題 いじめの未然防止、早期発見・早期解決につなげるためには、児童生徒への指導と、教員による適切な対応が必要です。				
・課題に対する改善点 小学校、中学校において、スクールロイヤーによる訪問授業及び教員研修を計画的に実施しました。				・取組 スクールロイヤー等によるいじめ防止に向けた教員への研修を行います。また、保護者及び児童へのいじめ防止対策を継続して実施します。				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

学校給食会計化事業	小中学校の学校給食費を学校ごとに管理する私会計方式から、市の予算に計上して管理、運用を行う公会計方式に切り替え、学校給食費会計の透明性、公平性の確保及び学校職員の負担軽減を図ります。							
	担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源
学校教育課	979,827		1,040,601		14,875	1,012,078	950,411	61,667
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染症等による物価高騰の影響があり、市独自に物価高騰分を負担した他、県事業と連携した第3子給食費無料化などに取組みました。				・現状 現在、納付率は約99%と極めて高い状態です。				
・評価 物価高騰による子育て世帯の負担軽減に柔軟に取組みました。				・課題 日中、多忙な保護者等の支払いに係る利便性の向上を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 公平な負担となるよう、未納となっている保護者等の理解が得られるよう努める必要があります。				・取組 コンビニエンスストアでの納付を可能とする運用変更を行いました。				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

学校サポート看護師派遣事業	小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、市域を4地区に分け、各地区の小学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置します。また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため、2名の看護師を配置します。							
	担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源
学校教育課	23,146		20,450		4,880	22,737	890	21,847
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
学校サポート看護師人数(人)	10	10	11	医療的ケア児の対応時間(時間)		2,245.25	1,614.00	2,350.00
医療的ケア児の人数(人)	5	6	6					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 医療的ケア児についての情報や対応等について、サポート看護師が共有し、研鑽を積めるよう、連絡協議会や研修会を開催しました。				・現状 障害のある子どもの教育的ニーズに対し、多様な関係者が多角的、客観的に参画しながら就学を始めとする必要な支援に取り組む必要があります。				
・評価 医療的ケア児が安心・安全に就学できる環境を確保できました。				・課題 様々な悩みを抱えた医療的ケア児について、個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるような教育体制の拡充に努めます。				
・課題に対する改善点 短時間利用等、医療的ケア児個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるよう、様々な関係者の協力のもと、教育体制の拡充に努めました。				・取組 短時間ケアにも対応できるよう環境整備に努め、保護者負担軽減をはかります。				

主管部局 施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

財政運営 主管課：財政調整課

市税等納付コールセンター事業	現年度課税の滞納整理を強化し徴収率の向上及び累積滞納を防止し、安定した財源確保を図るため、現年度課税分に特化し電話や文書等による催告業務を民間委託により行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
税制課	4,617		4,519		1,276	4,576	0	4,576
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
電話催告件数(件)	6,400	7,746	-	催告後2か月以内に納付された件数(件)※		3,877	-	-
文書催告件数(件)	3,073	4,398	-	現年度課税の徴収率(%) (参考値)※		99.49	-	-
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>積極的に口座振替を勧奨し、反復的な滞納発生を防止しました。</p>				<p>・現状</p> <p>人口増加に伴い、徴収率が前年度並みであるにも関わらず、滞納者数が増加しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>口座の残高管理を怠って滞納になる方も一定数いるため、市税の納付管理に対する啓発もあわせて行う必要があります。</p>				<p>・課題</p> <p>令和6年度に入札が予定されていることから、業務内容及び仕様をブラッシュアップし、より効果的な業者を選定する必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>単なる払い忘れと思われる方が反復的に催告対象者として現れるため、案件数が横ばい状態になっています。</p>				<p>・取組</p> <p>コールセンター業務を導入し、かつ先進的な取り組みを行っている市町村に対して聴取や視察を行い、有用なものについては次回の仕様に盛り込みます。</p>				

資産活用 主管課：財産活用課

ファシリティマネジメント推進事業	各種FM施策を実施することで、市全体の資産の質を向上させ、最適化を図るとともに、施設の改修等営繕に関する設計・監督を行い、長寿命化を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
財産活用課	1,047		838		29,463	672	672	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
ファシリティマネジメント施策の実施件数(件)	33	30	30	ファシリティマネジメント施策による歳入(千円)		8,897	10,237	7,156
改修等営繕に係る設計・監督実施件数(件)	25	25	30					
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>公共施設等総合管理計画を改定しました。営繕業務を実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>各種FM施策を実施することにより、市の資産を十分に活用できています。施設の改修設計・監理を行うことで長寿命化が図られています。現在、取り組んでいるFM事業を継続的に推進します。</p>				
<p>・評価</p> <p>前年度に実施したFM施策については、予定どおり遂行できました。</p>				<p>・課題</p> <p>学校施設と市営住宅を除く公共施設の個別施設計画における総合評価ランクは作成から4年が経過していることから見直しの必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>学校施設と市営住宅を除く公共施設の個別施設計画における総合評価ランクは、作成から4年が経過していることから見直しの必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>各施設所管課における個別施設計画の見直しに必要なマニュアル作りを行います。営繕業務を行います。</p>				

資産活用								主管課：財産活用課								
本庁舎施設管理計画事業		本庁舎が老朽化していることから、長寿命化を図るものです。また、劣化が著しい設備等を改修し、災害時の活動拠点となる本庁舎を良好な状態に保ちます。														
担当課		R4当初予算			R4決算見込			R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源		
財産活用課		8,160			7,788			17,534		42,431		0		42,431		
主な活動指標		R3実績		R4実績		R5目標(予定)		主な成果指標			R3実績		R4実績		R5目標	
改修にかかる費用(千円)		51,832		7,788		42,431		改修等必要箇所数(箇所)			3		2		2	
令和4年度の取組みと評価・改善点								令和5年度の現状・課題・取組み								
・取組		火災発生時に正常に機能していなければならない庁舎の自動火災報知設備の更新工事設計と、市役所出入口付近店舗解体工事、本解体工事に伴い設置する転落防止柵設置工事を行いました。														
・評価		市役所出入口付近解体工事及び転落防止柵設置工事においては、周囲への安全対策を講じながら計画的に行うことが出来ました。														
・課題に対する改善点		庁舎改修については、引き続き計画的に実施していきます。														
		<p>・現状 自動火災報知機は庁舎建設以来交換していません。 建物解体工事と転落防止柵設置工事を行った後、解体後の法面がむき出しになっています</p> <p>・課題 自動火災報知機は交換部品等もなくなる可能性があります。 市役所の玄関口であることを考慮し、擁壁を設置する必要があります。</p> <p>・取組 令和4年度に施工した市役所付近の建物解体工事と転落防止柵設置工事解体後の法面に擁壁を設置するための設計業務委託のほか本庁舎自動火災報知機設備の更新工事を行います。</p>														
資産活用								主管課：財産活用課								
通訳タブレット導入事業		南流山出張所及び江戸川台駅前出張所に外国語及び手話(日本語)通訳タブレットを配備し、インターネットを通して通訳士と会話形式または手話形式で通訳を行うことで、円滑かつ快適な窓口サービスを提供します。														
担当課		R4当初予算			R4決算見込			R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源		
市民課		1,006			344			211		317		0		317		
主な活動指標		R3実績		R4実績		R5目標(予定)		主な成果指標			R3実績		R4実績		R5目標	
来庁した外国人等の人数(人)		273		461		469		通訳タブレットを使用した外国人等の人数(人)			82		189		192	
令和4年度の取組みと評価・改善点								令和5年度の現状・課題・取組み								
・取組		日本語が困難な外国人が意思疎通を行いやすい窓口環境を提供しました。														
・評価		令和4年度の利用において、台数が足りないという状況はありませんでした。														
・課題に対する改善点		利用状況を注視し、設置台数や設置場所の見直しについて随時検討する必要があります。														
		<p>・現状 引き続き当事業を継続し、日本語が困難な外国人や聴覚障害者が意思疎通を行いやすい窓口環境を提供していきます。</p> <p>・課題 設置台数や設置場所の見直しについて随時検討する必要があります。</p> <p>・取組 引き続き利用者のニーズを確認し、設置台数や設置場所の見直しについて随時検討してまいります。</p>														
資産活用								主管課：財産活用課								
南流山出張所拡張整備事業		南流山出張所を既存の南流山センター事務室の位置まで拡張し、併せて備品を購入し、事務室の整備を図るもの。														
担当課		R4当初予算			R4決算見込			R4職員給与費(目安)		R5当初予算		R5特定財源		R5一般財源		
市民課		837			792			211		0		0		0		
主な活動指標		R3実績		R4実績		R5目標(予定)		主な成果指標			R3実績		R4実績		R5目標	
南流山出張所来場者数(人)		25,932		25,283		25,748		住民異動取扱件数(件)			2,503		2,999		3,054	
令和4年度の取組みと評価・改善点								令和5年度の現状・課題・取組み								
・取組		図書館の移転後の配置換えにより事務室を拡張し、市民にも利用しやすい出張所になりました。														
・評価		事務室内のOA機器の配置を見直し、出張所利用者の申請エリアやマイナンバーカードの交付スペースを確保し、市民の安心で快適な利用に応えました。														
・課題に対する改善点		事務室の狭小化が解消されました。														
		<p>・現状 令和4年度で事業は終了しました</p> <p>・課題 令和4年度で事業は終了しました</p> <p>・取組 令和4年度で事業は終了しました</p>														

組織・人材		主管課：人材育成課						
職員研修事業	職員一人ひとりの資質の向上や、専門知識の習得を図るため、担当部門や勤続年数に応じた研修を実施します。また、組織外からの知識や情報を組織内に吸収し、組織としての創造性を高める効果的な方策として、政策自主研修を行う職員に研修助成し、意欲のある職員を育成します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
人材育成課	22,687		18,084		5,302	22,362	409	21,953
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
職員数(毎年4月1日現在)(人)	1,117	1,163	1,183	職員自主研修助成者数(人)		23	21	30
集合研修実施件数(件)	26	27	26	派遣研修派遣職員数(人)		54	64	84
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組	職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスの更なる向上を図るため、研修計画に基づく研修を実施しました。令和4年度の新たな研修として、主体的な能力の向上について学ぶ「職場実践力向上研修」を実施するとともに、市政経営における官民連携の必要性と職員の持つべき視点を学ぶための講演会を実施しました。			・現状 職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスの更なる向上を図るため、人材育成基本方針に従い、職員研修事業を進めます。				
・評価	新型コロナウイルス感染対策を図りながら、人材育成基本方針に基づく研修を実施できたものと評価します。			・課題 集合研修を一括して委託することで、全体的なブラッシュアップは図られていますが、個々の研修については改善の余地があります。				
・課題に対する改善点	職場での実践力を向上させるための研修について、より効果的な時期に適切な研修が受けられるようにしました。			・取組 事前の準備及び事後の確認を適切に行い、より効果的な研修となるよう実施していくとともに、研修後のアンケートの内容を生かし、研修内容の充実に努めていきます。				

組織・人材		主管課：人材育成課						
政策法務推進事業	政策法務推進計画に従い、政策法務研修計画に基づく研修の実施等の人材の育成、政策法務主任の設置等の組織の充実、法令・判例の解説等の入手を容易にする環境の整備、行政リーガル・ドック事業等の予防法務の実施により、政策法務を推進します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
総務課	4,149		3,562		8,935	3,904	0	3,904
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
研修受講者数(人)	138	118	140	自治体法務検定シルバークラス以上取得者累計数(人)		151	170	191
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組	前年度実施の研修に加え、新型コロナウイルスの影響により中止していたグループワークを行う研修を、感染症予防対策を講じたうえで実施しました。また、行政リーガル・ドック事業についても実施しました。			・現状 引き続き政策法務研修計画に基づき各研修を実施します。また、行政リーガル・ドック事業を実施し、予防法務を推進します。				
・評価	行政リーガル・ドック事業において、好評価である事項が増加し、全庁的に政策法務能力が向上していると評価します。			・課題 効果的な研修を実施するとともに、研修の出席率の向上等を図り、全職員の政策法務能力の向上を目指します。				
・課題に対する改善点	グループワークを実施したことにより、職員間での意見交換により、職員の知識の定着が図られました。			・取組 知識の定着状況等、研修の効果を確認しながら、より効果的な研修となるよう創意工夫して実施して参ります。				

行政経営		主管課：市民生活課						
広聴活動事業	書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺います。頂戴した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
秘書広報課	14,132		13,404		11,262	14,677	0	14,677
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
タウンミーティング開催回数(回)	10	11	9	市に意見を言える機会に満足している市民の割合(%)		83.30	82.60	82.00
				住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合(%)		83.30	80.70	85.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組	集合型のタウンミーティングについては、感染症拡大の先行きを注視しながら、判断をする必要があります。開催する場合は、市民が安心して参加できるように、感染拡大防止のための最大限の対応を行います。また、併せてオンライン会議ツールを活用した意見交換についても、準備を進めました。			・現状 オンライン型や無作為抽出型のタウンミーティングなども実施し、多種多様な市民からの意見等を市幹部職員と対話する機会を設けています。				
・評価	新型コロナウイルス感染症拡大に配慮し、集合型タウンミーティングとは別に、オンラインタウンミーティングを開催しました。また、無作為抽出型タウンミーティングを開催し、集合型とは違う層の方々のご意見を伺うことができました。			・課題 集合型タウンミーティングは、例年公民館で実施しているところですが、市の新たな施設を会場とすることで、市の取組みをアピールすることに加え、参加者が飽きを感じないものとしていく必要があります。				
・課題に対する改善点	今後も広く市民の意見等を聴取していく多様な方法を検討していく必要があります。			・取組 今年度は、新設の学校施設を会場として実施します。				

行政経営								
見やすく分かりやすいホームページ運営事業	市の公式ホームページについて、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を利用した管理・運営を行い、「見やすく」「探しやすい」情報提供を行うことで、流山市民はもとより市外の方や企業の方にも流山市の魅力や各種情報をタイムリーに発信します。							
	担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源
秘書広報課	5,646		5,393		6,382	4,582	2,000	2,582
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				市ホームページの月平均ページビュー数(回)		1,319,437	1,063,012	1,000,000
				ページ内アンケートで、ページ内容に「問題ない」と答えた人の割合(%)		59.76	36.48	50.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 目的ページに到達しやすくするため、リニューアルアドバイザー会議の意見を参考にリニューアルを進めました。				・現状 ページ内アンケートで16パーセントの方が、ページ内容について「要点が伝わらない」と回答しました。				
・評価 リニューアルを行い、利用者が情報を探しやすく、かつ市の魅力が伝わるデザインに変更できました。				・課題 市ホームページに訪れた方が、必要な情報を適切に取得できるようにする必要があります。				
・課題に対する改善点 より使いやすいサイト構成・ページ内容になるよう努めます。また、リンク切れが生じないように定期的に確認する必要があります。				・取組 職員研修を行い、各課で作るページの内容をより分かりやすいものにします。また、目的ページに到達しやすくするため、不要ページの削除やサイト構成について、適宜見直しを行います。				

行政経営								
広報発行事業	広報ながれやま（月3回。年間37回のうち4回は特集号、年1回の号外特集号）をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布（新聞折り込みや宅配など）します。また、市ホームページや携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ（マスメディアへの情報提供）などを通じて市政情報を広く発信します。							
	担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源
秘書広報課	46,380		38,039		19,146	46,235	0	46,235
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				「マチイロ」の登録件数(件)		7,299	10,574	11,500
				広報ながれやまの内容や情報量に満足している人の割合(%)		84.00	83.20	85.00
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 マチイロやポストインの登録を呼びかけるチラシを転入者に配布したり、市LINE公式アカウントを活用したりして、広報紙を広く周知しました。				・現状 マチイロや市LINE公式アカウント公式の登録件数が順調に増加しています。				
・評価 マチイロや市LINE公式アカウントの登録件数が順調に増え、電子媒体による広報紙閲覧を促進することができました。				・課題 30歳代、40歳代以外のマチイロ登録件数が少ない状況です。				
・課題に対する改善点 マチイロや市LINE公式アカウントを広く周知する必要があります。				・取組 引き続き、マチイロや市LINE公式アカウントを多世代に向けて呼びかけるチラシの配布や広報掲載を行います。				

行政経営								
TX沿線整備地区の字の区域の名称変更事業	つくばエクスプレス沿線整備地区で進められている土地区画整理事業の換地処分に合わせ、当該地区の字の区域及び名称の変更を行います。木地区については、換地処分が令和5年度に行われるため、住所変更通知書の作成等の業務を令和4年度・5年度に継続して実施します。							
	担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源
総務課	3,492		3,477		7,491	13,445	0	13,445
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
字変更業務の進捗状況(%)	100	19	100					
住所変更証明書発行件数(TX沿線整備地区)(件)	281	266	-					
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 木地区の字の区域及び名称の変更を令和5年9月に行うため、住所変更手続きの手引きの作成等の業務を実施しました。				・現状 木地区の土地区画整理事業について、令和5年9月に換地処分が行われる予定のため、これに合わせて字の区域及び名称の変更を行います。				
・評価 令和5年9月の換地処分に向けて、関係機関との打合せを進めました。また、専門業者と業務委託を締結し、変更関係業務をスケジュールどおり進めました。				・課題 木地区の土地区画整理事業の換地処分に合わせて行うため、関係機関との連絡調整を綿密に行います。また、住民の皆様には、適切な時期にお知らせをするとともに、問合せに対しては丁寧な説明を行います。				
・課題に対する改善点 関係機関との連絡調整をさらに綿密に行い、変更関係業務を適切に進めていきます。				・取組 木地区の字の区域及び名称の変更を令和5年9月に行う予定のため、住所変更通知書の作成等の業務を継続して実施します。				

行政経営								
市民向け電子化事業		市民の方が自宅のパソコン等から行政手続きや情報取得ができる環境を整備します。また、令和4年度からLINEを活用して利用者の希望する情報を提供するセグメント配信や自動会話プログラム「チャットボット」などのサービスを提供しています。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
情報政策・改革改善課	8,231		23,386		20,427	10,159	1	10,158
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
電子申請手続き数(件)	-	181	200	電子申請利用件数(件)		-	21,299	23,300
LINEによるセグメント配信件数(件)	-	430	740	LINE登録者数(人)		-	14,141	19,000
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 電子申請を利用できる手続きを拡充し、市民の皆さんの利便性の向上を図りました。また、流山市LINE公式アカウントサービスを令和4年9月1日から開始しました。				・現状 市民の方が自宅のパソコン等から行政手続きできる環境整備を順次進めています。押印見直しにより手続時に押印や署名を廃止できる様式を拡大し、オンラインによる手続が可能となる体制を整えています。				
・評価 流山市LINE公式アカウントサービスでは、令和5年4月1日現在でのお友達登録者数が14,199件となりました。市民の皆様には、生活に役立つお知らせや欲しい情報を受け取ることができる「セグメント情報配信」、AI機能を活用して質問内容に応じて24時間自動応答する「AIチャットボット」をご利用いただいております。				・課題 オンラインで申請できる手続きの一層の拡充が求められています。				
・課題に対する改善点 オンラインで手続きが行える「びったりサービス」を14手続から27手続に、「電子申請」可能な手続を14手続から15手続に拡大しました。				・取組 流山市LINE公式アカウントサービスの活用を促進し、市民の皆様利便性を向上するとともに、オンラインで手続きが行える「びったりサービス」や「電子申請」の対象手続を拡大します。				

行政経営								
全庁LAN整備事業		職員利用のパソコン・プリンタ・通信機器、ファイルサーバ・グループウェア・統合型GIS等の各システム、ネットワーク環境の整備及び情報セキュリティ対策を実施します。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
情報政策・改革改善課	267,647		261,551		17,231	277,872	14,856	263,016
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
全庁LANパソコン整備台数(台)	1,127	1,224	1,274	配備に対する全庁LANパソコン不足台数(台)		-	-	-
自治体セキュリティクラウドマルウェア等検知件数(件)	19,801	43,636	50,636	ウイルス感染件数(件)		-	-	-
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 自治体DX推進計画に基づく情報システムの標準化等については、検討部会を開催し、関係各課で対応準備を進めました。また、老朽化している庁内パソコンについては、350台を更新しました。インターネット環境については、接続設定を見直すとともに回線速度を増強しました。前年度に情報セキュリティ外部監査で指摘された事項について、見直しを行いました。				・現状 国の自治体DX推進計画に基づく情報システムの標準化などへの対応が求められています。庁内パソコンについては、老朽化しているものがあります。また、Emotet等のウイルスメールの検知件数が増加しています。				
・評価 自治体DX推進計画については、情報システムの標準化等について、関係各課で令和7年度末までの移行に向けて取組を進めています。また、業務で使用する庁内パソコンについては、不足なく配置することができました。情報セキュリティについては、ウイルス感染や大きなトラブル等が発生することなく稼働させることができました。				・課題 情報システムの標準化については、円滑な移行に向け、プロジェクト管理やスケジュール管理及びコスト管理が課題となっています。庁内パソコンについては、OSやOfficeのサポート期限を考慮したリプレースが必要です。また、ウイルスメールの検知数が増加していることから、引き続き訓練や研修等の情報セキュリティ対策が必要です。				
・課題に対する改善点 自治体DX推進計画に基づく情報システムの標準化などに対応するため、情報収集に努め、的確に対応していきます。庁内パソコンについては、老朽化しているものが多いため、計画的に更新を行っていきます。インターネット環境については、セキュリティを確保しつつ、事務効率の向上に努めます。				・取組 自治体DX推進計画に基づく情報システムの標準化については、機能の選定や業務フローの見直しを検討し、令和7年度末までの移行に向けて準備をしていきます。また、老朽化している庁内パソコンについては、350台を更新します。情報セキュリティを適正に維持していくため、外部機関によるセキュリティ監査を実施します。				

行政経営								
インターネット議会中継システム事業		流山市議会のホームページ上で本会議の映像を公開し、市民などに対して情報の共有化を図ります。併せて、手話同時通訳中継を行い、より分かりやすく市民に開かれた市議会を目指します。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
議会事務局	6,434		6,002		6,382	6,483	0	6,483
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
インターネット配信回数(回)	25	24	25	インターネット配信閲覧者延人数 ライブ中継(人)		39,151	26,388	27,000
				インターネット配信閲覧者延人数 録画中継(人)		3,704	3,344	3,400
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 安定したインターネット中継を実施し、引き続き、手話同時通訳の同時中継を行いました。インターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう周知に努めました。				・現状 本会議の様子をインターネット中継し、広く市民の皆様には、本会議の様子を伝えていきます。本会議の手話同時通訳をインターネットで同時中継することで、より多くの方々に本会議の様子をお伝えします。				
・評価 導入から3年目となった手話同時通訳も大変好評をいただいております。評価すべき取り組みと考えます。インターネット配信のライブ中継及び録画中継の閲覧者が昨年度と比較して減少していますが、改選や大きな案件がなかったことが関係しているものと分析しています。				・課題 インターネット配信のライブ中継及び録画中継の閲覧者数が前年度より減少していることから、PRに一層力を入れていく必要があります。				
・課題に対する改善点 インターネット配信のライブ中継閲覧者数が増加したのにも関わらず、録画中継閲覧者が前年度より減少したことについては、周知が行き届いていないことも要因の1つと考えます。				・取組 引き続き安定したインターネット中継を実施し、手話同時通訳の同時中継を継続します。より多くの方にインターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、さらなる周知に努めます。				

行政経営									
議会ICT推進事業									
流山市議会ICT推進基本計画に基づき、市議会ホームページの充実とセキュリティの向上を図り、オープンデータの活用を継続することによって、より一層市民に開かれた市議会を目指します。									
担当課	R4当初予算			R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
議会事務局	10,288			10,448		5,106	3,060	0	3,060
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
Facebookコラム掲載数(回)	12	12	12	流山市議会ICT推進基本計画に基づく実施計画事業数に対する実施事業割合(%)			96	84	99
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 市議会ホームページについては、今年度も暗号化の更新手続きを適切に行いました。また、安定した委員会運営のため、委員会室の無線マイクシステムの更新を行いました。市議会データ活用の推進のため、オープンデータの掲載を引き続き行いました。				・現状 独自ドメインを取得していることから、市議会の情報発信を議会独自に迅速に行っています。また、暗号化の更新手続きを行い、セキュリティ確保に努めています。さらに、市議会データの活用を図るため、オープンデータの掲載を行っています。					
・評価 市議会ホームページについて、適切なセキュリティ対策を講じながら市議会に関する情報を積極的に発信することができました。				・課題 議会を身近に感じてもらうため、SNSの市議会公式アカウントの有効的な活用方法について研究・検討する必要があります。					
・課題に対する改善点 無線マイクシステムを更新したことで、マイクの音量と音質の安定が図られ、円滑な委員会運営を行うことが可能となりました。				・取組 議会のICT化とペーパーレス化を推進するため、議員に情報端末機器を配付し活用を推進します。					

行政経営									
おくやみ相談窓口運営事業									
御家族が亡くなられたときの手続きをワンストップで行えるよう、市役所本庁舎1階ロビーにおくやみ相談窓口を設置します。									
担当課	R4当初予算			R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
市民課	4,639			4,001		10,604	5,077	0	5,077
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
おくやみ相談窓口の利用者数(人)	-	436	972	おくやみ相談窓口利用者の満足度(%)			-	93	93
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 相談窓口開設後、御利用者の方のご意見や、各課からの要望を取りまとめ、業務フロー等の改善を図りました。				・現状 御利用者の方のご意見や、各課からの要望を取りまとめ、業務フロー等のさらなる改善を図っていきます。					
・評価 窓口利用者のアンケートでは、満足、やや満足とお答えいただいた方の割合は93パーセントとなっています。各課からの要望に柔軟に対応しています。				・課題 多岐に渡る業務を取りまとめ、ご遺族に寄り添ったサービス提供ができるようにするため、職員のさらなるスキルアップが課題です。					
・課題に対する改善点 アンケートの御利用者の方のご意見をとりまとめ、ヒアリング、案内スキルの向上を図りました。				・取組 アンケートのご意見を参考に、案内の仕方等改善をしていきます。					

行政経営									
キャッシュレス決済導入事業									
市民課、出張所の窓口でキャッシュレス決済を導入し、窓口利用者の支払方法の選択肢を増やし、利便性の向上を図ります。									
担当課	R4当初予算			R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
市民課	0			0		0	4,042	0	4,042
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
キャッシュレス決済の利用件数(件)	-	-	5,000	キャッシュレスサービスアンケート満足度(5段階評価)			-	-	3
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				・現状 プロポーザルにより業者を選定し、令和5年度10月から運用開始予定です。					
・評価 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				・課題 市民への周知、職員教育が課題です。					
・課題に対する改善点 令和4年度は事業の実施がありませんでした。				・取組 プロポーザルによる業者選定後、令和5年度10月からの運用開始に向け、職員研修を行います。					

マーケティング		主管課：マーケティング課							
流山市ブランド確立と住民誘致の推進事業		「住み続ける価値の高いまち」としての流山市の都市ブランド確立を推進します。市の知名度とイメージの向上を図るための情報発信とイベントを行い、住民誘致の促進と市民満足度を高める活動を行います。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
マーケティング課	14,317		13,518		25,528	12,867	3,300	9,567	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
イベント開催回数(回)	1	4	4	常住人口(1/1現在)(人)			205,210	209,099	213,210
				イベント来場者数(人)			10,600	84,300	90,000
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 流山市ブランディングサイトを起点とし、流山市の3つの資源「都心から一番近い森のまち」「母になるなら、流山市。」「市民の知恵と力が活きるまち」を活用した話題性のあるWEB広告等のPRを実施しました。また、流山市の現時点でのブランド認知度を把握するため、首都圏の市外の方を対象としたブランド認知度調査を実施しました。					・現状 ブランド認知度調査では、メディアや身の回りの方からの情報により認知度が上がっていることがうかがえたため、引き続き流山市ブランディングサイトを起点とした、WEB広告等のPRを実施します。				
・評価 流山市ブランディングサイトを起点としたPRを実施し、新規閲覧者が24,000アクセスを超え、目標を達成することが出来ました。また、ブランド認知度調査により、「好意」が令和元年度に比べ向上していること、流山ブランディングサイトが、特に20代後半の方たちのイメージ向上につながっていることがわかりました。					・課題 押しの強すぎるプッシュ型広告展開は共感性を求める市ブランディングにとって必ずしも有効とは言えないため、市内外への市ブランド情報拡散方法を検討する必要があります。また、市のブランド基盤の向上とともに、市への転入・定住に対する意識や街への愛着などの「心理的価値」へアプローチしていく必要があります。				
・課題に対する改善点 今回は目標達成を優先事項と据えた運用方針としたので、広告の改廃などは行いませんでしたが、広告素材の更新を検討します。					・取組 流山市ブランディングプランに基づき、流山市ブランディングサイト「ながれやまStyle」への誘引を中心とした、市ブランディング業務を推進します。また、ブランド資源の発掘やブランドを体験するタッチポイントの創出などを検討していき、相乗効果を上げながら流山市ブランドを構築していきます。				

マーケティング		主管課：マーケティング課							
流山市ふるさと納税事業		流山市に対する寄附者の思いに対して、魅力ある特産品等を贈呈し、寄附額の増加を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
マーケティング課	0		0		6,382	40,488	0	40,488	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
返礼品数(品)	92	117	150	寄付件数(件)			1,294	1,118	33,364
返礼品事業者数(事業者)	13	15	20	寄付額(千円)※個人からの全ての寄附金。令和4年度は未確定。			38,942	34,993	90,000
令和4年度の取組みと評価・改善点					令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 ふるさと納税の役割である「地域資源を活用し、地域経済の活性化を図る」ため、総務省の地域産品基準を満たす市内事業者が取り扱う商品を返礼品として取扱います。					・現状 現状分散しているふるさと納税業務を一課にまとめ、かつ民間事業者へ業務を委託することで、ふるさと納税業務の効率化・促進を図り、市内産業の活性化、及び寄付額の増加を見込んでいます。				
・評価 市内産業の活性化、及び寄附額の増加に寄与しました。					・課題 返礼品を提供していただける事業者等及び返礼品の種類を増加させ、ふるさと納税事業を拡大する必要があります。また、ふるさと納税のポータルサイトをひとつに依存していることから、他サイトの導入を進めるなどにより、流山市の返礼品との接触機会を増やすことが必要です。				
・課題に対する改善点 ふるさと納税業務の効率化・促進を図るため、商品開発を含めたふるさと納税事務を一括して執り行う必要があります。					・取組 本市の魅力と返礼品を合わせてPRするほか、返礼品を提供していただける事業者・返礼品の新規開拓や情報発信など、マーケティングの視点を用いながら事業を推進していきます。また、返礼品として品物だけに限らず、体験型の返礼品も検討していきます。				